

滋賀医科大学外科
同門会誌

2021年度

一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会

目 次

巻 頭 言

1. 巻 頭 言	谷 徹	1
2. 巻 頭 言	平野 正満	3
3. 巻 頭 言	谷 眞至	5
4. 巻 頭 言	鈴木 友彰	6
5. 巻 頭 言	花岡 淳	8
6. 巻 頭 言 (臨床と研究—海外研修の薦め)	江口 豊	9
7. 巻 頭 言 (高下駄とヘアマニキュア)	木築野百合	10

柴田 純祐 先生追悼

1. 柴田先生を偲んで	川口 晃	14
2. 故 柴田 純祐 先生を偲んで	内藤 弘之	16

2020 年度 同門会各賞受賞のことば

1. 同門会賞	川口 庸	19
2. 同門会賞	前平 博充	20
3. 理事長賞	寺本 晃治	21
4. 若手外科医賞	鉢呂 康平	23
5. 若手外科医賞	前川 毅	25

同門会便り

1. 淡海医療センター (旧:草津総合病院)	林 一喜	27
2. がん研有明病院	山口 智弘	28
3. 武田総合病院	北村 将司	29
4. 名古屋徳洲会総合病院	石川 健	30
5. 長岡京病院	藤野 光廣	31
6. 済生会滋賀県病院	森本 政憲	32
7. 西京都病院	吉岡 豊一	33
8. 淡海医療センター (旧:草津総合病院)	木下 武	34

新入会員紹介

心臓血管外科	森 陽太郎	36
消化器外科	福尾 飛翔	36

教室業績

滋賀医科大学外科学講座 (消化器・乳腺・小児・一般外科)	37
滋賀医科大学外科学講座 (心臓血管外科)	52
滋賀医科大学外科学講座 (呼吸器外科)	55
滋賀医科大学総合外科学講座	59
滋賀医科大学救急集中治療医学講座	61

滋賀医科大学臨床看護学講座	62
滋賀医科大学革新的医療機器・システム研究開発講座	63

関連病院業績

1. 赤穂市民病院 外科	65
2. 有明病院 食道外科	65
3. 有明病院 大腸外科	66
4. 宇治徳洲会病院 外科	73
5. 淡海医療センター（旧：草津総合病院）呼吸器外科	74
6. 淡海医療センター（旧：草津総合病院）消化器外科	74
7. 近江八幡市立総合医療センター 心臓血管外科	75
8. 大阪中央病院 肛門外科	76
9. きづきクリニック	76
10. 京都医療センター 呼吸器外科	76
11. 京都第一赤十字病院 乳腺外科	77
12. 甲南病院 外科	77
13. 公立甲賀病院 呼吸器外科	78
14. 滋賀病院 外科	79
15. 滋賀病院 乳腺外科	79
16. 静岡県立静岡がんセンター 肝胆膵外科	80
17. 静岡県立静岡がんセンター 食道外科	81
18. 新古賀病院 外科	83
19. 高井病院 乳腺外科	84
20. 第一東和会病院 内視鏡外科センター	84
21. 武田総合病院 呼吸器外科	84
22. 暁生会脳神経外科病院 外科	85
23. 長浜赤十字病院 外科	85
24. 日本医科大学付属病院 消化器外科	87
25. のじまバスキュラーアクセスクリニック	90
26. 東近江総合医療センター 呼吸器外科	91
27. ベルランド総合病院 外科	92
28. ベルランド総合病院 乳腺センター	93
29. 三菱京都病院 呼吸器外科	93
30. 南京都病院 呼吸器外科	94
31. 横浜総合病院 ハートセンター	95
32. 洛和会音羽病院 呼吸器外科	95

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

1. 役員一覧	97
2. 定款	98
3. 賛助会員一覧	101
4. 広告掲載ご協力	102

卷 頭 言

- | | |
|---------------------------|--------|
| 1. 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事長 | 谷 徹 |
| 2. 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 副理事長 | 平野 正満 |
| 3. 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事 | 谷 眞至 |
| 4. 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事 | 鈴木 友彰 |
| 5. 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事 | 花岡 淳 |
| 6. 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事 | 江口 豊 |
| 7. 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事 | 木築 野百合 |

◆ 巻 頭 言



滋賀医科大学外科同門会 理事長
滋賀医科大学 革新的医療機器・システム研究開発講座 特任教授
谷 徹

本年の新年会が開かれなかった為、外科同門会理事長就任報告をお知らせして3月しか経っていないのに2022年の挨拶を書く事になりました。

東京における第4波に加えコロナδ株の急増が現実になりそうな気配となり、東京オリンピック開催の大成功は遠いものになった。今となっては中止するのも開催するのも国家の威信を保って遂行するのは極めて難しいと思われる。コロナ対策を含め、多額の資金をかけて成就しない事業が多く国民に知られ、注目される例は少ない。

コロナ感染対策も夥しい対策上の不手際の末、事業者主導のワクチン接種が急拡大して軌道に乗りかけたと思ったら、ワクチン供給が追いつかない為、接種申請の受け付け中止が報道され、コロナ対策の国家的な対策事業は失敗のため押しとなった。医療関係者である我々も憤懣を打ち付けるだけで済まない。今後日常の医療、非常時の医療体制などのドラスチックな改革が要求され、必須となるだろう事は既に多くの会員の皆さんが肌で感じていると思われる。

オリンピックや、コロナ対策、財政など国家の行末に係る事業の不成功が続き、母国が目の前で瓦解するかも知れないと感じる不安は忌々しい事態である。

こんな時、米国野球で活躍するたった1人の大谷翔平に多くの方がほっとした安堵感と誇りを覚えるのではないだろうか。1人の人間に能力があるとは言え、これほどの影響を及ぼす事実には驚くと同時に、時間を置かずに地球上のどの場所でも出来事を知らせる通信技術、ネットワークの力を思い知る。

取り上げるテーマ、言語、発想が多く賛同を得られるなら、個人でも即座に全世界に情報、思いを発信できる。多くの知識、経験を持つ外科同門会会員の方々は皆さんその可能性をお持ちである。

その団体たる同門会は自らの目標の為に如何に大学や社会と付き合っていくかを明確にして、コロナ中もコロナ後の活動にも備えられればと思う。

何故なら滋賀医科大学は建学からすでに40年を超え、卒業生が医業で活躍する総数が最大となる時期に近い。まさに約10年後に最大卒業総数となり、歴史のある他大学の活動医療人数と近い卒業生を擁する団体となる。まさにコロナ後は現役卒業生の数は満たされ、活動の如何が重要となる。

そこで、現大学の両教授のお考えを確認し、滋賀医科大学学生や卒業生の団体、各科同門会

との情報交換を行い、コロナ対応の反省にとどまらず共通の取り組み効果的な活動など、参考となる点を見習い、協力できるところを共に進め、地域に根差した大学となる支援、試みを提案して行きたい。

いずれにせよ、皆さんがこのメッセージを目にされる頃にはコロナを制御できる社会になって居なければならない。皆さんの活躍を！

◆ 巻 頭 言



滋賀医科大学外科同門会 副理事長
社会医療法人誠光会 淡海ふれあい病院 院長

平野 正満

2021年1月16日の理事会でご承認いただき、副理事長の重職を務めることになりました平野でございます。同門会の皆様のご支援を賜りながら、谷徹理事長を支え、会の発展に尽力したいと思っております。

さて、ある講演会で興味ある発表を拝聴する機会がありました。その内容を振り返りながら、私なりに感じたことを簡単に紹介させていただきます。1970年ごろまで全国の医学部定員は3000名程度でした。1973年に田中角栄内閣が一県一医大構想を立ち上げ、約10年余りで定員は8000名を超えるまでに急増しました。滋賀医大が誕生したのも同時期ですし、私が滋賀医大の第2外科にお世話になったのが1980年でした。当時は外科全盛期で、外科全体の入局者は10名を超える勢いでした。医局では机は与えられず、当直室では研修医向けの2段ベッドが2つ備えられ、さらに病棟カンファレンスルームでの医局会や症例検討会には若い外科医が溢れていました。その後、時代は少しずつ変わっていきます。外科の人気も徐々に薄れる中、2004年に新医師臨床研修制度がスタートします。この制度が外科を取り巻く環境を一変させることとなります。医学部に入る学生の気質や考え方が大きく変化するとともに、初期研修2年間で学生が外科研修の現場で学んだもの、感じたものが、「とてもついていけない」でした。これは実際に研修医から聞いた言葉です。そして、外科入局者の減少、医局制度の崩壊、医師の診療科偏在が顕著となり、厚労省は2010年から医学部定員を増やし、現在では年間9000名を超える新たな医師が養成されるに至っています。

外科医の話に戻します。1980年代に外科医になった医師は私も含め、2020年を過ぎると順次65歳に達し、定年という節目を向かえます。かつて人気絶頂で花形であった外科医が徐々に第一線から離れ、リタイアしていきます。地域や病院によっては、引き継ぐ外科医が少ない、いなくなる、そんな時代に突入するのです。外科医が絶滅危惧種ともいわれ、滋賀県の診療別医師数の推移をみても減少するのは確実となっています。地域医療の崩壊もあり得るかもしれません。外科医を増やす、これは滋賀医大とともに同門会にも課せられた命題です。一方で、今私たちにできることも考えておかなければなりません。定年を迎えようとしている皆さん、まだまだ臨床を続けていただきたい。70歳まではGeneral Surgeonとして地域の医療を支えていただきたいと思っております。今までの経験の積み重ねが必ずや発揮されるはずです。疾患や患者の選択と集中も必要ですので、病院間連携を推進して大規模病院や滋賀医大に円滑に紹介できる

システムの構築も必要でしょう。さらに、65歳以上のドクターバンクの設置なども提案していきたいと考えます。同門会会員の皆さんとともに、同門会の理念である“外科医の人材確保と育成”を通して地域医療に貢献していきたいと思います。どうか、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

◆ 巻 頭 言

滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 外科学講座（消化器・乳腺・小児・一般外科） 教授

谷 眞 至



同門会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は外科学講座の活動にご理解をいただき誠に有難うございます。今後とも、厳しきご指導ならびに倍旧のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

まず、2021年5月1日付で附属病院の診療科名が「乳腺・一般外科」から「乳腺・小児・一般外科」に改められたことをご報告申し上げます。小児外科手術症例はコンスタントに年間約150例を行っておりますが、診療科名のところには小児外科はなく、院内だけでなく、外部の方にも見える形になっていませんでした。このことが不用意に患者さんに不安を与えるようなこともありましたが、診療科名にはいることで、これまでの小児外科担当の先生方のご努力が、やっと見える形になったものと嬉しく思います。これに伴い、附属病院の当講座の担当する診療科名は「消化器外科」と「乳腺・小児・一般外科」となり、講座名称も外科学講座（消化器・乳腺・小児・一般外科）となりました。名称の変更に伴い、責任の増加を感じるとともに身の引き締まる思いです。

さて、2021年になっても猛威をふるっております新型コロナウイルス感染症ですが、コロナ前の日常を大きく変えてしまいました。2021年1月に予定されていた同門会は残念ながら中止となり、皆様方のお顔を拝見することができなかったことは非常に残念です。これからは谷徹新理事長のご指導のもと、同門会としてこの時代に即した、新たな社会様式に沿った取り組みを考え、会員全員で何ができるのかを考えなければいけない時代です。今後は何ができなにかではなく、何ができるのかが重要と思います。是非とも、会員の皆様方のご意見を頂戴できれば幸甚です。

外科の領域において、2020年台は手術器具や薬物の開発、診断の進歩など医学の進歩だけではなく、新型コロナウイルス感染症に代表される新規感染症の出現、働き方改革などの社会システムの改革、教育制度改革など、多くの劇的な変化に私たちは曝されていきます。これまでも診療面だけを見ても、鏡視下手術の進歩、MRSAなどの耐性菌との戦い、ゲノム医療など、多くの変化を外科医は乗り越えてきました。最も大事なこと「患者のために何かできることはないのか」を考えつつ時代の大きな波のうねりに乗っていけるよう、同門会会員の皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

◆ 巻 頭 言

滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 外科学講座（心臓血管・呼吸器外科） 教授

鈴木 友彰



同門会誌の巻頭言は、ついこのあいだ書いたような気がしますが、一年たちました。執筆時現在（5月）、世の中の状況は去年と変わりなく、むしろ悪化しています。ワクチン接種は終わっています。この巻頭言が読まれるころには改善していることを祈ります。

2021年は新たに呼吸器外科に2人、心臓血管外科に2人、合計4人の新入局員が加わりました。快挙です。呼吸器外科に益本貴人と渡邊敦子、心臓血管外科に松林優児と三輪駿太です。昨今の外科不人気に逆行する事態ですが、大学以外の関連病院をきっかけに入局するパターンが増えてきています。新入局員確保には関連病院の充実が大きなファクターであるといえます。関連病院でよい臨床を見せ、熱心に勧誘してくれた先生方ありがとうございました。

とはいえ、大学が充実していなければ、人材育成も関連病院の充実もあり得ません。大学のミッションは、臨床、研究、教育の3本柱です。これはよく言われることで、当然と思っていましたが、本当の意味では理解できておりませんでした。といいますか、理解できていない、ということがようやく最近分かりました。教育の専門家、研究の専門家、臨床の専門家がいます。100%の力を一点集中している方々です。その方たちからすると、「なにが3本柱だ」といいたいところでしょう。この3本を100%ですべてそろえることなど不可能です。1/3柱を、3つ掲げているだけなのです。全力で頑張っただけそれぞれ最大33.3%です。

外科医のキャリアについて考えることがあります。みなさん外科に魅力を感じ、「外科医」という響きにあこがれて入局した仲間です。そういう意味では、我々は共有しているものがありますね。私も、「職業は？」と聞かれ、「心臓外科医です」と答えたい、それだけで選びました。浅はかです。でも外科医にはこの純粹さが必要でしょう。誰かに理解してもらわなくてもかまいません。仮面ライダーにあこがれたのと一緒です。

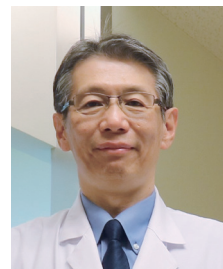
外科医はたくさん借金をします。一番は患者さんからの借金です。未熟な若い外科医に治療されたい患者さんなどいません。しかし、外科医は患者さんからたくさんを学びます。語弊がありますが、生きた教科書です。みなさんの成長に協力してくれた患者さんを思い出してください。患者さんからは当方もない量の借金をしています。病院から借金します。病院は優秀な経験の多い外科医が欲しいに決まっています。しかし、未熟な外科医も雇ってくれます。なぜでしょう？ 給料も払ってくれます。文字通り借金です。先輩から借金します。上級医が研修医に教える目的は、研修医が将来立派な外科医になってもらいたいから、ではありません。

研修医に仕事を覚えさせて自分の仕事を楽にするためです。これは本来の借金の理論に近いものがあります。ギブアンドテイクです。そして国民に借金をします。皆さんが医師になるまでにどれだけの税金がかかっているでしょう。そして・・・、ある時期になると借金を少しずつ返せるようになります。一人前の外科医となり、技量で世の中に貢献できるようになります。患者さんのお役に立てるようになります。後輩を育成できるようになります。病院を潤すことができるようになります。そこから借金返済スタートです。体がもつ限り返済し続けて定年までに完済できるかどうか、といったところでしょう。いま、やっと私はその段階に来させてもらったと思っています。よいキャリアを積んだ外科医ほど多くの借金を抱えています。私はこれから借金を返済し続けなければなりません。完済できたら外科医の人生を全うしたといえるかもしれません。みなさんも、自分が負った借金を勘定してみてください。そしてどれくらい返済できたでしょうか？返済をやめてしまった外科医はいませんか？メスのために借りた借金はメスで返すしかありません。これからも感謝の気持ちを忘れず、少しずつ借金を返していきたいと思います。

◆ 巻 頭 言

滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 外科学講座（呼吸器外科） 准教授

花 岡 淳



この度、滋賀医科大学外科同門会の理事を拝命いたしました。微力ではございますが同門会の運営に尽力していく所存ですので、会員の先生方にはご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

私は平成2年に滋賀医科大学旧第二外科に入局し外科医の道を歩み始めましたが、現在の医局で外科大講座に統合される前を知るのも私一人となってしまいました。当時はメジャー診療科が人気であり、外科医を目指す医師の入局も多く、同期とも切磋琢磨し合いながら知識と技術の向上を図ることが出来る時代でありました。しかし、昨今の外科離れに伴う医師の減少と高齢化は、このような環境を減少させるだけでなく個々の外科医の負担も大きくし、益々先細っていくのではないかと懸念を抱かせています。外科同門会の事業目的である、滋賀医科大学外科学講座の発展と向上、外科関連の学術の研鑽と普及および地域外科医療の充実を達成するためには、やはり『人』の力が必要であり、外科を志す人材の勧誘が重要な課題であると思っております。その中心は、教育機関である大学が拠点であることは言うまでもなく、現在も大学勤務している身の上ですので、今まで以上に力を注ぎたいと考えております。

外科同門会が社団法人へと移行し、また、外科専門医の新制度が開始される転換の時期に医局長として同門会運営の実務を行う経験をさせて頂きました。今後は理事の一人として企画立案する立場に携われることは大変貴重な機会であり、コロナ禍で更に加速される社会の変革に対応可能な体制構築を目指される谷徹新理事長のもと、精励していきたいと考えております。重ねて会員の皆様のご協力のほど何卒宜しくお願ひ申し上げます。

◆ 巻 頭 言

滋賀医科大学外科同門会 理事
 滋賀医科大学 家庭医療学講座 客員教授
 地方独立行政法人 公立甲賀病院 非常勤医師

江 口 豊

臨床と研究—海外研修の薦め

昨年度末に救急集中治療医学講座初代教授を無事定年退職し、現在は地域連携として公立甲賀病院救急医療部救急指導嘱託医を中心として救急 ER を担当するとともに、客員教授として臨床研究を引き続き行っております。

現在、医療・医学の発展により診断・治療のガイドラインが各分野で定められ、さらに新専門医制度の開始により、標準的診療を基本として臨床の実践とその教育が推進されております。この為に、研究に専念することや海外で修練する機会が失われ、近年では海外研修する若手が激減してきております。医学が発展することで医療の質の向上がなされ、その結果からガイドラインが改訂され質の高い医療が普及していきます。この過程に寄与するためには医学の進歩に関わり院内あるいは国内の施設と共同研究する、さらには海外で研究や臨床修練をしていく必要があるものと考えております。

私自身、「これからの外科医は臨床と研究の両方ができるように」との小玉正智元旧第一外科教授のお言葉に感銘し、大学院を専攻し、研究の世界にも足を踏み入れましたが、まず、米国フィラデルフィアのペンシルベニア大学一般外科に3ヶ月の研修に派遣していただきました。帰国時には肝移植研究の一環として「凝固・線溶系」のテーマをいただき、その分野では本邦トップである自治医科大学血栓止血学教室でご指導を仰ぐことができました。約3年間の修練を終えて小玉先生から研究指導をするようにご指示をいただきましたが、まだその力がなかったため、自治医大血栓止血学教室の縁で米国サンディエゴの Scripps clinic and Research Foundation (Vascular Biology) に留学いたしました。

現在も私が臨床に研究に邁進できるのは、研究への機会を設けていただき、忍耐強く指導していただいた先輩先生方と、私を信じて指導を受けてくれた後輩のおかげであります。この度、



外科学同門会の理事を拝命いたしました。私自身が今後も研究を通じて臨床に寄与する楽しさを広げていくとともに、共同研究や海外研修へのシステムを確立できるように尽くして参る所存であります。今後ともご指導・ご助言をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

◆ 巻 頭 言

滋賀医科大学外科同門会 理事

一般社団法人 草津栗東医師会 理事

きづきクリニック 院長

木築 野百合



高下駄とヘアマニキュア

このたび、同門会の理事を拝命いたしました、木築です。谷 徹先生から直々にお電話いただき、お断りできず、若輩者ですが、お引き受けした次第です。

若輩者と申し上げましたが、齢61となった私、還暦もすぎ、若輩という言い訳は使えないところまでできてしまったと、自覚しているところではあります。

頭髮も白いものが目立つようになり、ヘアマニキュアで胡麻化している状態です。単に白髪を黒くするだけでなく、カラフルにおしゃれを楽しんでおります。

女性外科医会というのがございまして、私もお仲間に入れていただき、たまに、集まりに顔をだすのですが、女性が外科を続けるなかで、ファッションやメイクの方法も習得し、清潔感を保ち、個性を生かし、自己アピールしなければならないことを以前に、聞きかじりました。

谷 徹先生が私をご指名くださった意図は、女性医師の目線と、医師会の理事である立場から、開業医や医師会とのパイプになることをご期待くださったものと心得ております。いまや、滋賀医大の学生は女性のほうが多い学年もあると聞きました。女性医師が活躍できる社会を構築し、外科の分野にも多くの女性医師が当たり前に進出できるように体制を整える必要があらうかと考えます。

女性医師の立場の話になりますと、「私は男性として、扱っていただいて結構です。」と小玉先生に啖呵をきったことを思い出します。男性の先生に負けないように、頑張り、女性だからこそ提供できる患者さんへの配慮を意識し、そのうえで、精一杯走って参りました。「男性として扱ってください。」と啖呵をきったときには、結婚もせず、出産もせず、男性諸氏と同じだけ当直もし、手術にも入る意気込みでありました。しかし、そのようにはいきませんでした。

日野記念病院で岡先生に外科の手ほどきをうけているとき、身長の高い私が前立だと、先生が立ち位置を変えられるたび、看護婦さんに、「足台動かして。」と頼まなければならない、その間先生のお手を止めるはめになっていました。ある日、岡先生に、「お前は高下駄をはけ！」といわれ、手術室の看護婦さんが本当に高下駄を手術室用に用意してくれました。それ以来、立ち位置を代わるときも、カランコロンという音をさせてはいましたが、お手を止める時間を短縮することができました。

高下駄をはくことで、身長の低さをカバーし、対応する。その高下駄を不平等とはいわないでほしいです。(医学部の入試に際しては下駄をはかせた大学が問題になっていましたが)

出産、育児のときに、休暇をいただく、その休暇のときに代診していただく、それこそが、男女平等にするための下駄だろうと思います。

県医師会で医師のワークライフバランスを考える会の担当理事として、日本医師会の男女共同参画フォーラムにも参加しています。全国的に外科医の高齢化、医局員の減少があり、女性医師を活用することが一つの解決策ともいわれています。必要な高下駄を用意して、女性医師も男性医師も働きやすい組織になることを祈ります。そのために、できること、緑の前髪のパワーで尽力したいと思います。

柴田 純祐 先生追悼

1. 柴田先生を偲んで

川口 晃

2. 故 柴田 純祐 先生を偲んで

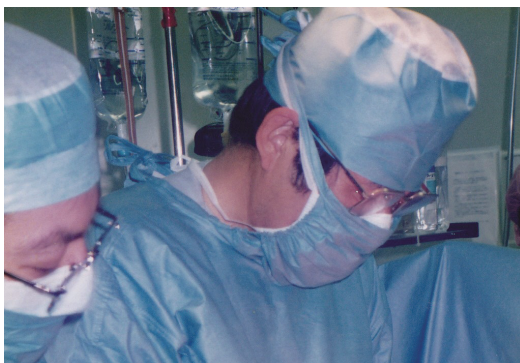
内藤 弘之

故 柴田 純祐 先生



略歴

昭和41年	3月	京都府立医科大学 卒業
昭和42年	10月	京都府立医科大学病院 第二外科
昭和45年	1月	県立今治病院 医長
昭和52年	4月	京都府立医科大学 助手
昭和56年	5月	京都府立医科大学 講師
昭和59年	9月	滋賀医科大学 講師
平成3年	7月	滋賀医科大学 助教授
平成10年	3月	同 退任
平成10年	4月	医療法人社団 昂会 日野記念病院 院長
平成20年	3月	同 退任
平成20年	4月	医療法人社団 美松会 生田病院
平成30年	12月	同 退任



柴田先生を偲んで

ニプロ・ライフサイエンスサイト
メディカルセンター長 川口 晃

昨年末、突然の訃報が届き一瞬、時間が止まったかのような錯覚に陥りました。

そして、走馬燈のように柴田先生にご指導いただいた多くの日々が思い出されました。

柴田先生とは同門会内々のフランクな手術手技研究会でお会いしたのが最後でした。私は病院勤務から医療研修施設へ異動したこともあり、ここ数年は顔を拝見することもなく、お会いできる機会をもっと大切にしておけば良かったと悔やまれて仕方がありません。

私が旧第一外科へ入局したのが昭和60年、柴田先生が京都府立医大から出向してこられた年であったように記憶しております。小玉教授とともに大変恰幅の良いお姿でした。柴田先生の手術は、左手で立体的に視野を展開され、複雑な手術をあたかも簡単そうに見せる安定した手術で、他科からも厚く信頼されておられました。

当時研修医であった私からは遠い存在でしたが、柴田先生と深く接するようになったのは、私が大学院を卒業して上部消化管グループに配属された頃からだったように思います。同期に比べて臨床の遅れを意識して焦っていた私は、この頃より柴田先生に徹底して手術の基本を教わることになりました。当時食道癌では3領域郭清の効用と郭清範囲、反回神経の温存テクニックが、胃癌ではD4郭清の意義、胃全摘後の小胃症状、噴門切除後のダンピングや逆食の予防に向けた術式の工夫等が盛んに議論されていた頃でした。府立医大の頃より取り組まれておられました回結腸間置に加えて、小腸ポーチ間置の導入等に取り組みながら、私たち若手に手術のノウハウを徹底的に叩き込んでいただきました。

当時雑誌「手術」には手術テクニックに関する雑談会が連載されており、柴田先生からいろいろなノウハウを教わり大変勉強になりました。当時は開腹手術が主でしたが、「手術は左手でするものだ」と視野展開、出血のコントロール等々にいかに左手を巧みに使うか教えて頂いたことが昨日の事のように思い出されます。視野展開が巧みで、柴田先生が前立ちに入られると、技術の未熟な我々でも手術が上手くなったように錯覚したものでした。

私達には根気強く丁寧に指導して頂く良き大先輩でしたが、手術室の看護師さんや色々な昔話では、術中の柴田先生は大変怖かったという話をよく聞いていました。なかなか上達しない若手にストレスが溜まっていたのでしょうか。術中”くんくん”と鼻を鳴らされる(これこそ血圧が上がってきたサインだったのですが)と、度々内藤君と顔を見合わせていた事を思い出されます。

手術だけではなく、非常に患者様に寄り添われる医師でもありました一方で学会活動にも積極的に取り組まれておられました。食道学会の前身である食道疾患研究会の泊まり込みで開催された温泉地では、懇親会で遅くまで楽しく過ごさせて頂きました。イタリアの国際学会では身なりがご立派だったので、柴田先生だけがちびっ子ギャングに狙われると言った笑い話もありました。

体格もご立派で、ゴルフやテニスに色々なスポーツに参加しておられました。

旧第一外科では毎年夏に山梨の避暑地でのテニス合宿を催していましたが、体幹とリストの力強い安定したプレイが思い出されます。お酒でお顔をほんのりと赤らめられながらも、夜遅くまで一緒に盛り上げて下さいましたことを今でも思い出されます。

晩年は、体調を崩された事もありご苦労も多かった事と思います。

それだけに、お会いできなかった事は残念でなりません。

私にとって、医者として人として、尊敬してやまない恩師でした。

ご生前の温かいご指導の数々に感謝すると共に、心からご冥福をお祈り申し上げます。



故 柴田 純祐 先生を偲んで

医療法人医誠会 神崎中央病院

副院長 内藤 弘之

旧滋賀医科大学第1外科助教授、前日野記念病院院長の柴田純祐先生が2020年12月22日逝去されました。奥様から連絡頂いた訃報は、年明けの1月初旬で、驚きと焦燥感で家内共々しばらく声が出ませんでした。ここに謹んで哀悼の意を表します。

柴田先生とは小生が5回生の時にテニスを通じてお会いしたのが最初であったと記憶しています。柴田先生はもともと軟式テニスをされていて、京都府立医大では西医体で優勝されている（小生の記憶が正しければ）程の実力の持ち主で、その後硬式庭球をされて、当時硬式庭球部の幹部学年の際に、一緒にラリーをさせて頂きました。フォアハンドストロークが強烈で、撃ち負けることもありました。実習で病院の廊下でお会いした際は、肩で白衣を着て、テニスをしている時とは全く違う厳しい表情で、「外科医柴田先生かっこいい！」と感動した記憶が蘇ります。当時は国家試験対策の勉強会をする場所確保に困る時代でしたが、気付けば外科外来の鍵を渡され、「診察以外の時間は自由に使っていいぞ！」と勉強会メンバー共々大変ありがたかったのを記憶しています。と同時に「ん？これは外科入局の引導か」と覚悟したものでした。

小生は1987年に当時の第1外科入局となり、柴田先生には学生時代とは打って変わって、厳しい指導、叱咤激励を頂きました。「糸結びを上手くなれ」「ほかの医師の手術を見学しろ」「不幸にも合併症が発症すれば主治医が自分でなくても自分の患者さんに起こったように勉強しろ」「止血確認や吻合部のチェックで手術が1時間長くなっても、それを怠ると患者さんの術後回復が1ヶ月遅くなるぞ」など、書ききれないほどの柴田先生の言葉が脳裏に焼き付いており、気付けば自分が若い先生を指導するときに同じことを言っていたような気がします。特に柴田先生はいつも朝7時前には医局におられ、「外科医は早く来て患者さんを診るんや。異常の気付きの半日の遅れが、患者さんの1ヶ月に影響するし、もっと重篤なことになるぞ」との教えを頂きました。その教えを忠実に守ったおかげで、その後小生の下に付く若い先生方には「早起きしないといけないので大変やで」と囁かれることとなりました。

卒後10年目くらいになると多くの手術を執刀させて頂きましたがいつも柴田先生には助手に入っていました。学生好きの柴田先生は、順調に手術が進んでいるときは、視野を展開しつつ実習の学生さんと楽しい会話をされていますが、小生が無駄な出血をさせてしまうと、ピタッと会話が止まり、ケリーで血管をクランプし、「内藤、まだまだやな！また血圧が上がったわ！」というシーンが数多く蘇ります。やがてとある胃全摘術で、「内藤、今日はいいい手術やった。今

日はゆっくり寝れるわ」と。柴田先生に手術では初めて褒めて頂いた??ので、そのシーンは今も鮮明に残っています。

卒後 21 年目に日野記念病院に赴任した際、柴田先生が院長をされており、また一緒に仕事が出来るとこの上なく嬉しく思った自分がいました。

こんな柴田先生との思い出は尽きることなく、誌面がいくらあっても足りません。我々の世代の消化器外科医の成長の過程においては、柴田先生抜きでは語れないのではないのでしょうか。

外科医として、医師として、そして人として尊敬し、恩師と仰いでおりました柴田先生の訃報は、受け入れ難いものがありますが、今までご指導頂いたことに心より感謝の意を捧げますとともに、謹んで柴田純祐先生のご冥福をお祈り申し上げます。



2020年度 同門会各賞受賞のことば

1. 同門会賞受賞

滋賀医科大学外科学講座（呼吸器外科） **川口 庸**

Yo Kawaguchi, Jun Hanaoka, Yasuhiko Ohshio, Keigo Okamoto, Ryosuke Kaku, Kazuki Hayashi, Takuya Shiratori, Makoto Yoden.
Patient Survival after Surgical Management in Intrathoracic Pseudomyxoma.
Ann Surg Oncol, 26:238-243, 2019

2. 同門会賞受賞

滋賀医科大学外科学講座（消化器外科） **前平 博充**

Hiromitsu Maehira, Toru Miyake, Hiroya Iida, Aya Tokuda, Haruki Mori, Daiki Yasukawa, Ken-ichi Mukaisho, Tomoharu Shimizu, Masaji Tani.
Vimentin Expression in Tumor Microenvironment Predicts Survival in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma: Heterogeneity in Fibroblast Population.
Ann Surg Oncol, 26:4791-4804, 2019

3. 理事長賞受賞

滋賀医科大学臨床腫瘍学講座 **寺本 晃治**

Koji Teramoto, Tomoyuki Igarashi, Yoko Kataoka, Mitsuaki Ishida, Jun Hanaoka, Hidetoshi Sumimoto, Yataro Daigo.
Clinical significance of PD-L1-positive cancer-associated fibroblasts in pN0M0 nonsmall cell lung cancer.
Lung Cancer. 137, 56-63, 2019

4. 若手外科医賞受賞

淡海医療センター（旧：草津総合病院） 心臓血管外科 **鉢呂 康平**

Kohei Hachiro, Takeshi Kinoshita, Tohru Asai, Tomoaki Suzuki.
Impact of Mitral Surgery for Mitral Regurgitation on Coexisting Aortic Regurgitation.
Ann Thorac Cardiovasc Surg. 26(2);79-83, 2020

5. 若手外科医賞受賞

滋賀医科大学外科学講座（消化器外科） **前川 毅**

前川 毅, 飯田 洋也, 前平 博充, 北村 直美, 森 治樹, 谷 眞至
脾摘後の門脈血栓を契機に出現した肝限局性結節性過形成の1例
日本臨床外科学会雑誌, 80(1);115-121, 2019

◎ 2020年度同門会 同門会賞受賞



滋賀医科大学外科学講座（呼吸器外科）

川口 庸（平成19年卒）

この度は大変名誉ある同門会賞を頂き、心より感謝申し上げます。

今回評価していただいたのは、Annals of Surgical Oncologyに掲載された論文、”Patient survival after surgical management in intrathoracic pseudomyxoma peritonei”になります。

腹膜偽粘液腫 (pseudomyxoma peritonei) は大量の粘液を産生する腫瘍で、腹膜播種の状態で発見されることが多い、非常に稀な腫瘍です。現在、腹膜+肉眼的腫瘍切除および腹腔内温熱化学療法により根治が期待できるようになってきました。この腹膜偽粘液腫が経横隔膜的に胸膜播種再発を来すことがあります。これまで胸膜播種再発を来した症例は根治の可能性はなく、緩和的な治療が行われてきました。というのも、呼吸器外科医の中で「胸膜播種」は進行がんであり根治的治療の対象にはならないと考えられてきたからです。しかし腹膜偽粘液腫は抗がん剤治療や放射線治療がほとんど奏功せず、粘液の胸腔内充満に伴う拘束性換気障害を緩和するためのドレナージもうまくいかない、という状況でした。この状況を解決するために本研究では腹腔内病変と同様、胸膜+肉眼的腫瘍切除および胸腔内温熱化学療法を行いました。

研究の実施に当たっては胸腔内温熱化学療法の文献がほとんどなく、腹腔内温熱化学療法を参考に治療計画を組み立てていきました。最終的に50%近い5年生存率を得ることができ、「根治できない」とされていた病態を、「根治の可能性が期待できる」と、本研究で証明できたと考えております。本研究を通して、「できない」という常識を疑い、患者さんのために新しい治療を探求する、という医師として非常にやりがいのある仕事を経験させていただきました。

最後に、研究の推進にあたり、ご指導、ご協力していただいた滋賀医大呼吸器外科の先生方、また草津総合病院消化器外科の先生方に深く感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

◎ 2020年度同門会 同門会賞受賞



滋賀医科大学外科学講座（消化器外科）

前平 博充（平成 18 年卒）

この度は、2020年にAnnals of Surgical Oncology誌に掲載されました論文「Vimentin expression in tumor microenvironment predicts survival in pancreatic ductal adenocarcinoma: Heterogeneity in fibroblast population」に対して、2020年度 滋賀医科大学外科同門会 同門会賞を授与していただき、誠にありがとうございます。

現在、私は肝胆膵外科、なかでも特に膵臓外科を中心に診療にあたっております。肝胆膵外科は、手術難易度が高い手術が多いだけでなく、予後不良な疾患を多く抱えています。その中でも、膵癌は全悪性腫瘍の中でも最も予後不良な疾患です。予後不良であることは、現代のネットワークの発達により周知の事実となっており、膵臓癌であるという告知のみで、「もう人生終わった」と感じられる患者様がほとんどです。これは、手術が高難度であるだけでなく、効果のある化学療法が少ないことも起因しています。

膵臓外科医の使命は、「①安全な膵臓手術（周術期管理）を身につけること」「②膵癌治療戦略を考えること」にあると考えます。今までにも、①に関しては、手術手技を磨きながら、膵頭十二指腸切除術後の膵液瘻の術前予測因子や術後脂肪肝の予測因子、至適な術後ドレーン留置部位を報告し、周術期管理をより安全に行える方法を模索してきました。そして、今回名誉ある同門会賞をいただいた内容は②に関する研究報告になります。

膵癌は他の癌腫に比べて非常に線維化が多い癌腫です。そして、この線維化が予後不良の原因の一つではないかと考えました。そこで、線維化を引き起こす線維芽細胞に注目しました。線維芽細胞は創傷治癒過程でも誘導されますが、癌からも誘導され癌周囲環境を形成しています。私は、既存の膵癌に対して2重蛍光免疫染色を行うことで、癌に対して「促進的」な役割を果たす線維芽細胞と「抑制的」な役割を果たす線維芽細胞が腫瘍微小環境に存在していることを発見しました。線維芽細胞は癌に対して「促進的」な働きをするというという既報が多い中、線維芽細胞を減らしても腫瘍増殖を抑えることができなかったとする既報もあり、この原因の回答が私の研究にあると思考しております。すなわち、膵癌治療においてすべての線維芽細胞を減ずるのではなく、腫瘍に対して促進的な線維芽細胞のみを減ずる必要があると考えております。この研究結果を皮切りに、さらなる研究を後輩に引き継ぎ行っていきたい所存です。

最後になりましたが、この研究に関してご指導いただきました、谷眞至教授、三宅亨先生にこの場をお借りして多大なる感謝を申し上げます。現在、若手外科医が不足しており、外科医になりたいような環境作りが必須と考えております。私の教育のモットーは「見せる（魅せる）」「させる」「引き継ぐ」の3つです。今後は、後輩外科医への手術および研究に対する教育に力を注いでいき、膵癌の予後向上に寄与していきたい所存でございますので、今後とも引き続きご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

◎ 2020年度同門会 理事長賞受賞



滋賀医科大学臨床腫瘍学講座
寺本 晃治 (平成8年卒)

この度は、2019年にLung Cancer誌に掲載されました論文「Clinical significance of PD-L1-positive cancer-associated fibroblasts in pN0M0 non-small cell lung cancer」に対して、2020年度 滋賀医科大学外科同門会 理事長賞を授与して頂き、誠に有難うございます。

本論文での研究は、滋賀医科大学 呼吸器外科で手術されました非小細胞肺がんの組織検体を材料にして、がん関連線維芽細胞 (cancer-associated fibroblasts, CAFs) における Programmed cell death-ligand 1 (PD-L1) の発現メカニズム、PD-L1を発現しているCAFsの非小細胞肺がんにおける予後予測バイオマーカーとしての意義を探索したものです。

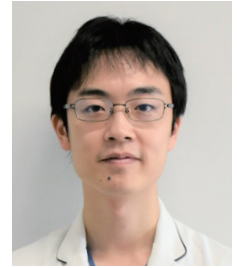
近年、がん治療における免疫チェックポイント阻害薬の台頭を契機に、腫瘍微小環境における免疫チェックポイント機構に注目が集まっています。我々も、早期より、非小細胞肺がんにおけるPD-L1分子の発現制御の研究に取り組んで来ましたが、その一環として、非小細胞肺がんにおけるPD-L1発現を免疫組織化学染色で観察していました。その際に、がん細胞以外にもPD-L1を発現している細胞群が存在することに気が付き、そのような細胞群の1つがCAFsでした。CAFsは、がん間質を構成する主要な細胞の1つで、抗腫瘍免疫応答の制御に関与するという報告もありますが、起源や特性については、解明すべきことが多い、なかなか興味深い間質細胞です。このようなPD-L1を発現しているCAFsを認める症例の臨床的特徴を明らかにしたいというのが、本研究の開始の動機でした。

まず、CAFsにおけるPD-L1の発現制御について、非小細胞肺がん組織から単離したCAFsにInterferon-gamma (IFN- γ)を添加して、PD-L1のmRNAおよびタンパクレベルの発現について解析すると、これらは、IFN- γ の刺激により上昇すること、この反応は可逆的であることが判明しました。さらに、pN0M0の非小細胞肺がんの根治的切除例125例（浸潤性肺腺がん88例、扁平上皮がん37例）に対してPD-L1免疫組織化学染色でCAFsのPD-L1発現について調査したところ、31例（24.8%）の症例で、CAFsにPD-L1を認めました。また、術後の無再発生存期間を解析したところ、PD-L1高発現群では5年無再発生存率は84.5%、PD-L1低発現群では66.3%と、PD-L1高発現群の方が有意に術後の予後が良好でした ($p=0.031$)。さらに、多変量解析では、CAFsにおけるPD-L1の発現は、独立した術後の再発における予後因子であることが判明しました (ハザード比: 3.225, $p=0.027$)。IFN- γ は、主に活性化したリンパ球から分泌され、それにより、CAFsはPD-L1を発現すると考えると、pN0M0症例におけるCAFsのPD-L1発現は、抗腫瘍免疫応答の活性化を示唆しており、これが良好な予後に関与しているのではないかと考察しました。

肺がん組織を顕微鏡で観察していると、がん細胞を中心に、多様な細胞による直接および間接的な相互作用が、持続的に繰り返されていそうな気がしてきます。これからも、そのような腫瘍微小環境における細胞間クロストークを“盗み聞き”して、腫瘍微小環境におけるがん免疫応答を紐解いて行きたいと考えています。

最後になりましたが、本研究の過程で、微に入り細にわたって、お力添えを賜りました、同門の五十嵐知之先生、片岡瑛子先生には、この場をお借りして、心から感謝申し上げます。

◎ 2020年度同門会 若手外科医賞



社会医療法人誠光会 淡海医療センター（旧：草津総合病院）（心臓血管外科）

鉢呂 康平（平成26年卒）

この度は若手外科医賞を頂き、誠に有難うございます。このようなすばらしい賞を得られましたのも、諸先輩方に日々ご指導頂きました結果であり、心より感謝しております。

今回ご評価頂きました論文は2020年に Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery 誌に掲載されました「Hachiro K, Kinoshita T, Asai T, Suzuki T. Impact of Mitral Surgery for Mitral Regurgitation on Coexisting Aortic Regurgitation. Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Apr; 26(2): 79-83」になります。現行のガイドラインでは、手術適応のある僧帽弁閉鎖不全症に対して僧帽弁手術を行う際に中等度以上の大動脈弁閉鎖不全症が併存している場合、同時に大動脈弁置換術を行うことが推奨されています。しかし、併存している大動脈弁閉鎖不全症が軽度であった場合には大動脈弁置換術は施行されません。その場合、残存する軽度の大動脈弁閉鎖不全症が僧帽弁手術後にどのような経過を辿るかははっきりしていませんでした。今回の研究では僧帽弁手術後の大動脈弁閉鎖不全症の程度を経時的に調べることで、術前の左心房径が50mm以上であることが大動脈弁閉鎖不全症増悪の予測因子であることを示しました。術前の左心房径の拡大は僧帽弁閉鎖不全症を長期間患っていたことを示唆するため、軽度の大動脈弁閉鎖不全症を併存する僧帽弁閉鎖不全症に対しては左心房が拡大する前に治療介入を行うことが重要であると考えられます。

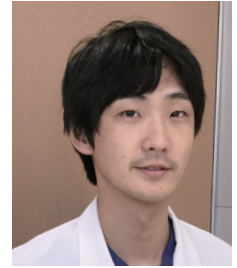
2つ以上の弁膜症が併存する連合弁膜症では、それぞれの弁膜症が互いに影響しあうことで心機能を正確に評価することが困難とされています。僧帽弁閉鎖不全症と大動脈弁閉鎖不全症は共に左心室に対して容量負荷を引き起こす疾患であり、大動脈弁閉鎖不全症が軽度残存する中で僧帽弁治療を行うことが心機能にどのような変化をもたらすのかははっきりしていませんでした。今回の研究ではそのような連合弁膜症に対して実際に手術を施行された方を対象に、術前から術後にかけての心機能を経時的に評価して考察を行った点が評価されたものと考えています。

経時的に心機能を調べていく中で、軽度であった大動脈弁閉鎖不全症が改善する症例や増悪する症例を発見し、それらの症例の背景の違いなどを調べていくことで各弁膜症疾患に対する病態理解をより深めることができました。また、導き出された結果に対する自分なりの仮説を立て、過去の文献と照らし合わせて考察するといった作業も自分にとっては論理的思考を養うために有意義な時間でした。外科医として臨床に全力を尽くすことは当然ですが、心臓手術を

受けるために命を懸けて手術台に乗って下さった方々の生身の情報をまとめて発信していくことも心臓外科医の責務であるように思います。

この論文を評価して頂き、名誉ある賞を頂きましたことを心から感謝申し上げます。また論文作成にあたりご指導頂きました先生方にもお礼を申し上げます。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

◎ 2020年度同門会 若手外科医賞



滋賀医科大学外科学講座（消化器外科）

前川 毅（平成28年卒）

この度は、若手外科医賞という栄誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。

今回受賞させていただいた論文は、私が初めて執筆させていただいたもので、指導医の先生方には、文献の調べ方から論文の書き方まで、論文の「いろは」を一から教えていただきました。ご指導いただいた飯田洋也先生、谷 眞至先生に厚く御礼申し上げます。

論文の内容は、脾臓摘出後の門脈血栓を契機に出現した肝限局性結節性過形成 (FNH) の症例報告でした。同疾患は肝臓の良性疾患で2番目に多く、悪性化することはないと考えられていますが、増大傾向を示すものは珍しく、車軸様瘢痕などの典型的な画像所見を認めない場合は診断に難渋することがあります。今回の論文では、「腫瘍の増大スピードで鑑別できないだろうか？」という疑問から、腫瘍体積倍加時間 (TVDT) に目をつけ、FNHと肝細胞癌のTVDTとの比較やFNHのTVDTと病理組織学的因子の関連について考察させていただきました。

今回の論文作成を通じ、出会った一つの症例から様々な可能性を考察し、情報を集め、関連性を見出し、検証していくという過程は非常に興味深いものだと感じました。また、疑問を解決するために勉強し、疾患についての理解を深めていくことは、我々若手が今後一人前の外科医になるために非常に重要なプロセスであることを学びました。それと同時に、日々の業務の中で論文作成に時間を割き、成果を出すことはとても大変なことだと実感しました。外科の先生方は、本当に忙しい臨床の中でも、診療を通してデータを集め、研究を行っておられます。いつもその姿を間近で拝見させていただくことで、自分も忙しさに負けずに、諸先生方のようになれるよう頑張ろうと刺激を受けております。この論文で満足せず、いつか自分でも新しいものを生み出せるよう、さらなる努力を続けていきたいと思っております。

最後になりますが、このような栄誉ある賞を受賞させていただき、選考いただいた方々に厚く御礼申し上げます。この賞に恥じぬよう、今後も研鑽を積み、滋賀県を支える外科医となれるよう頑張っていきたいと思っております。

同 門 会 便 り

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1. 淡海医療センター（旧：草津総合病院） | 林 一 喜 |
| 2. がん研有明病院 | 山 口 智 弘 |
| 3. 武田総合病院 | 北 村 将 司 |
| 4. 名古屋徳洲会総合病院 | 石 川 健 |
| 5. 長岡京病院 | 藤 野 光 廣 |
| 6. 済生会滋賀県病院 | 森 本 政 憲 |
| 7. 西京都病院 | 吉 岡 豊 一 |
| 8. 淡海医療センター（旧：草津総合病院） | 木 下 武 |

● 社会医療法人社団誠光会 淡海医療センター (旧:草津総合病院)

呼吸器外科医長 林 一喜 (平成 23 年卒)



誠光会草津総合病院の始まりは、昭和 50 年に水野光邦先生が開院された水野外科医院でした。2006 年 4 月に草津駅近くの旧病院から、現在の矢橋町に新築移転しました。また、草津市には市民病院がないため、2008 年に「公益性の高い医療」の担い手として社会医療法人として認可され、個人病院から社会医療法人へと変わりました。2020 年 10 月 1 日、草津総合病院の機能を分離することにより、淡海ふれあい病院が開設さ

れました。以降は専門性豊かな急性期医療は草津総合病院が、地域に根ざした慢性期・地域医療は淡海ふれあい病院が担うこととなり、ますます充実した医療を地域に提供できる体制が整っております。また、草津市のみならず幅広い地域から受診いただいております。「草津総合病院」の名称は変更される予定です。変化を恐れず、常に改善を目指して今後も進化していくことと存じます。

2020 年度より、前任の川口先生に代わり林が赴任いたしました。花岡先生をはじめ、大学の先生方にご指導をいただきながら日常診療に励んでおります。さらに 2021 年 4 月 1 日より、四国は高知医療センターから喜田裕介先生が赴任されました。前任以来これまで一人での診療をおこなっていましたが、今後はより密度の濃い医療を提供できるよう努力して参ります。同門会先生方の変わらぬご指導ご鞭撻を今後とも頂戴できれば幸甚でございます。

● 公益財団法人 がん研究会有明病院

大腸外科医長 山口 智弘 (平成 12 年卒)

「がん研 看護師が感染し医師ら約 120 人が自宅待機→1 日最大 40 件の手術数を 8 割減！」という全国ニュースが 2020 年 4 月に流れ、一気に不安と緊張が院内に走りました。その頃、都内のいくつかの大病院でコロナの院内感染がおき、診療縮小する事態に陥っていましたので、当院は、「がん治療における最後の砦」として他院から押し出されるがん患者の受け入れを表明し、休日でも手術しようと気運が高まっていた矢先でした。自分が感染したらどうしよう、という不安を払拭し、職員の心を 1 つにしたのが、佐野武病院長からの以下のメールでした。「私は昔から臆病で、今もたびたびコロナの悪い夢を見て目が醒めます。「最後の砦」とかなんとか言って皆を焚きつけて、患者さんや職員がコロナだらけになって病院がつぶれたらどうやって責任を取ればいいんだ……。私は病院長として約束します。がん研有明病院は、コロナに感染した職員を守ります。感染した職員を責める人を許しません。……。私の今の役割は、弱気を見せずに「最後の砦」作戦を引っ張ることです。コロナを正しく理解して、正しく恐れましょう。引くときは引きましょう。毎朝元気な自分を確かめて、堂々と出勤しましょう。でもちょっとまづいかなと思ったらすぐに休みましょう。それが自分と仲間を守る一番の方法です。」

その後、コロナ病棟で患者を受け入れているにもかかわらず、現在まで一度も院内感染なく、そして診療を縮小することなくやってこれたのは、「COVID 対策本部」のおかげです。

この 1 年を振り返ると、2020 年の手術件数は全体で 14% 減少しましたが、原発大腸癌に限ると、22% も減少しました (2019 年 760 件、2020 年 592 件)。大腸外科は、他府県からの患者さんが半分を占めていましたし、海外からの患者さんもいましたので、影響を大きく受けました。都内は検診施設もほとんど閉まっていたため、早期癌の減少は著しく、胃癌の Stage IA は半分の件数でした。癌そのものが減るわけではありませんので、これから徐々に進行した状態で発見される患者数が増えてくることが予想されます。そこで、コロナを恐れて病院受診を迷っている方々に、当院は感染リスクを抑えながら、毅然として癌に立ち向かっていることをアピールする活動を「がん研ブランディングチーム」という全職員から構成されるチームで活動を開始しています。企業への講演、SNS を通じた各科の紹介 (下記) などがそれにあたります。がん患者さんを早期発見し、適切に治療することで、「がん克服をもって人類の福祉に貢献する」という当院の理念を追求していきたいと考えています。

同門会の先生方も、コロナ問題で大変な状況だと思えます。日頃のご指導を感謝申し上げますとともに、今後とも、よろしくご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。



● 医療法人医仁会 武田総合病院

呼吸器外科部長 北村 将司 (平成 11 年卒)

武田総合病院は、1976年に開院、79年に総合病院指定を受けました。以降、42年間にわたり、伏見区東部の中核病院として地域医療を支えています。現在では、救急医療センター、ICU・CCUを構える24時間の救急医療体制、26の診療科目と26の専門外来、消化器センター、糖尿病センター、総合リハビリセンターなどを有しています。病床は500床で、常勤医師は京都大学、滋賀医科大学、大阪医科大学の医局を中心に112名で構成されており、京都でもトップクラスの規模を誇っております。特に内科・外科・脳神経外科・循環器内科・産婦人科・小児科の6診療科目においては24時間救急体制を敷いており、このたびのコロナ禍においても、24時間発熱外来での初期対応や軽症から中等症のコロナ陽性患者さんの入院受け入れを行うなどコロナ診療にも貢献しております。コロナワクチンが開始されてからは、当院で毎日90人程度の個別接種を施行しており、土日週末には伏見区住民集団接種にも当院医師が2-3人出向して接種を行っております。当院は建物こそ開院以来のものであることから、若干ノスタルジックな6人部屋など不便なハードも残存しておりますが、地域の基幹病院として確固たる地位を保っております。呼吸器外科は2001年より滋賀医大外科の関連病院となり、2003年から現在は主任部長となった鈴木先生(H元年卒)が赴任されております。2015年から私が赴任させていただき、以降は常勤医師3人体制で診療にあたっております。2020年より私が部長を拝命させていただき、同年より苗村先生(H25年卒)が赴任してこられました。当科以外では放射線科、整形外科が滋賀医大の医局人事となっております。主任部長の鈴木先生が医療安全管理委員会委員長、コロナ病棟棟医長、伏見区医師会理事など多くの兼務をされており、普段の臨床は私と苗村先生を中心に対応させていただいております。私も感染対策委員をさせていただいております。コロナ禍の緊急事態宣言中は、当院でも重症化し人工呼吸器管理を要する患者さんの入院治療を行うことになり、コロナ陽性患者さんの経口気管内挿管や気管切開など当科で対応を行いました。コロナ禍にもかかわらず、例年同様に年間100例程度の全身麻酔手術を施行しており、主に苗村先生に執刀いただきながら、手術指導を行っております。手術としては、肺癌に対する



完全鏡視下の胸腔鏡手術から大開胸を要する周囲臓器合併切除や気管支・肺動静脈形成を伴う拡大切除まで幅広く手術を行っております。また、胸腔鏡下の縦隔腫瘍手術はもちろん、手掌多汗症や他科からの依頼で施行する中心静脈ポート留置なども行っており、外科医・呼吸器外科医として一人前に手術を安全に安定して遂行できるよう、日々の研鑽を積んでおります。滋賀医科大学外科同門会の一員として若手医師の教育や勧誘などの貢献も考えており、これまでも当院初期研修医から新規入局者も獲得しております。今後も魅力的な外科医の育成を行えるよう、自身も精進して参りたいと思っております。最後になりましたが、同門会の先生方には普段からご協力、ご指導いただき、誠にありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

● 名古屋徳洲会総合病院

外科医長 石川 健 (平成11年卒)

2019年5月～2021年3月末までの2年間、滋賀医科大学附属病院で15年ぶりに働かせていただきました。学生時代・後期研修医時代といった多感な時期を過ごした場所で15年ぶりに生活すると昔のままの場所と変わっている場所が入り混じっておりました。過去と現在を行ったり来たりする感覚に陥り、まるで玉手箱を開けた浦島太郎のような不思議な感覚に陥ることがありました。

このタイミングで、同門会誌のお話をいただき、医局・附属病院や大学周囲をある程度客観的に報告できると思えました。後期研修医から見た昔と医師20年目から見た現在の景色の比較、さらに観察者の経年劣化も加味してお読みいただけましたら、幸いです。

<変わった>

- * 各科の連携がスムーズに：垣根が低くなって、コンサルトしやすい。研修しやすそう・・・
- * 病棟の追加：A,B,C病棟に加えD病棟ができていた。手術室が増床。
- * 南草津駅を中心とした発展
- * 医局が模様替え：2020年にきれいに明るくなりました。

教授室は昔の面影があるような・・・なんか、やっぱり少し汗出ます。

<変わらない>

- * 大学周囲の自然の豊かさ：空気おいしい。鳥がさえずっている。
- * 琵琶湖：やっぱり変わらないでくれていました。
- * 病院以外の滋賀医大の施設(一般教養棟・基礎研究棟・臨床講義棟・グラウンドなど)：部活、勉強と汗をかいた場所は残っていた。
- * 瀬田駅周辺：南草津駅周辺と比べると変わっていない。昭和～平成の空気感？

滋賀県で医師の土壤を作っていたいただいていたにもかかわらず、学んだことを還元しないで臨床ばかりしていた私に大学の助手という貴重な一枠を与えていただき、本当に感謝しております。2年間と短い間でしたが、自分のpatternに固まっていた臨床の考え・手技をbrush upする大変良い機会でありました。また、毎日浦島太郎の気分を味わいながら楽しく働かせていただきました。

病棟・外来・医局の皆様、医局運営に関わる皆様、滋賀の地域医療に関わる皆様、3年前に声を掛けてくれた貝田先生・清水先生、本当にありがとうございました。

最後に谷真至教授！若く元気のある医局作り、ありがとうございます。まだまだ医局はよくなっていますよね。

浦島太郎は玉手箱を開けて、何を思ったのでしょうか？ 亀を助けてよかったと思ったのでしょうか？



● 医療法人総心会 長岡京病院

院長 藤野 光廣 (昭和 63 年卒)

コロナ禍のなか、皆様いかがお過ごしでしょうか。

当方の 2021 年はコロナ対策で明け暮れ、早くも 6 か月が過ぎてしまいました。直近の出来事としては、何とんでも本年 2 月 1 日に新築移転が無事完了したことがあげられます。当日は谷教授のご指示のもと医局からも応援を出していただき、朝 7 時から丸一日かけて入院患者さん 90 名以上の搬送を行いました。これまでの築 40 年以上の旧病院から、新しい病院に移ることができ職員一同喜んでおります。新病院では、リハビリ機能の強化や病室・会議室など諸施設の拡張が実現され働きやすくなっています。おそらく関連病院の中でも、明るく広い医局はかなり上位にランクインするのではないかと思います。大学から新病院までのアクセスも改善され、車で約 35 分。阪急の踏切を渡る必要もなくなり長岡京 IC から約 3 分とより便利になりました。

日々の外科臨床では、これまで通り分娩時陰裂傷後の直腸膿瘍をメインテーマとして、肛門疾患を中心に腰椎麻酔下手術を中心に行っています。新手術室は 1 室に絞り、以前より広く、LED 无影灯で明るく快適に手術できるようになりました。直腸膿瘍は出産直後の若年女性におこる術後再発率の高い治療困難であった病態ですが、当院の術後成績は良好で医療関係者や海外の患者さんも増えています。また、大学医局の坂井先生や東近江の太田先生が、小児症例や直腸がん術後症例にも術式の適応を広げてくださり喜んでおります。

ワクチン接種は何とか軌道に乗りそうな気配ですが、変異株やオリンピック開催など民間病院としては気が抜けない日々が続きます。何とかクラスター発生を起こさないよう、水黒先生と共にスタッフ一同頑張っています。

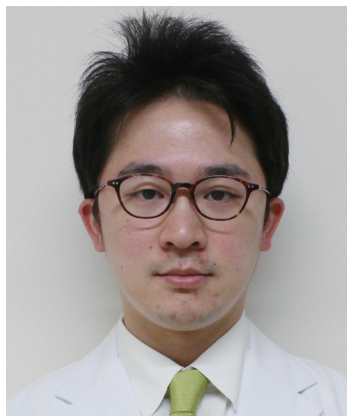
最後になりましたが、大学・同門会会員の皆様も体調管理に十分気を付けてお過ごしください。これからもご指導ご鞭撻よろしく申し上げます。



〒 617-0824 京都府長岡京市天神 1 丁目 20-10 電話：075-955-1151

● 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院

心臓血管外科 森本 政憲 (平成 24 年卒)



済生会滋賀県病院は年間約 6,000 台の救急車搬送を有する滋賀県 3 次救急指定病院であり、ドクターカーが配備された県内随一の救命救急センターを有しています。また、平成 27 年 5 月よりドクターヘリも配備され京滋地区を代表する救急拠点病院として、滋賀県から京都府南部の急性期医療の中核を担っています。一刻を争う重度心臓血管疾患患者が多数搬送されるなか、これまでは心臓血管外科医の常勤体制はなく、予てから心臓血管外科常勤体制の構築が強く求められておりました。

この度、2020 年 1 月より滋賀医科大学心臓血管外科（鈴木教授主宰）の全面バックアップのもと、心臓血管外科（常勤医 1 人、宮下史寛医師）が新設されました。急性大動脈解離や外傷による血管損傷などの緊急対応、腹部大動脈瘤や末梢動脈疾患、下肢静脈瘤に対する外科治療にあたって参りました。

2021 年 4 月より宮下医師にかわり、私、森本が赴任しました。一人の力は微力ですが、循環器内科医師とともにハートチームの一員としてより多くの患者さんに質の高い医療を提供できるよう邁進しています。これまで先輩方に指導頂いてきた、「Patient first」の精神の元、「自分の家族ならどうするか？」という判断軸で日々の診療にあたっています。今後は、滋賀医科大学心臓血管外科との緊密な連携のもと、より短期入院での外科治療、緊急手術ができる環境の構築、地域の先生方との信頼構築・連携強化を行い、地域医療に貢献すべく日々精進していく所存です。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



〒 520-3046 滋賀県栗東市大橋 2 丁目 4-1 電話：077-552-1221

● 医療法人弘正会 西京都病院

理事長・院長 吉岡 豊一（昭和55年卒）

私は、金沢医科大学を卒業して滋賀医科大学の1期生と共に外科学講座（旧第一外科）に入局し、平成元年12月に前任の花澤一芳先生の留学に伴い、当院へ外科部長として赴任しました。自身のアメリカ留学にて一旦退職し、平成4年9月に小玉正智教授の命にて再赴任して平成7年に副院長、平成20年5月に前院長梶並稔正先生がご逝去され、院長に就任いたしました。今回は、当院の状況を紹介させていただきます。

当院は、京都市の最も西にあたる西京区で1968年（昭和43年）8月に開設された199床（急性期40床・障害者病棟159床）の病院です。診療科は、内科・外科・整形外科・泌尿器科・透析内科などを標榜し、消化器・腎不全・整形疾患を中心に診療を行い、昨年は409例の手術（手術室：237例・カテ室172例）を施行し、一方で訪問診察・訪問看護にも力を注ぎ、入院と在宅の両方で地域貢献する地域密着型病院です。

この1年余りは、全ての医療機関で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対応する日々が続き、各々機能と役割により最大限の努力がなされてきたと思います。当院では第2波の最中（2020年8月7日）に京都府健康福祉部より4名の方が来院され、発熱者・接触者外来の設置と疑似症患者受け入れ病床の確保を依頼され、可能な限り協力をする事とした。この時に透析患者が感染した場合（重症化リスクが高い・外来透析でも通院が必要であり感染拡大・入院施設の無いクリニック・自院発生する可能性）の検討があり、通常透析に使用していない別棟に透析室がある事を説明し、見学の後改装により5床程度の病棟（隔離・入院・透析が可能）と考えられた。しかし、透析室を入院病床に変更可能か等の課題が残ったが、第3波が始まった2020年12月1日に、透析隔離入院病床（5床のハイケアユニット）として許可があり、12月7日には1例目の患者が入院となった。最初の2例は、酸素投与や抗ウイルス薬の投与の必要もなく軽快されたが、3例目は酸素化不良にて高度医療機関に転送となった。この7カ月間に25名（男性：14 女性：11）、平均年齢70.7歳（46～91）の入院があり、治療として酸素投与は13例、デカドロン投与21例、アビガン投与17例であり、予後としては3例の院内死亡、5例の高度医療機関への転院。17例の軽快退院であった。当初は、透析軽症者用の病床と考えて開始したが、実情は半数で酸素投与が必要とする中等症となり、基礎疾患による重症化リスクを痛感した。今回の治療経過でも、透析患者の高齢化による認知症の増加と治療抵抗性の問題に遭遇し、本来の治療以外の困難さが存在する事を痛感した。



最後に、当院は昭和43年に創立された事をお伝えしましたが、当然の如く施設の老朽化（築53年）・耐震化の不備とシステムの遅延が問題となっています。コロナの問題で厳しい経営状況ですが、今後も地域で必要とされる医療を目指して2023年2月を目途に京都市西京区桂畑ヶ田町に同規模で新築移転する計画の進行中です。この計画を成功させる為にも、今後の教室及び関係者の皆様のご支援とご協力をよろしく御願ひ申し上げます。

● 社会医療法人社団誠光会 淡海医療センター (旧:草津総合病院)

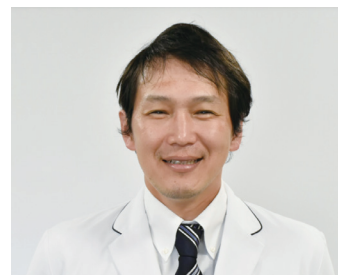
心臓血管外科部長 木下 武 (平成16年卒)

草津総合病院の心臓血管外科は、現在、私木下と医局の後輩鉢呂康平先生の2人体制で診療にあたっています。心臓胸部大血管手術は2017年11月の立ち上げ以降、年間50-70件の症例を経験させて頂いております。当院の大きな特色の一つである医療用接着剤を使った下肢静脈瘤に対する血管内治療、VenaSeal（ベナシール）とありますが、保険適応となった2019年からいち早く導入しています。カテーテルを通じて静脈を焼灼していた従来の治療は広範囲の局所麻酔、運動制限、術後疼痛や神経障害という短所がありましたが、接着剤を使った治療法は、1回の局所麻酔のみで術後疼痛や神経障害が極めて少ない患者さんに優しい治療です。関西地区でも限られた病院のみで使用されているだけです。当院ではこれまで51例を経験し、その治療成績を論文にまとめ上げているところです。

私共が患者様のために現在取り組んでいること、また今後の課題についてお示しします。まず、私共は、職種・診療科・病院の垣根を超えたチーム医療の実践が重要であると考えています。多職種カンファレンスでは、医師・看護師・臨床工学士・ソーシャルワーカー・リハビリ技士・管理栄養士・薬剤師などの多職種が、術前・術後の患者様に関して、専門的視点から課題や問題点を検討し、医療従事者同士のコミュニケーションの強化を図りながら、患者さんの治療やケアの質の向上に努めています。また心臓外科と循環器内科は心臓血管・心不全センターという一つの枠の中で垣根をなくし、毎朝の合同カンファレンスで密に連携を取りながら、診断から治療、術後フォローまで一貫した医療を提供することを目指しています。さらに、草津総合病院に隣接する淡海ふれあい病院との連携を通じて、急性期から術後の回復期までのさまざまな病期の患者さんに一貫して対応することで、自宅に退院されたあとも安心して生活できる地域に根差した医療の提供を目指しています。

時間外緊急手術に関しては特に麻酔科、手術室看護師のご協力によって着々と準備が進んでいます。現在、土曜日の終日と、不規則ではありますが平日夜間に緊急手術を受け入れる体制をとっています。ただ、滋賀県全体の心臓血管外科の緊急手術対応に関しては、大学病院を中心に近隣の病院が連携し合ってオンコール医師を共有したり、輪番制を採用するなどして、働き方改革が求められる時代、さらにこのコロナ渦において効率的で安全な医療の提供を目指していくべきだと思っています。

現在準備を進めていることとして、新しい手術説明資料の作成があります。これをメディカルイラストレーターやデザイナーと共に進めていきます。現在の資料は、文字数や難しい単語が多く、とても分かりやすい資料とは言えません。新しい資料では、分かりやすいイラストが多く使用され、文章は最小限かつ理解しやすい表現となり、さらに書き込みスペースが十分あって、個々の患者さんに対するオーダーメイドの説明資料にすることができます。見やすさにこだわった色やデザインを使っていることも特徴です。分かりやすい資料を作ることは、何より患者さんと医師の距離を縮めることに役立ちますし、医師の説明時間の短縮にもつながります。手術室やICU看護師の教育も重要な課題です。教育カリキュラムの標準化や手術方法の標準化・共有などを通じて効率的にスキルアップする方法を検討しています。



● 新入会員紹介

心臓血管外科



森 陽太郎

出身大学：滋賀医科大学

(平成 30 年卒)

2021 年度滋賀医科大学心臓血管外科に入局させていただきました森 陽太郎と申します。

20 年ほど大阪で育ち、高校は洛星高校、大学は滋賀医大出身です。滋賀県はゆかりのある地です。育ちは大阪ですが生まれは近江八幡総合医療センターです。大学在学時ゴルフ部に所属しており、今でもゴルフが趣味です。自分は研修当時心臓血管外科に進むつもりはなく、父と同じ整形外科になろうと考えておりました。しかし鈴木教授のもと心臓血管外科チームの雰囲気良さ、かっこよさに惹かれ専攻医登録 3 日前に入局を決意しました。今でもその決断は胸を張って良かったと言えます。外科同門の先生方には今後も様々な形でお世話になることがあると思います。外科医になるべく今後も誠心誠意努力を続けてまいりますのでその際は何卒ご指導ご鞭撻のほどどうぞ宜しくお願い申し上げます。

消化器外科



福尾 飛翔

出身大学：滋賀医科大学

(平成 30 年卒)

平成 30 年に滋賀医科大学を卒業しその後、彦根市立病院にて 1 年間、滋賀医科大学にて 1 年間初期研修を行い、滋賀医科大学消化器・乳腺・小児・一般外科に入局いたしました福尾飛翔と申します。医者を目指した時から外科医への希望があり、その中でもがん治療・緊急疾患など幅広く診療できる科を希望し入局いたしました。3 年目は滋賀医科大学にて各チームに配属し外科の基本を学ばせていただき、現在は、ベルランド総合病院にて勤務しており、ほぼ毎日手術を行う環境にて日々精進しております。同門会の諸先輩方におかれましては今後同じ病院にて診療を行う機会も増えてくると思われませんが、少しでも皆様のお役に立てるよう精進してまいります。まだまだ未熟者ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

教室業績

滋賀医科大学外科学講座（消化器・乳腺・小児・一般外科）

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Maehira H, Iida H, Matsunaga T, Yasukawa D, Mori H, Miyake T, Tani M.

The location of perianastomotic fluid collection predicts postoperative complications after pancreaticoduodenectomy. *Langenbecks Arch Surg*, 405(3): 325-336, 2020

Kaida S, Miyake T, Shimizu T, Takebayashi K, Yamaguchi T, Ishikawa K, Tani M.

Experience and technique of simultaneous robotic resection for synchronous advanced gastric and rectal cancers: a case report.

Surg Case Rep, 10; 6(1): 169, 2020

Ueno M, Iida H, Kaibori M, Komeda K, Takemura S, Noda T, Ikoma H, Nomi T, Hayami S, Hirokawa F, Tanaka S, Matsui K, Ishizaki M, Morimura R, Hokuto D, Eguchi H, Tani M, Yamaue H, Kubo S.

Mortality analysis of *Aeromonas hydrophila* infection in hepato-biliary pancreatic surgery: Multicenter retrospective observational study.

J Hepatobiliary Pancreat Sci, 27: 747-755, 2020

Iida H, Tani M, Aihara T, Hasegawa K, Eguchi H, Tanabe M, Yamamoto M, Yamaue H.

New metastasectomy criteria for peritoneal metastasis of hepatocellular carcinoma -A study of the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery.

J Hepatobiliary Pancreat Sci, 27: 673-681, 2020

Shintani S, Maehira H, Inatomi O, Tani M, Andoh A.

Peroral pancreatoscopy via the minor papilla in the diagnosis of intraductal papillary mucinous neoplasm.

VideoGIE, 5(12): 673-675, 2020

Akabori H, Tani M, Kitamura N, Maehira H, Imashuku Y, Tsujita Y, Shimizu T, Kitagawa H, Eguchi Y.

Perioperative tight glycemic control using artificial pancreas decreases infectious complications via suppression of inflammatory cytokines in patients who underwent pancreaticoduodenectomy: A prospective, non-randomized clinical trial.

Am J Surg, 220(2): 365-371, 2020

Ueki T, Miyake T, Narita M, Kojima M, Kaida S, Iida H, Shimizu T, Tani M.

IgG4-related focal retroperitoneal fibrosis in ureter suggestive of colon cancer recurrence and resected laparoscopically: a case report.

Surg Case Rep, 6(1): 197, 2020

Ohta H, Miyake S, Ueki T, Kojima M, Mekata E, Shimizu T, Tani M

Impact of Early Postoperative Diarrhea on Anastomotic Leakage after Laparoscopic Low Anterior Resection for Rectal Cancer

*日外科系連会誌*45(4): 295-300, 2020

Shinsyu A, Bamba S, Kurihara M, Matsumoto H, Sonoda A, Inatomi O, Andoh A, Takebayashi K, Kojima M, Iida H, Tani M, Sasaki M.

Inflammatory cytokines, appetite-regulating hormones, and energy metabolism in patients with gastrointestinal cancer.

Oncol Lett, 20(2): 1469-1479, 2020

- Inoue A, Ota S, Nitta N, Murata K, Shimizu T, Sonoda H, Tani M, Ban H, Inatomi O, Ando A, Kushima R, Watanabe Y.
Difference of computed tomographic characteristic findings between gastric and intestinal gastrointestinal stromal tumors.
Jpn J Radiol, 38(8): 771-781, 2020
- Kaida S, Murakami Y, Ohta S, Yamaguchi T, Takebayashi K, Murata S, Nitta N, Shimizu T, Tani M.
A Novel Technique to Predict Liver Damage After Laparoscopic Gastrectomy From the Stomach Volume Overlapping the Liver by Preoperative Computed Tomography.
World J Surg, 44(9): 3052-3060, 2020
- Iida H, Kaibori M, Hirokawa F, Inoue Y, Ueno M, Matsui K, Ishizaki M, Tanaka S, Takemura S, Nomi T, Hokutou D, Noda T, Eguchi H, Nakai T, Maehira H, Mori H, Tani M, Kubo S.
New Hepatic Resection Criteria for Intermediate-Stage Hepatocellular Carcinoma Can Improve Long-Term Survival: A Retrospective, Multicenter Collaborative Study.
Asian Pac J Cancer Prev, 21(10): 2903-2911, 2020
- Iida H, Osaki R, Matsubara A, Maehira H, Mori H, Fujimoto T, Andoh A, Kushima R, Nakashima O, Kondo F, Tani M.
Two cases of benign hepatic nodules caused by sinusoidal dilatation with different hemodynamics.
Clin J Gastroenterol, 13(5): 873-881, 2020
- Ueno M, Iida H, Kaibori M, Komeda K, Takemura S, Noda T, Ikoma H, Nomi T, Hayami S, Hirokawa F, Tanaka S, Matsui K, Ishizaki M, Morimura R, Hokuto D, Eguchi H, Tani M, Yamaue H, Kubo S.
Mortality analysis of Aeromonas hydrophila infection in hepato-biliary pancreatic surgery: Multicenter retrospective observational study.
J Hepatobiliary Pancreat Sci, 27(10): 747-755, 2020
- Iida H, Maehira H, Mori H, Tani M.
Efficiency of a radiofrequency sealer (Aquamantys) for parenchymal transection during laparoscopic hepatectomy.
Asian J Endosc Surg, 13(4): 505-513, 2020
- Bamba S, Inatomi O, Takahashi K, Morita Y, Imai T, Ohno M, Kurihara M, Takebayashi K, Kojima M, Iida H, Tani M, Sasaki M.
Assessment of Body Composition From CT Images at the Level of the Third Lumbar Vertebra in Inflammatory Bowel Disease.
Inflamm Bowel Dis, 26(3): 306-312, 2020
- Suzuki S, Kondo H, Furukawa A, Kawai K, Yukaya T, Shimazui T, Tani M, Yamamoto M.
Prognostic Factors of Preoperative Examinations for Non-occlusive Mesenteric Ischemia: A Multicenter Retrospective Project Study Conducted by the Japanese Society for Abdominal Emergency Medicine.
World J Surg, 44(11): 3687-3694, 2020
- Iida H, Miyake T, Tani M, Tanaka T, Kawakami K, Ikuno Y, Mandai R, Shimizu T.
Cerebellar hemorrhage in patients treated with edoxaban for portal vein thrombosis after hepatobiliary surgery: a report of two cases.
Surg Case Rep, 6(1): 319, 2020
- Itoi N, Umeda T, Ishida M, Murata S, Mori T, Kawai Y, Tomida K, Shimizu T, Kushima R, Tani M.
Infiltration of CD4, CD8, CD56, and Fox-P3-positive lymphocytes in breast carcinoma tissue after neoadjuvant chemotherapy with or without trastuzumab.
Breast Dis, 39(1): 47-49, 2020
- Yamaguchi T, Yamamoto H, Tomozawa Y, Ugi S, Kaida S, Miyake T, Morino K, Watanabe Y, Maegawa H, Tani M.
Geometry of Sleeve Gastrectomy Measured by 3D CT Versus Weight Loss: Preliminary Analysis.
World J Surg, 45(1): 235-242, 2021

Maehira H, Iida H, Mori H, Yasukawa D, Maekawa T, Muramoto K, Takebayashi K, Kaida S, Miyake T, Tani M.
Superior perianastomotic fluid collection in the early postoperative period affects pseudoaneurysm occurrence after pancreaticoduodenectomy.

Langenbecks Arch Surg. Online ahead of print, 2021

Murakami S, Tanaka H, Nakayama T, Taniura N, Miyake T, Tani M, Kushima R, Yamamoto G, Sugihara H, Mukaisho KI.

Similarities and differences in metabolites of tongue cancer cells among two- and three-dimensional cultures and xenografts.

Cancer Sci, 112(2): 918-931, 2021

Ueki T, Miyake T, Kojima M, Kaida S, Iida H, Shimizu T, Tani M.

Comparison of self-expandable metallic stent placement followed by laparoscopic resection and elective laparoscopic surgery without stent placement for left-sided colon cancer.

Ann Gastroenterol Surg, 5(3): 338-344, 2021

Tokuda A, Miyake T, Yasukawa D, Ikuta D, Mukaisho KI, Murata S, Shimizu T, Tani M.

Cancer-derived Exosomes Activate Immune Surveillance and Suppress Peritoneal Metastasis of Murine Colonic Cancer.

Anticancer Res, 41(3): 1327-1339, 2021

Miyake T, Iida H, Shimizu T, Ueki T, Kojima M, Ohta H, Yamaguchi T, Kaida S, Mekata E, Endo Y, Tani M.

The Elevation in Preoperative Procalcitonin Is Associated with a Poor Prognosis for Patients Undergoing Resection for Colorectal Cancer.

Dig Surg, 38(1): 80-86, 2021

Kaida S, Miyake T, Murata S, Yamaguchi T, Tatsuta T, Murakami K, Okauchi H, Nishimura S, Ohta H, Tsuchihashi H, Kawasaki M, Takebayashi K, Shimizu T, Tani M.

A Prospective Multicenter Observational Study of Venous Thromboembolism after Gastric Cancer Surgery (SHISA-1601)

Eur Surg Res, 62(1): 10-17, 2021

〈和文学術論文〉

澤田佳奈, 梅田朋子, 河合由紀, 富田 香, 北村美奈, 辰巳征浩, 油木映里, 坂井幸子, 加藤久尚, 森 毅, 清水智治, 安藤厚生, 花岡 淳, 森谷鈴子, 谷 眞至

乳癌術後 15 年目に発生した放射線誘発骨肉腫の 1 例

滋賀医科大学雑誌 33(1): 1-4, 2020

生田大二, 西村彰一, 向所賢一, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 渡邊信介, 谷 眞至

待機性虫垂切除術後に診断された低異形度虫垂粘液性腫瘍の 3 症例の臨床病理学的特徴

滋賀医科大学雑誌 33(1): 5-9, 2020

森 治樹, 飯田洋也, 前平博充, 谷 眞至

胆嚢全摘後の胆汁瘻予防に omentum plugging technique (OPT) を施行した胆嚢炎の 1 例
手術 74(7): 1065-1068, 2020

油木純一, 迫 裕孝, 長谷川均, 籠 洋三, 谷 総一郎, 東田宏明, 仲 成幸, 花澤一芳

乳癌との鑑別を要し、高プロラクチン血症が関与したと考えられる肉芽腫性乳腺炎の 1 例

滋賀医科大学雑誌 33(1): 37-40, 2020

山口 剛

肥満に対する外科治療のエビデンスと適応

医学のあゆみ, 274(10): 929-933, 2020

仁科勇佑, 三宅 亨, 小島正継, 植木智之, 清水智治, 谷 眞至
腸重積の原因となった回盲弁 lipohyperplasia の 1 例
日本臨床外科学会雑誌 81(9): 1815-1820, 2020

小島正継, 三宅 亨, 植木智之, 富田圭司, 清水智治, 谷 眞至
膀胱鏡併施が有用であり, 腹腔鏡下に手術し得た S 状結腸膀胱瘻の 1 例
手術 74(11): 1639-1644, 2020

仁科勇佑, 森 治樹, 三宅 亨, 谷 総一郎, 植木智之, 飯田洋也, 貝田佐知子, 清水智治, 和田康宏, 谷 眞至
小腸 calcifying fibrous tumor に対し腹腔鏡下小腸切除術を行った 1 例
日本消化器外科学会雑誌 53(11): 901-907, 2020

前川 毅, 貝田佐知子, 石川 健, 山口 剛, 竹林克士, 前平博充, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 谷 眞至
同時に乳癌胃転移と原発性肺癌を認めた二重複癌の 1 例
癌と化学療法 417(13): 2024-2026, 2020

太田裕之, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 河合由紀, 園田寛道, 赤堀浩也, 北村直美, 安 炳九, 全 有美,
目片英治, 谷 眞至
リンチ症候群のスクリーニング目的として MSI 検査を施行した大腸癌症例の検討
遺伝性腫瘍 20(3): 151-155, 2020

竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 飯田洋也, 三宅 亨, 小島正継, 前平博充, 馬場重樹, 佐々木雅也, 谷 眞至
胸部食道がん周術期における CaHMB・L-アルギニン・L-グルタミン (アバンド) の有用性
学会誌 JSPEN3(1): 36-42, 2021

大崎理英, 飯田洋也, 野田哲史, 藤本剛英, 若杉吉宣, 寺田智祐, 谷 眞至, 安藤 朗
多発肝細胞癌に対する Lenvatinib の治療継続に肝切除と血中濃度測定が有用であった一例
肝臓 62(2): 80-88, 2021

前川 毅, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 石川 健, 飯田洋也, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 前平博充, 児玉泰一,
徳田 彩, 森 治樹, 安川大貴, 村本圭史, 福尾飛翔, 清水智治, 村田 聡, 谷 眞至
導入化学療法にて根治切除が可能となった頸部食道癌の 1 例
滋賀医科大学雑誌 34(1): 23-26, 2021

竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 石川 健, 三宅 亨, 飯田洋也, 小島正継, 植木智之, 前平博充, 児玉泰一, 徳田 彩,
塩見一徳, 前川 毅, 村本圭史, 福尾飛翔, 清水智治, 村田 聡, 谷 眞至
当院における胸腔鏡下食道切除の導入と短期治療成績の検討
滋賀医科大学雑誌 34(1): 18-22, 2021

児玉泰一, 竹林克士, 貝田佐知子, 石川 健, 山口 剛, 三宅 亨, 飯田洋也, 徳田 彩, 前川 毅, 村本圭史, 前平博充,
小島正継, 植木智之, 谷 眞至
当院における切除不能局所進行食道癌の治療成績
滋賀医科大学雑誌 34(1):10-13, 2021

萩野元晴, 飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 徳田 彩, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継,
児玉泰一, 塩見一徳, 前川 毅, 村本圭史, 福尾飛翔, 山口 剛, 森谷鈴子, 谷 眞至
肝細胞癌と鑑別が困難であった肝血管筋脂肪腫の 1 例
滋賀医科大学雑誌 34(1): 5-9, 2021

山下純平, 前平博充, 飯田洋也, 森 治樹, 安川大貴, 塩見一徳, 福尾飛翔, 前川 毅, 村本圭史, 竹林克士, 小島正継,
植木智之, 貝田佐知子, 三宅 亨, 石川 健, 山口 剛, 木村祥佳, 松原亜季子, 谷 眞至
嚢胞内出血に伴い信号強度の異なった多房性嚢胞を呈した睪漿液性嚢胞腺腫の 1 例
滋賀医科大学雑誌, 34(1): 1-4, 2021

【学会発表】

〈国際学会〉

Maekawa T, Maehira H, Iida H, Mori H, Yasukawa D, Nitta N, Tani M.

The relationship between postoperative muscle mass loss rate and nutritional status after pancreatectomy.
14th IHPBA, Virtual Congress, Ausutralia, 2020

Mehira H, Iida H, Mori H, Yasukawa D, Nitta N, Maekawa T, Tani M

Management of postoperative drainage after pancreaticoduodenectomy: Review from the location of perianastomotic fluid collection during the early postoperative period.

14th IHPBA, Virtual Congress, Ausutralia, 2020

【全国学会・地方会・その他】

貝田佐知子, 竹林克士, 石川 健, 児玉泰一, 山口 剛, 前川 毅, 塩見一徳, 徳田 彩, 伊藤 文, 前平博充, 小島正継, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至

当院におけるロボット支援下胃切除術の小弩側リンパ節郭清手技と腹脾鏡下胃切除術との比較検討
第 12 回日本ロボット外科学会学術集会, 2020 年 5 月, Web 開催 (東京)

飯田洋也, 米田浩二, 野見武男, 松島秀之, 松井康輔, 廣川文鋭, 前平博充, 海堀昌樹, 谷 眞至

肝細胞癌術後、予後予測マーカーとしての Albumin-Lymphocyte-CRPratio の有用性
第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2020 年 7 月, 紙上発表竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 石川 健, 飯田洋也, 小島正継, 馬場重樹, 清水智治, 佐々木雅也, 谷 眞至
胸部食道癌周術期におけるアバンドの使用経験

第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2020 年 7 月, 紙上発表

貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 石川 健, 飯田洋也, 三宅 亨, 栗原美香, 佐々木雅也, 清水智治, 谷 眞至
胃癌に対する幽門側胃切除術 Biliruth-I 法再建後の残胃形状が術後栄養状態にもたらす影響についての検討

第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2020 年 7 月, 紙上発表

小島正継, 植木智之, 三宅 亨, 清水智治, 長澤芳伸, 飯田洋也, 竹林克士, 貝田佐知子, 石川 健, 伊藤 文, 前平博充, 児玉泰一, 徳田 彩, 山口 剛, 谷 眞至

大腸癌腹腔鏡手術におけるサルコペニアと肥満が術後合併症に与える影響の検討
第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2020 年 7 月, 紙上発表

張 赫恂, 三宅 亨, 安川大貴, 谷 眞至

Exploring the influence of microbiomes in human colorectal cancer

第 41 回癌免疫外科研究会, 2020 年 7 月, 大阪

貝田佐知子, 竹林克士, 石川 健, 児玉泰一, 山口 剛, 村田 聡, 前平博充, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至

Effects of preoperative visceral fat area on short-term outcome in laparoscopic distal Gastrectomy

腹腔鏡下幽門側胃切除術における術前内臓脂肪面積 (visceral fatarea) が短期成績に及ぼす影響
第 92 回日本胃癌学会, 2020 年 7 月, Web 開催 (横浜)村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 児玉泰一, 石川 健, 飯田洋也, 前平博充, 三宅 亨, 清水智治, 谷 眞至
Significance of intraperitoneal cancer cells and HIPEC for schirrus-type of gastric cancer

第 92 回日本胃癌学会, 2020 年 7 月, Web 開催 (横浜)

竹林克士, 貝田佐知子, 石川 健, 山口 剛, 村田 聡, 清水智治, 三宅 亨, 飯田洋也, 谷 眞至

Correlation of intra-abdominal infectious complications on survival outcomes in gastric cancer

胃癌手術における術後感染性合併症の再発予後への関連
第 92 回日本胃癌学会, 2020 年 7 月, Web 開催 (横浜)

貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 石川 健, 龍田 健, 村上耕一郎, 西村彰一, 太田裕之, 土橋洋史, 川崎誠康, 村田 聡, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
胃癌手術における術後静脈血栓塞栓症に関する多施設共同前向き観察研究
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催 (東京)

園田寛道, 谷口正展, 村本圭史, 東口貴之, 長門優, 丹後泰久, 張弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 清水智治, 谷 眞至
一般市中病院における直腸癌に対するロボット支援腹腔鏡手術の有用性
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催 (東京)

清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 貝田佐知子, 飯田洋也, 前平博充, 竹林克士, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
外科感染症に起因する敗血症の治療戦略
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催 (東京)

植木智之, 三宅 亨, 小島正継, 松尾直志, 島田伸敬, 貝田佐知子, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
ニューラルネットワークによる機械学習を用いた腹腔鏡下大腸切除術の手術成績に影響を与える指標の検討
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催 (東京)

野見武男, 田中肖吾, 廣川文鋭, 上野昌樹, 海堀昌樹, 中居卓也, 生駒久視, 飯田洋也, 野田剛広, 北東大督, 米田浩二, 速水晋也, 松島英之, 松本正孝, 森村 玲, 谷 眞至, 江口英利, 庄 雅之, 久保正二
肝細胞癌に対する腹腔鏡対開腹再肝切除の短期長期成績に関する多施設共同研究
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催 (東京)

村田 聡, 貝田佐知子, 竹林克士, 山口 剛, 児玉泰一, 石川 健, 飯田洋也, 前平博充, 清水智治, 谷 眞至
切除不能胃癌に対する conversion surgery の意義を腹腔内遊離癌細胞と術中腹腔内化学療法から評価する
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催 (東京)

飯田洋也, 米田浩二, 野見武男, 松島秀之, 松井康輔, 廣川文鋭, 前平博充, 海堀昌樹, 谷 眞至
肝細胞癌における予後予測マーカーとしての Albumin-Lymphocyte-CRP ratio の有用性
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催 (東京)

竹林克士, 村田 聡, 貝田佐知子, 山口 剛, 石川 健, 児玉泰一, 小島正継, 植木智之, 三宅 亨, 前平博充, 飯田洋也, 伊藤 文, 徳田 彩, 三中淳史, 仁科勇佑, 塩見一徳, 清水智治, 谷 眞至
胃癌手術における術中散布癌細胞と術後感染性合併症の再発予後への関連
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催 (東京)

児玉泰一, 貝田佐知子, 竹林克士, 石川 健, 山口 剛, 塩見一徳, 飯田洋也, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 前平博充, 伊藤 文, 徳田 彩, 清水智治, 谷 眞至
上部進行胃癌 (T2/T3) に対する噴門側胃切除の腫瘍学的妥当性の検討
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催 (東京)

小島正継, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 長澤芳信, 飯田洋也, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 前平博充, 伊藤 文, 児玉泰一, 徳田 彩, 山口 剛, 清水智治, 目片英治, 谷 眞至
穿孔性結腸憩室炎手術症例の検討
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催 (東京)

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 清水智治, 村田 聡, 飯田洋也, 三宅 亨, 河合由紀, 植木智之, 坂井幸子, 小島正継, 加藤久尚, 前平博充, 伊藤 文, 児玉泰一, 塩見一徳, 谷 眞至
2 型糖尿病に対する腹腔鏡下スリーブ状胃切除の成績と寛解予測因子の検討
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催 (東京)

里井壯平, 山本智久, 内田一茂, 藤井 努, 浅野賢道, 村上義昭, 五十嵐久人, 江口英利, 黒木 保, 清水泰博, 谷 眞至, 丹野誠志, 辻 喜久, 廣岡芳樹, 正宗 淳, 下川敏雄, 山上裕機, 岡崎和一
80歳以上高齢者切除可能・境界型膵癌患者の至適治療法: 切除か化学療法か?—多施設共同研究からの提言—
第120回日本外科学会定期学術集会, 2020年8月, Web開催(東京)

三宅 亨, 清水智治, 植木智之, 小島正継, 生田大二, 徳田 彩, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
大腸癌原発巣における α SMAの発現の臨床的意義
第120回日本外科学会定期学術集会, 2020年8月, Web開催(東京)

前平博充, 三宅 亨, 飯田洋也, 徳田 彩, 森 治樹, 安川大貴, 竹林克士, 貝田佐知子, 前川 毅, 谷 眞至
膵癌間質における間葉系細胞の多様性と臨床的意義
第120回日本外科学会定期学術集会, 2020年8月, Web開催(東京)

前平博充, 飯田洋也, 森 治樹, 安川大貴, 新田信人, 前川 毅, 塩見一徳, 福尾飛翔, 谷 眞至
膵頭十二指腸切除術後仮性動脈瘤発生と術後早期吻合部周囲液貯留との関連性
第47回日本膵切研究会, 2020年8月, Web開催, (一部現地開催)福岡

嶋村 藍, 武内悠馬, 瀧本篤朗, 津田知樹
壊死を強く疑うも温存しえた正常卵巣捻転の一例
第57回小児外科学会学術集会, 2020年9月, Web開催(一部現地開催)東京

坂井幸子, 加藤久尚, 河合由紀, 清水智治, 谷 眞至
手術時偶発的に精管欠損を認めた2例
第57回小児外科学会学術集会, 2020年9月, Web開催(一部現地開催)東京

三宅 亨, 清水智治, 植木智之, 小島正継, 児玉泰一, 前川 毅, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
当科における下部直腸癌に対する砲TMEの導入と短期成績
第33回近畿内視鏡外科研究会, 2020年9月, (Web配信併用)豊中

飯田洋也, 米田浩二, 野見武男, 松島秀之, 松井康輔, 廣川文鋭, 前平博充, 海堀昌樹, 谷 眞至
細胞癌に対する, アルブミン・リンパ球・CRPを用いた新たな予後予測マーカーの検討
第106回日本消化器病学会総会, 2020年8月, Web開催(広島)

貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 石川 健, 村田 聡, 塩見一徳, 前川 毅, 児玉泰一, 徳田 彩, 伊藤 文, 前平博充, 小島正継, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
腔鏡下幽門側胃切除術における術前内臓脂肪面積(visceral fat area)と術後短期成績との関連性の検討
第106回日本消化器病学会総会, 2020年8月, Web開催(広島)

Andreas M. Sihombing, 村田 聡, 下地みゆき, 竹林克士, 児玉泰一, 小島正継, 植木智之, 北村直美, 北村美奈, 徳田 彩, 三宅 亨, 目片英治, 谷 眞至
胃癌腹膜再発の原因としてのCD44陽性がん幹細胞様細胞
第79回日本癌学会学術総会, 2020年10月, 広島(Web配信併用)

安川大貴, 三宅 亨, 谷 眞至, 西英一郎
膵癌根治切除後標本におけるナルディライジン発現と予後の相関
第79回日本癌学会学術総会, 2020年10月, 広島(Web配信併用)

下地みゆき, 村田 聡, Andreas M. Sihombing, 竹林克士, 児玉泰一, 小島正継, 植木智之, 北村直美, 北村美奈, 徳田 彩, 三宅 亨, 目片英治, 谷 眞至
Hyperthermiaによるがん幹細胞様細胞への影響
第79回日本癌学会学術総会, 2020年10月, 広島(Web配信併用)

小島正継, 村田 聡, 下地みゆき, シホンビンアンドレアスマイケル, 北村直美, 植木智之, 北村美奈, 竹林克士, 児玉泰一, 徳田 彩, 三宅 亨, 目片英治, 谷 眞至
がん性腹水中の腫瘍関連リンパ球(TAL)を用いた腫瘍抗原特異的CTLの樹立
第79回日本癌学会学術総会, 2020年10月, 広島(Web配信併用)

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 石川 健, 児玉泰一, 下地みゆき, シホンビンアンドレアスマイケル, 小島正継, 三宅 亨, 飯田洋也, 植木智之, 北村美奈, 徳田 彩, 目片英治, 谷 眞至
胃癌手術後再発メカニズムに基づいた腹膜再発治療戦略
第 79 回日本癌学会学術総会, 2020 年 10 月, 広島 (Web 配信併用)

Hexun Zhang, Toru Miyake, Daiki Yasukawa, Satoshi Murata, Masaji Tani
Exploring the diversity and influence of microbiomes in human colorectal cancer
第 79 回日本癌学会学術総会, 2020 年 10 月, 広島 (Web 配信併用)

吉川恵里奈, 細井萌子, 藤本剛英, 竹川善哉, 新谷修平, 徳田 彩, 大塚武人, 大野将司, 高橋憲一郎, 松本寛史, 前平博充, 園田文乃, 稲富理, 谷 眞至, 安藤 朗
音波内視鏡検査が診断の一助となった SPN(Solidpseudopapillaryneoplasm) の 1 例
日本消化器病学会近畿支部第 113 回例会, 2020 年 10 月, 大阪

前川 毅, 竹林克士, 貝田佐知子, 石川 健, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 飯田洋也, 前平博充, 児玉泰一, 徳田 彩, 油木純一, 村本圭史, 塩見一徳, 福尾飛翔, 長谷川大, 山本和雄, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至
2 期分割手術にて安全に根治切除が可能であった食道癌肉腫、胃癌、大腸癌の 3 重複癌の 1 例
日本消化器病学会近畿支部第 113 回例会, 2020 年 10 月, 大阪

小島正継, 三宅 亨, 安藤 朗, 谷 眞至
当院における発症時期、病型分類によるクローン病手術症例の検討
日本消化器病学会近畿支部第 113 回例会, 2020 年 10 月, 大阪

塩見一徳, 飯川洋也, 前平博充, 森 治樹, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 児玉泰一, 徳田 彩, 油木純一, 山口 剛, 藤本剛英, 稲富理, 安藤 朗, 谷 眞至
当院において抗凝固療法を施行した門脈血栓症の検討
日本消化器病学会近畿支部第 113 回例会, 2020 年 10 月, 大阪

石川 健, 貝田佐知子, 竹林克士, 前平博充, 小島正継, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 山口 剛, 村田 聡, 清水智治, 谷 眞至
ロボット支援下胃切除術における operation error を指標とした Learning curve
第 74 回手術手技研究会, 2020 年 10 月, 島根

飯田洋也, 前平博充, 児玉泰一, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 谷 眞至
腹腔鏡下肝切除におけるバイポーラ型ラジオ波電極を用いた肝離断 (Synchronous ablate technique ; SCAT)
第 74 回手術手技研究会, 2020 年 10 月, 島根

貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 山口 剛, 児玉泰一, 前平博充, 小島正継, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
高度進行胃癌に対するロボット支援下胃切除術における手術手技手順の工夫 - より良い視野確保を目指して -
第 74 回手術手技研究会, 2020 年 10 月, 島根

三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 清水智治, 竹林克士, 前平博充, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
当院における潰瘍性大腸炎に対する緊急手術症例の検討
第 56 回日本腹部救急医学会, 2020 年 10 月, Web 開催 (一部現地開催) 名古屋

植木智之, 三宅 亨, 小島正継, 清水智治, 谷 眞至
ステント留置後に腹腔鏡下切除術を施行した閉塞性大腸癌の治療成績の検討
第 56 回日本腹部救急医学会, 2020 年 10 月, Web 開催 (一部現地開催) 名古屋

貝田佐知子, 竹林克士, 石川 健, 山口 剛, 徳田 彩, 児玉泰一, 伊藤 文, 前平博充, 小島正継, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 塩見一徳, 前川 毅, 谷 眞至
ロボット支援下胃全摘術における食道空腸吻合 - 機能的端々吻合 (FEEA) -
第 56 回日本腹部救急医学会, 2020 年 10 月, Web 開催 (一部現地開催) 名古屋

油木純一, 長谷川均, 松田和哉

小腸捻転を起こした食餌性腸閉塞の1例

第56回日本腹部救急医学会, 2020年10月, Web開催(一部現地開催)名古屋

小島正継, 三宅亨, 植木智之, 清水智治, 飯田洋也, 貝田佐知子, 石川健, 竹林克士, 前平博充, 伊藤文, 児玉泰一, 徳田彩, 山口剛, 谷眞至

急性出血性直腸潰瘍に対して内肛門括約筋局所切除を行った一例

第56回日本腹部救急医学会, 2020年10月, Web開催(一部現地開催)名古屋

貝田佐知子, 竹林克士, 石川健, 村田聡, 徳田彩, 村本圭史, 塩見一徳, 児玉泰一, 前平博充, 小島正継, 植木智之, 三宅亨, 飯田洋也, 山口剛, 谷眞至

当院におけるロボット支援下胃切除術の膈上縁リンパ節郭清手技と腹腔鏡下胃切除術との比較検討

第82回日本臨床外科学会, 2020年10月, Web開催(大阪)

山口剛, 山本寛, 貝田佐知子, 石川健, 竹林克士, 清水智治, 村田聡, 飯田洋也, 三宅亨, 河合由紀, 植木智之, 坂井幸子, 小島正継, 前平博充, 谷眞至

腹腔鏡下スリーブ状胃切除術における視野展開と胃管狭窄予防の工夫

第82回日本臨床外科学会, 2020年10月, Web開催(大阪)

前平博充, 飯田洋也, 森治樹, 安川大貴, 新田信人, 前川毅, 塩見一徳, 竹林克士, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅亨, 山口剛, 福尾飛翔, 谷眞至

膈頭十二指腸切除術後瘻液瘻関連合併症予防のためのドレーン留置部位の工夫

第82回日本臨床外科学会, 2020年10月, Web開催(大阪)

坂井幸子, 嶋村藍, 河合由紀, 三宅亨, 山口剛, 飯田洋也, 木村文則, 清水智治, 谷眞至

当院における小児がん患者に対する卵巣組織凍結保存の取り組み

第82回日本臨床外科学会, 2020年10月, Web開催(大阪)

児玉泰一, 飯田洋也, 前平博充, 三宅亨, 貝田佐知子, 植木智之, 小島正継, 石川健, 山口剛, 谷眞至

腹腔鏡下再肝切除における分離肺換気下、経胸腔経横隔膜ポートの有用性

第82回日本臨床外科学会, 2020年10月, Web開催(大阪)

村田聡, 山口剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 石川健, 児玉泰一, 清水智治, 飯田洋也, 前平博充, 小島正継, 三宅亨, 植木智之, 徳田彩, 河合由紀, 谷眞至

腹膜播種性転移による難治性癌性腹水の治療戦略

第82回日本臨床外科学会, 2020年10月, Web開催(大阪)

飯田洋也, 前平博充, 森治樹, 塩見一徳, 三宅亨, 植木智之, 小島正継, 児玉泰一, 前川毅, 貝田佐知子, 竹林克士, 徳田彩, 村本圭史, 福尾飛翔, 谷眞至

肝切除術前の活動量が術後合併症に与える影響

第82回日本臨床外科学会, 2020年10月, Web開催(大阪)

富田香, 河合由紀, 油木純一, 北村美奈, 坂井幸子, 森毅, 山口剛, 猪飼信康, 能島舞, 森谷鈴子, 梅田朋子, 日片英治, 谷眞至

両側乳房全切除術に至った両側異時性肉芽腫性乳腺炎の一例

第28回日本乳癌学会学術総会, 2020年10月, Web開催(愛知)

梅田朋子, 内藤弘之, 辰巳征浩, 八木俊和, 木田陸士, 児玉創太, 谷眞至, 来見良誠

当院における高齢者乳癌患者の診療に関する検討

第28回日本乳癌学会学術総会, 2020年10月, Web開催(愛知)

北村美奈, 富田香, 河合由紀, 森毅, 梅田朋子, 清水智治, 谷眞至

当院におけるBRCA遺伝子検査と遺伝カウンセリングの現状について

第28回日本乳癌学会学術総会, 2020年10月, Web開催(愛知)

本田郁子, 河合由紀, 北村美奈, 富田 香, 油木純一, 坂井幸子, 森 毅, 梅田朋子, 谷 眞至
オラパリブによりすみやかに嘆声の改善を得た BRCA 変異陽性再発乳癌の 1 例
第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020 年 10 月, Web 開催 (愛知)

河合由紀, 富田 香, 北村美奈, 油木純一, 坂井幸子, 森 毅, 梅田朋子, 森谷鈴子, 目片英治, 谷 眞至
同時性一側に乳腺浸潤性小葉癌、扁平上皮癌、浸潤性乳管癌が混在した 1 例
第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020 年 10 月, Web 開催 (愛知)

辰巳征浩, 梅田朋子, 内藤弘之, 八木俊和, 木田睦士, 児玉創太, 村上智子, 谷 眞至, 来見良誠
術前補助化学療法 (DTX → FEC) 中に網膜静脈閉塞症および黄斑浮腫を発症した 1 例
第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020 年 10 月, Web 開催 (愛知)

油木純一, 富田 香, 河合由紀, 北村美奈, 坂井幸子, 山口 剛, 能島 舞, 森谷鈴子, 谷 眞至
センチネルリンパ節生検を施行した男性乳房 Paget 病の 1 例
第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020 年 10 月, Web 開催 (愛知)

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 児玉泰一, 石川 健, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 前平博充, 小島正継,
植木智之, 徳田 彩, 河合由紀, 谷 眞至
消化器がん手術の合併症としての腹腔内がん細胞散布と予後の関連
第 58 回日本癌治療学会学術集会, 2020 年 10 月, Web 開催 (一部現地開催) 京都

飯田洋也, 野田哲史, 若杉吉宣, 藪田直希, 須藤正朝, 平 大樹, 森田真也, 藤本剛英, 前平博充, 安藤 朗, 寺田智祐,
谷 眞至
肝細胞癌におけるレンパチニブ血中濃度モニタリングの有用性
第 58 回日本癌治療学会学術集会, 2020 年 10 月, Web 開催 (一部現地開催) 京都

貝田佐知子, 竹林克士, 石川 健, 山口 剛, 村田 聡, 前川 毅, 塩見一徳, 仁科勇佑, 児玉泰一, 徳田 彩, 前平博充,
小島正継, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
腹腔鏡/ロボット支援下胃切除術における術前内臓脂肪面積 (visceral fat area) と術後短期成績との関連性の検討
第 28 回日本消化関連学会週間, 2020 年 11 月, Web 開催 (一部現地開催) 神戸

山口 剛, 山本寛, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 清水智治, 村田 聡, 飯田洋也, 三宅 亨, 河合由紀, 植木智之,
坂井幸子, 小島正継, 加藤久尚, 前平博充, 児玉泰一, 富田 香, 北村美奈, 徳田 彩, 谷 眞至
2 型糖尿病に対する腹腔鏡下スリーブ胃切除の寛解予測因子検討
第 28 回日本消化関連学会週間, 2020 年 11 月, Web 開催 (一部現地開催) 神戸

植木智之, 三宅 亨, 小島正継, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 石川 健, 山口 剛, 清水智治,
谷 眞至
当院における直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の治療成績
第 28 回日本消化関連学会週間, 2020 年 11 月, Web 開催 (一部現地開催) 神戸

竹林克士, 村田 聡, 貝田佐知子, 山口 剛, 石川 健, 児玉泰一, 小島正継, 植木智之, 三宅 亨, 前平博充, 飯田洋也,
徳田 彩, 清水智治, 谷 眞至
進行胃癌手術における術中散布癌細胞と術後腹腔内感染性合併症の関連性
第 28 回日本消化関連学会週間, 2020 年 11 月, Web 開催 (一部現地開催) 神戸

三宅亨, 清水智治, 植木智之, 小島正継, 前平博充, 竹林克士, 石川 健, 貝田佐知子, 山口 剛, 飯田洋也, 谷 眞至
当院における Stage IV 大腸癌での予後因子の検討
第 28 回日本消化関連学会週間, 2020 年 11 月, Web 開催 (一部現地開催) 神戸

児玉泰一, 飯田洋也, 前平博充, 三宅 亨, 貝田佐知子, 植木智之, 小島正継, 竹林克士, 石川 健, 山口 剛,
谷 眞至
肝 S7/8 領域の腹腔鏡下再肝切除の工夫
第 28 回日本消化関連学会週間, 2020 年 11 月, Web 開催 (一部現地開催) 神戸

前平博充, 飯田洋也, 安川大貴, 森 治樹, 新田信人, 前川 毅, 竹林克士, 貝田佐知子, 三宅 亨, 山口 剛, 谷 眞至
膵頭十二指腸切除術後脂肪肝の予測因子の検討

第 28 回日本消化関連学会週間, 2020 年 11 月, Web 開催 (一部現地開催) 神戸

飯田洋也, 海堀昌樹, 米田浩二, 野見武男, 田中肖吾, 上野昌樹, 中居卓也, 前平博充, 松島秀之, 松井康輔,
廣川文鋭, 谷 眞至

肝細胞癌術後, 予後予測マーカーとしての Albumin-Lymphocyte-CRP ratio の有用性

第 28 回日本消化関連学会週間, 2020 年 11 月, Web 開催 (一部現地開催) 神戸

野見武男, 田中肖吾, 廣川文鋭, 海堀昌樹, 上野昌樹, 北東大督, 野田剛広, 中居卓也, 生駒久視, 飯田洋也,
米田浩二, 石崎守彦, 速水晋也, 江口英利, 松本正孝, 森村 玲, 谷 眞至, 庄 雅之, 久保正二

再発肝細胞癌に対する腹腔鏡対開腹肝切除の治療成績に関する多施設共同研究

第 28 回日本消化関連学会週間, 2020 年 11 月, Web 開催 (一部現地開催) 神戸

清水智治, 森 毅, 山口 剛, 油木純一, 児玉泰一, 石川 健, 小島正継, 来見良誠, 谷 眞至

滋賀県ヘルニア研究会での症例登録の現状

第 18 回日本ヘルニア学会学術集会, 2020 年 11 月, Web 開催 (東京)

植木智之, 三宅 亨, 小島正継, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至
結腸癌術後リンパ節転移との鑑別に難渋した IgG4 関連後腹膜線維症の 1 例

第 75 回大腸肛門病学会, 2020 年 11 月, Web 開催 (横浜)

三宅 亨, 清水智治, 植木智之, 小島正継, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
当科における下部直腸癌に対する TaTME の手術手技と安全性への工夫

第 75 回大腸肛門病学会, 2020 年 11 月, Web 開催 (横浜)

貝田佐知子, 安川大貴, 石川 健, 竹林克士, 山口 剛, 児玉泰一, 徳田 彩, 三宅 亨, 飯田洋也, 谷 眞至
80 歳以上の高齢胃癌患者に対する術後感染性合併症に関する検討

第 50 回胃外科・術後障害研究会, 2020 年 11 月, Web 開催 (東京)

石川 健, 貝田佐知子, 竹林克士, 徳田 彩, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至
ロボット支援下胃切除術における Learning curve を考察する

第 50 回胃外科・術後障害研究会, 2020 年 11 月, Web 開催 (東京)

嶋村藍, 坂井幸子, 加藤久尚, 久保田良浩, 前平博充, 飯田洋也, 谷 眞至

共通管内の結石により術前に膵炎を繰り返し対応に苦慮した先天性胆道拡張症の一幼児例

第 43 回日本膵・胆管合流異常研究会, 2020 年 11 月, Web 開催 (一部現地開催) 出雲

三宅 亨, 安川大貴, 森 治樹, 植木智之, 小島正継, 貝田佐知子, 飯田洋也, 谷 眞至

大腸癌における線維化の意義と腸内細菌との関与

第 33 回日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2020 年 11 月, Web・誌上開催

前平博充, 飯田洋也, 森 治樹, 安川大貴, 新田信人, 前川 毅, 塩見一徳, 竹林克士, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅 亨,
山口 剛, 福尾飛翔, 谷 眞至

膵頭十二指腸切除術後仮性動脈瘤予防のためのドレーン留置部位

第 33 回日本外科感染症学会総会, 2020 年 11 月, Web 開催 (東京)

貝田佐知子, 安川大貴, 石川 健, 竹林克士, 山口 剛, 村田 聡, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
高齢胃癌患者に対する根治切除術後感染性合併症に関する予測因子の検討

第 33 回日本外科感染症学会総会, 2020 年 11 月, Web 開催 (東京)

飯田洋也, 森 治樹, 前平博充, 三宅 亨, 貝田佐知子, 谷 眞至

肝切除後の感染性合併症診断における血清プロカルシトニン値の意義

第 33 回日本外科感染症学会総会, 2020 年 11 月, Web 開催 (東京)

飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 前川 毅, 村本圭史, 塩見一徳, 三宅 亨, 貝田佐知子, 谷 眞至
高齢者肝切除術における周術期活動量と術後合併症の関係
第 33 回日本外科感染症学会総会, 2020 年 11 月, Web 開催

三宅 亨, 清水智治, 植木智之, 小島正継, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
当科における経肛門的内視鏡アプローチの手術手技と短期成績
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 和歌山

児玉泰一, 貝田佐知子, 竹林克士, 石川 健, 山口 剛, 飯田洋也, 三宅 亨, 村田 聡, 清水智治, 谷 眞至
当科における腹腔鏡下 / ロボット支援下噴門側胃切除, 食道残胃吻合 (mSOFY 法) の短期治療成績と術後栄養評価
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 和歌山

竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 石川 健, 三宅 亨, 植木智之, 前平博充, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
食道癌術後患者における早期在宅経腸栄養の検証
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 和歌山

石川 健, 前川 毅, 竹林克士, 貝田佐知子, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至
腹腔鏡下弓状靭帯切断術 ~ 膝下縁 approach 状靭帯への approach を考察する
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 和歌山

植木智之, 三宅 亨, 小島正継, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至
自己拡張型金属ステント留置後に腹腔鏡下切除術を施行した左側閉塞性大腸癌の治療成績
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 和歌山

清水智治, 三宅 亨, 貝田佐知子, 小島正継, 山口 剛, 石川 健, 植木智之, 竹林克士, 飯田洋也, 谷 眞至
当院における直腸悪性腫瘍に対するロボット支援下手術の現状
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 和歌山

貝田佐知子, 竹林克士, 石川 健, 山口 剛, 村田 聡, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
化学療法施行後に根治切除可能と判断し conversion surgery を施行した Stage IV 胃癌 20 症例の検討
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 和歌山

小島正継, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 貝田佐知子, 竹林克士, 前平博充, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至
80 歳以上高齢者大腸癌 pStage III 症例の補助化学療法に関する検討
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 和歌山

吉元智子, 濱 直樹, 太田正之, 野見武男, 尾上俊介, 福本 巧, 相原 司, 鈴木和夫, 谷 眞至, 江口 晋
血友病患者に対する肝切除術の傾向と術前肝予備能評価における ALBI・ALICE の有用性に関する検討
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 和歌山

飯田洋也, 前平博充, 児玉泰一, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 谷 眞至
手術時間, 出血の低減を目指した腹腔鏡下肝切除におけるバイポーラ型ラジオ波電極を用いた肝実質切離方法
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 和歌山

前平博充, 飯田洋也, 森 治樹, 安川大貴, 前川 毅, 竹林克士, 貝田佐知子, 三宅 亨, 山口 剛, 谷 眞至
膝頭十二指腸切除術後膝液瘦閑連合併症を予防するためのドレーン留置部位
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 和歌山

前川 毅, 前平博充, 飯田洋也, 森 治樹, 安川大貴, 竹林克士, 貝田佐知子, 三宅 亨, 山口 剛, 谷 眞至
膝切除患者の筋肉量変化と栄養状態の関係
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 和歌山

飯田洋也, 谷 眞至, 米田浩二, 野見武男, 松島英之, 田中肖吾, 上野昌樹, 中居卓也, 前平博充, 松井康輔,
廣川文鋭, 海堀昌樹, 久保正二
肝細胞癌術後、予後予測マーカーとしての A bumin-Lymphocyte-CRP ratio の有用性
第 56 回日本肝癌研究会, 2020 年 12 月, Web 開催 (大阪)

野見武男, 廣川文鋭, 海堀昌樹, 上野昌樹, 田中肖吾, 北東大督, 野田剛広, 中居卓也, 生駒久視, 飯田洋也, 米田浩二, 石崎守彦, 速水晋也, 江口英利, 松本正孝, 森村玲, 谷 眞至, 庄雅之, 久保正二
高齢者肝細胞癌症例に対する肝切除後せん妄に関する多施設共同研究
第 56 回日本肝癌研究会, 2020 年 12 月, Web 開催 (大阪)

Satoshi Murata, Katsushi Takebayashi, Tsuyoshi Yamaguchi, Sachiko Kaida, Hirokazu Kodama, Ken Ishikawa, Toru Miyake, Hiroya Iida, Tomoharu Shimizu, Masaji Tani
Development of the biomarker and the prevention for recurrence after curative gastric cancer surgery
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 和歌山

竹林克士, 貝田佐知子, 石川 健, 山口 剛, 植木智之, 三宅 亨, 前平博満, 飯田博也, 清水智治, 谷 眞至
食道癌術後患者における早期在宅経腸栄養の検証
第 74 回日本食道学会学術集会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 徳島

竹林克士, 貝田佐知子, 石川 健, 山口 剛, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 前平博充, 清水智治, 谷 眞至
当院における cT4 食道癌の治療成績
第 74 回日本食道学会学術集会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 徳島

貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 徳田 彩, 児玉泰一, 前平博充, 小島正継, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至
ロボット支援下胃切除のさらなる一般手術化に向けて～超音波凝固切開装置をメインデバイスとした手術コンセプト～
第 13 回日本ロボット外科学会学術集会, 2021 年 1 月, Web 開催 (一部現地開催) 福岡

前平博充, 三宅 亨, 飯田洋也, 徳田 彩, 森 治樹, 安川大貴, 新田信人, 前川 毅, 谷 眞至
2 重蛍光免疫染色からみた膵癌間質における間葉系細胞の臨床的意義
第 51 回日本膵臓学会, 2021 年 1 月, Web 開催 (神戸)

前川 毅, 前平博充, 飯田洋也, 森 治樹, 安川大貴, 新田信人, 竹林克士, 貝田佐知子, 三宅 亨, 谷 眞至
膵切除における術式別にみた周術期筋肉量減少率と栄養状態の関連性
第 51 回日本膵臓学会大会, 2021 年 1 月, Web 開催 (神戸)

福井萌子, 竹田善哉, 新谷修平, 藤本剛英, 前平博充, 飯田洋也, 稲富 理, 谷 眞至, 安藤 朗
分枝型 IPMN に併存した膵管癒合不全および副膵管領域膵頭部癌の一例
第 51 回日本膵臓学会大会, 2021 年 1 月, Web 開催 (神戸)

吉田恵理奈, 藤本剛英, 福井萌子, 竹田善哉, 新谷修平, 稲富 理, 辻 喜久, 久津見弘, 前平博充, 飯田洋也, 谷 眞至, 安藤 朗
超音波内視鏡検査が術前診断に有用であった Solid pseudopapillary neoplasm の 1 例
第 51 回日本膵臓学会大会, 2021 年 1 月, Web 開催 (神戸)

柴田直季, 竹田善哉, 新谷修平, 藤本剛英, 前平博充, 飯田洋也, 稲富 理, 辻 喜久, 久津見弘, 谷 眞至, 安藤 朗
副乳頭アプローチの経口膵管鏡が有用であった主膵管型 IPMN の 1 例
第 51 回日本膵臓学会大会, 2021 年 1 月, Web 開催 (神戸)

飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 徳田 彩, 村本圭史, 山田篤史, 仲 成幸, 谷 徹, 谷 眞至
腹腔鏡下肝切除における新規エネルギーデバイス (Acrosurg. Revo S) の使用経験
腹腔鏡下肝切除での Acrosurg. Revo S の使用経験
第 39 回 Microwave Surgery 研究会, 2021 年 2 月, Web 開催 (一部現地開催) 秋田

山口 剛
肥満外科治療の最前線
第 17 回日本消化管学会総会学術集会, 2021 年 2 月, Web 開催 (大阪)

Hiroya Iida, Haruki Mori, Daiki Yasukawa, Nobuhito Nitta, Takeru Maekawa, Masaji Tani
Assessing of surgical difficulty in laparoscopic cholecystectomy using pericholecystic fat density -Utility of fat inflammation score-
第32回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2021年2月, Web開催(東京)

Hiromitsu Maehira, Hiroya Iida, Haruki Mori, Daiki Yasukawa, Nobuhito Nitta, Masaji Tani
Optimal location of prophylactic drain after pancreaticoduodenectomy; Review from the location of perianastomotic fluid collection during the early postoperative period
第32回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2021年2月, Web開催(東京)

Takeru Maekawa, Hiromitsu Maehira, Hiroya Iida, Haruki Mori, Daiki Yasukawa, Nobuhito Nitta, Masaji Tani
The effect of perioperative muscle mass on nutritional in patients who underwent pancreatectomy.
第32回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2021年2月, Web開催(東京)

貝田佐知子, 竹林克士, 山口剛, 谷眞至
道胃接合部癌に対する根治切除手術における定型化および低侵襲化の取り組み
日本消化器病学会近畿支部第114回例会, 2021年2月, Web開催(京都)

安田登摩, 松本寛史, 井上博登, 今井隆行, 新谷修平, 大塚武人, 大野将司, 藤本剛英, 高橋憲一郎, 貝田佐知子, 馬場重樹, 稲富理, 九嶋亮治, 谷眞至, 安藤朗
発巣からの出血を繰り返した胃原発絨毛癌の一例
日本消化器病学会近畿支部第114回例会, 2021年2月, Web開催(京都)

土橋果実, 小島正継, 三宅亨, 植木智之, 福尾飛翔, 村本圭史, 前川毅, 徳田彩, 児玉泰一, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 石川健, 山口剛, 谷眞至
結腸腫瘍を契機に発覚したNUT carcinoma
日本消化器病学会近畿支部第114回例会, 2021年2月, Web開催(京都)

Katsushi Takebayashi, Satoshi Murata, Sachiko Kaida, Tsuyoshi Yamaguchi, Ken Ishikawa, Toru Miyake, Hiroya Iida, Masaji Tani
Correlation of spilled cancer cells and postoperative intra-abdominal infectious complications
第93回日本胃癌学会総会, 2021年3月, Web開催(大阪)

Sachiko Kaida, Ken Ishikawa, Katsushi Takebayashi, Tsuyoshi Yamaguchi, Satoshi Murata, Aya Tokuda, Hirokazu Kodama, Toru Miyake, Hiroya Iida, Masaji Tani
Relationship between visceral fat area and postoperative results in robotic laparoscopic gastrectomy
第93回日本胃癌学会総会, 2021年3月, Web開催(大阪)

Sachiko Kaida, Ken Ishikawa, Katsushi Takebayashi, Tsuyoshi Yamaguchi, Satoshi Murata, Motonori Shiomi, Takeru Maekawa, Aya Tokuda, Hirokazu Kodama, Hiromitsu Maehira, Masatsugu Kojima, Toru Miyake, Tomoyuki Ueki, Hiroya Iida, Tomoharu Shimizu, Masaji Tani
Relationship between VFA and postoperative results in laparoscopic and robotic gastrectomy
第33回日本内視鏡外科学会総会, 2021年3月, Web開催(一部現地開催)横浜

Tomoyuki Ueki, Toru Miyake, Masatsugu Kojima, Hiromitsu Maehira, Katsushi Takebayashi, Sachiko Kaida, Hiroya Iida, Tsuyoshi Yamaguchi, Tomoharu Shimizu, Masaji Tani
Perioperative outcomes of ulcerative colitis underwent surgery in our hospital
第33回日本内視鏡外科学会総会, 2021年3月, Web開催(一部現地開催)横浜

Hiroya Iida, Hirokazu Kodama, Hiromitsu Maehira, Toru Miyake, Tomoyuki Ueki, Masatsugu Kojima, Aya Tokuda, Sachiko Kaida, Katsushi Takebayashi, Ken Ishikawa, Kazunori Shiomi, Tsuyoshi Yamaguchi, Masaji Tani
Trans-thoracic-diaphragm trocar with single-lung ventilation for laparoscopic hepatectomy in S7 or 8
第33回日本内視鏡外科学会総会, 2021年3月, Web開催(一部現地開催)横浜

Toru Miyake, Tomoharu Shimizu, Tomoyuki Ueki, Masatsugu Kojima, Hiromitsu Maehira, Katsushi Takebayashi, Sachiko Kaida, Hiroya Iida, Ken Ishikawa, Tsuyoshi Yamaguchi, Masaji Tani
Surgical procedures and Short-term outcomes of transanal total mesorectal excision for rectal cancer
第 33 回日本内視鏡外科学会総会, 2021 年 3 月, Web 開催 (一部現地開催) 横浜

Katsushi Takebayashi, Sachiko Kaid, Ken Ishikawa, Tsuyoshi Yamaguchi, Tomoyuki Ueki, Toru Miyake, Hiromitsu Maehira, Hiroya Iida, Tomoharu Shimizu, Masaji Tani
Mediastinal Lymph Node Dissection-Thoracoscopic Esophagectomy in the Prone Position-
第 33 回日本内視鏡外科学会総会, 2021 年 3 月, Web 開催 (一部現地開催) 横浜

Tsuyoshi Yamaguchi, Hiroshi Yamamoto, Sachiko Kaida, Ken Ishikawa, Katsushi Takebayashi, Tomoharu Shimizu, Satoshi Murata, Hiroya Iida, Toru Miyake, Tomoyuki Ueki, Masatsugu Kojima, Hiromitsu Maehira, Sachiko Sakai, Hirokazu Kodama, Aya Tokuda, Masaji Tani
The impact of distance between pylorus and staple line on 1-year outcome after sieve gastrectomy
第 33 回日本内視鏡外科学会総会, 2021 年 3 月, Web 開催 (一部現地開催) 横浜

嶋村 藍, 坂井幸子, 前平博充, 竹林克士, 小島正継, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅 亨, 河合由紀, 石川 健, 山口 剛, 飯田洋也, 谷 眞至
異所性腺に関連した小腸 adenomyoma により腸重積症をきたした 1 か月乳児の一例
第 204 回近畿外科学会, 2021 年 3 月, Web 開催 (京都)

村本圭史, 前平博充, 飯田洋也, 森 治樹, 安川大貴, 新田信人, 徳田 彩, 貝田佐知子, 三宅 亨, 山口 剛, 谷 眞至
胆嚢断端処理が困難な胆嚢炎症例に対して胆嚢垂全摘後に pluggingtechnique を施行した 4 例の経験
第 204 回近畿外科学会, 2021 年 3 月, Web 開催 (京都)

児玉泰一, 貝田佐知子, 木下 武, 石川 健, 竹林克士, 山口 剛, 飯田洋也, 三宅 亨, 清水智治, 鈴木友彰, 谷 眞至
当院における腹部大動脈瘤術後の二次性大動脈腸管瘻の治療成績
第 57 回日本腹部救急医学会総会, 2021 年 3 月, Web 開催 (東京)

山口 剛, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 仰木智, 森野勝太郎, 栗原美香, 上西祐輝, 山口雅之, 三浦美智子, 谷 眞至
術前減量効果不良例に対する減量手術のタイミング - 術前減量の影響に関する検討 -
第 41 回日本肥満学会, 2021 年 3 月, Web 開催 (富山)

山口 剛, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 仰木 智, 森野勝太郎, 栗原美香, 上西祐輝, 山口雅之, 三浦美智子, 谷 眞至
腹腔鏡下スリーブ状胃切除後、無症状性肺動脈血栓塞栓症を発症し治療できた 1 例
第 38 回日本肥満症治療学会学術集会, 2021 年 3 月, Web 開催 (富山)

滋賀医科大学外科学講座（心臓血管外科）

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Hachiro K, Kinoshita T, Asai T, Suzuki T.

Impact of Mitral Surgery for Mitral Regurgitation on Coexisting Aortic Regurgitation.

Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Apr 20;26(2): 79-83, 2020

Hachiro K, Kinoshita T, Asai T, Suzuki T.

Left ventricular mass regression in patients without patient-prosthesis mismatch after aortic valve replacement for aortic stenosis.

Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Mar;68(3): 227-232, 2020

Hachiro K, Kinoshita T, Suzuki T, Asai T.

In situ skeletonized gastroepiploic artery grafting in hemodialysis patients.

Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2020 May 23.doi: 10.1007/s11748-020-01390-7, 2020

Hachiro K, Kinoshita T, Asai T, Suzuki T.

Impact of Mitral Surgery for Mitral Regurgitation on Coexisting Aortic Regurgitation.

Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Apr 20;26(2): 79-83, 2020

Kinoshita T, Yoshida H, Hachiro K, Suzuki T, Asai T.

Spinal cord collateral flow during antegrade cerebral perfusion for aortic arch surgery.

J Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Jul;160(1): 37-43, 2020

Hachiro K, Kinoshita T, Suzuki T, Asai T.

Impact of vital capacity on outcome after total arch replacement.

Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Sep;68(9): 951-955, 2020

Enomoto M, Suzuki T, Kinoshita T, Takashima N, Minamidate N, Lee J, Wakisaka H, Asai T.

Outcomes of surgical treatment for active infective endocarditis of mitral valve compared using complexity scoring.

Gen Thorac Cardiovasc Surg.2020 doi: 10.1007/s11748-020-01456-6. Online ahead of print. 2020

Hachiro K, Kinoshita T, Suzuki T, Asai T.

Total arch replacement in patients with chronic kidney disease.

J Card Surg . 2021 Feb;36(2): 475-482.doi: 10.1111/jocs.15219. Epub 2020 Dec 1.

Oguro A, Shigeta T, Machida K, Suzuki T, Iwamoto T, Matsufuji S, Imataka H.

Translation efficiency affects the sequence-independent +1 ribosomal frameshifting by polyamines.

J Biochem. 2020 Aug 1;168(2): 139-149. doi: 10.1093/jb/mvaa032.2020

Thien V, Fujiyoshi A, Hisamatsu T, Kadota A, Zaid M, Segawa H, Kondo K, Torii S, Nakagawa Y, Suzuki T, Asai T, Miura K, Ueshima H.

Lipoprotein Particle Profiles Compared with Standard Lipids in the Association with Subclinical Aortic Valve Calcification in Apparently Healthy Japanese Men.

Circulation Journal.2020 doi: 10.1253/circ.j.CJ-20-1090, 2020

Hachiro K, Kinoshita T, Suzuki T, Asai T.

Bilateral internal thoracic artery grafting in haemodialysis patients with diabetic nephropathy.

Interact Cardiovasc Thorac Surg 2020 Dec 7;31(6): 774-780. doi: 10.1093/icvts/ivaa208.2020

Miyashita F, Kinoshita T, Suzuki T, Asai T.

Respiratory Failure after Open Descending Aortic Aneurysm Repair: Risk Factors and Outcomes.

Ann Thorac Cardiovasc Surg.2021 Feb 20;27(1): 41-48. doi: 10.5761/atcs.oa.20-00020. Epub 2020 Jul 2. 2020

Enomoto M, Kinoshita T, Takashima N, Miyashita F, Suzuki T.
Surgical treatment for secondary aorto-esophageal fistula after prosthetic aortic replacement: A report of four cases
Int J Surg Case Rep 2020;75: 37-41. doi: 10.1016/j.ijscr.2020.8. Epub 2020 Aug 29, 2020

Hachiro K, Kinoshita T, Asai T, Suzuki T.
Left ventricular mass regression in patients without patient-prosthesis mismatch after aortic valve replacement for aortic stenosis.
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Mar;68(3): 227-232. doi: 10.1007/s11748-019-01188-2. Epub 2019 Aug 14. 2020

Nahar N, Kinoshita T, Suzuki T, Miura K, Asai T.
Dynamic changes of mitral annulus in patients with degenerative mitral regurgitation and chronic atrial fibrillation undergoing mitral valve reconstruction.
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Dec;68(12): 1405-1411. Epub 2020 Jun 14, 2020

Kaneko Y, Yagi N, Suzuki T, Nakagawa Y.
Syncope with Left Atrial Floating Thrombus During Anticoagulation.
Internal Medicine. 2021

Suzuki T, Ogita H, Sato A, Minamide N, Hachito K.
Differences Between Patients with and without Atherosclerosis in Expression Levels of Inflammatory Mediators in the Adipose Tissue Around the Coronary Artery.
International Heart Journal Vol.62 No.2(33)20-585, 2021

Enomoto M, Suzuki T, Kinoshita T, Takashima N, Minamide N, Lee J, Wakisaka H, Asai T.
Outcomes of surgical treatment for active infective endocarditis of mitral valve compared using complexity scoring.
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2021 Mar;69(3): 434-443. doi: 10.1007/s11748-020-01456-6. Epub 2020 Aug 4. 2021

〈和文学術論文〉

水野隆芳, 高橋 完, 今宿康彦, 鈴木友彰, 北川裕利
AnaConDaを用いた Ygraft 置換術後のセボフルラン鎮静
日本集中治療医学会雑誌 (1340-7988)27 卷 Suppl. Page586 (2020.09) 2020

【著書】

〈和文著書〉

鈴木友彰, 浅井 徹
グラフト選択とエビデンス
心臓血管外科手術エクセレンス 3 冠動脈疾患の手術 中山書店 74-79 2020

南館直志, 高島範之, 鈴木友彰
重症下腿潰瘍および大動脈弁閉鎖不全症を合併した巨大慢性解離性上行大動脈瘤の 1 例 (原著論文 / 症例報告)
胸部外科 (0021-5252)73 卷 8 号 Page599-601 (2020.08)

【書評】

鈴木友彰
『コンサルテーション・スキル Ver.2-「選択肢」から「必然」のチーム医療へ 岩田健太郎著』
胸部外科, 2021.2, Vol.74 No.2 138, 2021

【学会発表】

藪田裕明, 高島範之, 鈴木友彰, 大井衣里, 武田尚子, 金崎雅美, 荒木信一
僧帽弁形成術 (MVP) 術後に難治性腹水の著明な改善を認めた透析患者の一例
第 65 回日本透析医学会, 2020 年 11 月, Web 開催 (大阪)

木下 武, Halkos Michael, John Fallon

Robotic resection of recurrent left ventricular myxoma

第 63 回関西胸部外科学会学術集会, 2020 年 6 月, Web 開催

近藤康生, 脇坂穂高, 森本政憲, 南館直志, 高島範之, 木下 武, 鈴木友彰

急性大動脈解離 stanford typeA 型の術後に短期間で下行, 弓部, 腹部大動脈が瘤化した SLE 患者の一例

第 63 回関西胸部外科学会学術集会, 2020 年 6 月, Web 開催

木下 武

帰朝報告: 2019 年度 JATS/AATS Foundation Fellowship

第 73 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2020 年 10 月 -11 月, Web 開催 (名古屋)

鈴木友彰

胸部大動脈手術をシンプルに行う

第 117 回日循中国四国合同地方会, 2020 年 12 月, Web 開催

神谷賢一, 森陽太郎, 竹本哲志, 森本政憲, 南館直志, 高島範之, 川平敏博, 木下 武, 鈴木友彰

A Virtual-Reality Imaging System Potentially Useful for Surgeons

第 37 回 滋賀医科大学シンポジウム, 2020 年 12 月, Web 開催 (滋賀)

高島範之

合併手術を伴う全弓部置換術の成績

第 51 回日本心臓血管外科学会学術集会, 2021 年 2 月 (京都)

木下 武

左主管部病変に対する外科治療の遠隔成績

第 51 回日本心臓血管外科学会学術集会, 2021 年 2 月 (京都)

森本政憲

当科における僧帽弁形成術の長期成績と再手術例の詳細

第 51 回日本心臓血管外科学会学術集会, 2021 年 2 月 (京都)

滋賀医科大学外科学講座（呼吸器外科）

【著書（分担執筆）】

Ohshio Y.

Part IV Navigation Surgery 9: Application of ICG Fluorescent Endoscope Systems in Identifying Small Lung Cancers on the Periphery of the Lungs in Thoracoscopic Surgery.

Surgery and Operating Room Innovation. Takenoshta S, Yasuhara H. Editors, 81-91, Springer, 2021

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Okamoto K, Hayashi K, Kaku R, Kawaguchi Y, Ohshio Y, Hanaoka J.

Impact of fractional exhaled nitric oxide on the outcomes of lung resection surgery: a prospective study.

J Thorac Dis. 2020 May; 12(5): 2663-2671, 2020

Hanaoka J, Kawaguchi Y, Okamoto K, Kaku R, Ohshio Y.

Right sleeve pneumonectomy for local recurrent lung cancer following right sleeve upper lobectomy with bronchoplasty: a case report.

J Cardiothorac Surg. 2020 Jun; 15: 130, 2020

Okamoto K, Hayashi K, Kaku R, Kawaguchi Y, Ohshio Y, Hanaoka J.

Airway inflammation and lung function recovery after lobectomy in patients with primary lung cancer.

Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Aug; doi: 10.1007/s11748-020-01464-6, 2020

Watase S, Sonoda A, Matsutani N, Muraoka S, Hanaoka J, Nitta N, Watanabe Y.

Evaluation of intrathoracic tracheal narrowing in patients with obstructive ventilatory impairment using dynamic chest radiography: A preliminary study.

Eur J Radiol. 2020 Aug; 129: 109141, 2020

Teramoto K, Igarashi T, Kataoka Y, Ishida M, Hanaoka J, Sumimoto H, Daigo Y.

Biphasic prognostic significance of PD L1 expression status in patients with early and locally advanced stage non small cell lung cancer.

Cancer Immunol. Immunother. 2020 Oct; 70: 1063-1074, 2020

Kawaguchi Y, Hanaoka J, Ohshio Y, Okamoto K, Kaku R, Hayashi K, Shiratori T, Yoden M.

Survival and prognostic factors in patients undergoing extended pulmonary metastasectomy.

Mol Clin Oncol. 2020 Nov; 13(5): 48, 2020

Ilseon H, Jeong Won K, Kris Y, Eun Joo C, Kitano H, Candice P, Hanaoka J, Fukuoka J,

Joon Yong C, Stephen M. Hewitt.

Tumor-associated macrophage, angiogenesis and lymphangiogenesis markers predict prognosis of non-small cell lung cancer patients.

J Transl Med. 2020 Nov; 18: 443, 2020

Kawaguchi Y, Hanaoka J.

Cytoreductive Surgery and Hyperthermic Chemotherapy for Intrathoracic Pseudomyxoma Peritonei.

Ann Thorac Surg. 2020 Dec; 110(6): e541-e543, 2020

Kaku R, Yoden M, Shiratori T, Hayashi K, Okamoto K, Ohshio Y, Nakano Y, Hanaoka J.

Perioperative changes in respiratory impedance in lobectomy and their clinical impact.

J Thorac Dis. 2020 Dec; doi: 10.21037/jtd-20-3090, 2020

Kawaguchi Y, Hanaoka J, Hayashi K.

Feasibility of early removal of chest tube in the operating room for spontaneous pneumothorax: A prospective randomized controlled study.

Asian J Surg. 2021 Jan; 44(1): 339-344, 2021

Hanaoka J, Yoden M, Hayashi K, Shiratori T, Okamoto K, Kaku R, Kawaguchi Y, Ohshio Y, Sonoda A.

Dynamic perfusion digital radiography for predicting pulmonary function after lung cancer resection.

World J Surg Oncol. 2021 Feb; 19: 43, 2021

Kawaguchi Y, Hanaoka J, Ohshio Y, Okamoto K, Kaku R, Hayashi K, Shiratori T, Akazawa A.

Does sarcopenia affect postoperative short- and long-term outcomes in patients with lung cancer?-a systematic review and meta-analysis.

J Thorac Dis. 2021 Mar; 13(3): 1358-1369, 2021

〈和文学術論文〉

橋本雅之, 堀本かな, 武田恵子, 大塩麻友美, 澤井 聡, 大塩恭彦, 花岡 淳

アトピー性皮膚炎合併漏斗胸に対する Nuss 法術後感染による早期バー拔去

胸部外科 73 (13) : 1080-1083, 2020

【学会発表】

〈国際学会〉

Kataoka Y, Fujita T, Hanaoka J.

CANCER-ASSOCIATED FIBROBLASTS IN METASTATIC MEDIASTINAL LYMPH NODES SERVE AS A PREDICTOR FOR TUMOR RECURRENCE IN PN2 NON-SMALL CELL LUNG CANCER.

ESTS 1st Virtual Congress, 2020, Online

〈全国学会・研究会〉

花岡 淳, 赤澤 彰, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩恭彦

原発性肺癌術後の残存肺気道狭窄に対する X 線動態解析システムを用いた機能評価 —左上葉切除術—

第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020 年 6 月, 紙上開催

大塩恭彦, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩麻友美, 花岡 淳

間質性肺炎 (IP) 患者における気胸の治療と予防について

第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020 年 6 月, 紙上開催

川口 庸, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳

腹膜透析中に発症した横隔膜交通症に対して胸腔鏡下手術を行った 3 例

第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020 年 6 月, 紙上開催

林 一喜, 余田 誠, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩恭彦, 花岡 淳

人工血管気管支瘻に対して胸部ステントグラフト内挿術で良好な経過を得た一例

第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020 年 6 月, 紙上開催

余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳

肺癌縦隔リンパ節転移に対する縦隔鏡検査の検討

第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020 年 6 月, 紙上開催

御園生昌史, 仲川宏昭, 平山陽子, 大澤 真, 白鳥琢也, 大塩恭彦, 花岡 淳, 中野恭幸

難治性気胸を合併した間質性肺炎に対し EWS と経気管支鏡下自己血注入の同時併用療法が有効であった 2 例

第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020 年 6 月, 紙上開催

内田泰樹, 平山陽子, 河島 暁, 松尾裕美子, 行村瑠里子, 仲川宏昭, 黄瀬大輔, 山口将史, 大澤 真, 林 一喜,

賀来良輔, 岡本圭伍, 大塩恭彦, 花岡 淳, 中野恭幸

感染症診断のための気管支鏡 免疫チェックポイント阻害剤投与後結核併発症例の検討

第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020 年 6 月, 紙上開催

仲川宏昭, 松尾裕美子, 内田泰樹, 黄瀬大輔, 山口将史, 林一喜, 大塩恭彦, 花岡 淳, 中野恭幸
呼吸機能検査から予測する気管支鏡検査中の低酸素血症の原因についての検討
第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020 年 6 月, 紙上開催

大塩恭彦, 余田 誠, 林一喜, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩麻友美, 花岡 淳
胸腔鏡下肺切除術における 8K カメラの使用経験
第 120 回日本外科学会学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

川口 庸, 余田 誠, 白鳥琢也, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
腹膜偽粘液腫胸膜播種に対する Cytoreductive surgery
第 120 回日本外科学会学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

岡本圭伍, 白鳥琢也, 林一喜, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩恭彦, 花岡 淳
呼吸器外科周術期における FeNO 値は術後肺合併症および遅発期呼吸イベントを有意に予測する因子である
第 120 回日本外科学会学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

賀来 良輔
肺葉切除術施行例の手術前後における呼吸抵抗についての検討
第 120 回日本外科学会学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

花岡 淳
3 重複肺癌に対して右肺上葉切除術後に左上葉気管支管状切除術を行った 1 例
第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月 -10 月, Web 開催

花岡 淳, 余田 誠, 赤澤 彰, 林一喜, 白鳥琢也, 賀来良輔, 岡本圭伍, 川口 庸, 大塩恭彦
X 線動態解析システムの肺血流量評価への応用
第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月 -10 月, Web 開催

川口 庸, 余田 誠, 白鳥琢也, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
腹膜播種治療後の大腸癌肺転移に対する手術療法
第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月 -10 月, Web 開催

賀来良輔, 余田 誠, 白鳥琢也, 林一喜, 岡本圭伍, 大塩恭彦, 花岡 淳, 川口 庸
両側鎖骨・第 1 肋骨・胸骨を含む広範な胸壁切除術を要した転移性胸骨腫瘍の一切除例
第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月 -10 月, Web 開催

白鳥琢也, 余田 誠, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
肺癌術後乳び胸に対するフローチャートの作成と、有効性についての検討
第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月 -10 月, Web 開催

岡本圭伍, 白鳥琢也, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩恭彦, 花岡 淳
肺癌手術患者における潜在的気道炎症がもたらす残存肺機能への影響
第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月 -10 月, Web 開催

白鳥琢也, 余田 誠, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
腫瘍径 5cm 以上の胸腺腫瘍に対する手術手技の検討
第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月 -10 月, Web 開催

大塩恭彦, 余田 誠, 林一喜, 白鳥琢也, 賀来良輔, 岡本圭伍, 川口 庸, 大塩麻友美, 花岡 淳
肺癌の仮想腫瘍重量と FDG 集積との関連についての検討
第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月 -10 月, Web 開催

片岡瑛子, 五十嵐知之, 藤田琢也, 花岡 淳
非小細胞肺癌におけるがん幹細胞マーカー発現の臨床的意義
第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月 -10 月, Web 開催

林一喜, 余田 誠, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩恭彦, 花岡 淳
原発性肺癌手術における術後循環器・呼吸器合併症発生リスク因子の検討
第37回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020年9月-10月, Web開催

余田 誠, 白鳥琢也, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
胸腺摘出術後より貧血の改善を認めた赤芽球癆合併胸腺腫の2例
第37回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020年9月-10月, Web開催

余田 誠, 白鳥琢也, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
肺切除術後在宅酸素療法導入を要した症例の検討
第37回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020年9月-10月, Web開催

片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 藤田琢也, 花岡 淳
非小細胞肺癌において核におけるRUNX1の発現は術後再発予測因子である
第79回日本癌学会学術総会, 2020年10月, Web開催

大塩恭彦, 赤澤 彰, 白鳥琢也, 林一喜, 賀来良輔, 岡本圭伍, 川口 庸, 大塩麻友美, 花岡 淳
単孔式肺葉切除術終了後の出血症例
第73回日本胸部外科学会定期学術集会, 2020年10月, Web開催

川口 庸, 赤澤 彰, 白鳥琢也, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
粘液産生肺癌に対して肺葉切除後、早期に局所再発を来した2例
第73回日本胸部外科学会定期学術集会, 2020年10月, Web開催

川口 庸, 赤澤 彰, 白鳥琢也, 林一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
サルコペニアは高齢者肺癌手術における合併症リスクおよび予後不良因子である
第61回日本肺癌学会学術集会, 2020年11月, 岡山

大塩 恭彦, 赤澤 彰, 白鳥琢也, 林一喜, 賀来良輔, 岡本圭伍, 川口 庸, 大塩麻友美, 花岡 淳
呼吸筋力測定器IOP-01を用いた肺切除術後の経日的呼吸筋力の変化について
第61回日本肺癌学会学術集会, 2020年11月, 岡山

岡本圭伍, 白鳥琢也, 林一喜, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩恭彦, 花岡 淳
高位胸壁浸潤肺癌へのSurgical Approach
第60回近江呼吸器疾患研究会, 2021年3月, Web開催

賀来良輔, 赤澤 彰, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 川口 庸, 大塩恭彦, 花岡 淳
肺葉切除術周術期における呼吸インピーダンスの変化とその臨床的意義
第60回近江呼吸器疾患研究会, 2021年3月, Web開催

大塩恭彦
世界に先駆けた8K映像技術－未来のスタンダードを目指して－
第33回日本内視鏡外科学会総会, 2021年3月, 横浜

Ohshio Y, Shiratori T, Hayashi K, Ohshio M, Hanaoka J.
8K ultra-high-definition endoscope for VATS
第33回日本内視鏡外科学会総会, 2021年3月, 横浜

滋賀医科大学総合外科学講座

【著書】

Mekata E, Yamada A, Shimagaki M, Kajiyama T, Tani T.
Lightweight Carbon-Reinforced Resin Surgical Instruments.
Takenoshita S., Yasuhara H. (eds) Surgery and Operating Room Innovation. Springer, Singapore. 2020年11月

【論文発表】

〈英文学術論文〉

An B, Zen Y, Akabori H, Kitamura N, Ohta H, Otsuki A, Mizuta H, Tsujikawa T, Mekata E.
Gastric volvulus and giant Bochdalek hernia in an adult patient that were safely repaired by endoscopic reduction and elective laparoscopic surgery.

Asian J Endosc Surg, 14(1): 120-123, 2021

Inoue A, Yoshida E, Otsuki A, Ohta H, Mekata E, Tsujikawa T, Watanabe S, Ota S, Nitta N, Murata K.
Letter to Editor about "A Case of Appendiceal Mucocele due to Low-grade Appendiceal Mucinous Neoplasm Correctly Differentiated from Acute Appendicitis Based on Diffusion-weighted Imaging and the Apparent Diffusion Coefficient Value (JJMRM 2020 ; 40 : 14-19)".

Magn Reson Med Sci, 19(3) : 167, 2020

Akabori H, Tani M, Kitamura N, Maehira H, Imashuku Y, Tsujita Y, Shimizu T, Kitagawa H, Eguchi Y.
Perioperative tight glycemic control using artificial pancreas decreases infectious complications via suppression of inflammatory cytokines in patients who underwent pancreaticoduodenectomy: A prospective, non-randomized clinical trial.

Am J Surg, 220(2): 365-371, 2020

Ohta H, Miyake T, Ueki T, Kojima M, Mekata E, Shimizu T, Tani M.
Impact of Early Postoperative Diarrhea on Anastomotic Leakage after Laparoscopic Low Anterior Resection for Rectal Cancer.

日本外科系連合学会誌, 45巻4号 Page295-300, 2020

Akabori H, Yamamoto H, Shimizu T, Endo Y, Tani T, Tani M.
Involvement of TRPV1-containing peripheral sensory efferents in hemodynamic responses in a rat hemorrhagic shock model.

Surgery, 169(4): 879-884, 2021

Terada Y, Akabori H, Ohta H, Nishina Y, Mekata E.
Early experience with a new integrated microwave surgical device, Acrosurg Revo®, for laparoscopic surgery: A case series of two patients.

Int J Surg Case Rep, 78:375-377, 2021

Ohta H, Hashimoto K, Mizukuro T, An B, Zen Y, Nishina Y, Terada Y, Kitamura N, Akabori H, Fujino M, Mekata E.
Successful laparoscopy-assisted repair of a rectovaginal fistula after low anterior resection for rectal cancer: a report of two cases.

Surg Case Rep, 16:7(1): 68, 2021

〈和文学術論文〉

仁科勇佑, 森 治樹, 三宅 亨, 谷 総一郎, 植木智之, 飯田洋也, 貝田佐知子, 清水智治, 和田康宏, 谷 眞至
小腸 calcifying fibrous tumor に対し腹腔鏡下小腸切除術を行った1例

日本消化器外科学会雑誌 53(11): 901-907, 2020

太田裕之, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 河合由紀, 園田寛道, 赤堀浩也, 北村直美, 安 柄九, 全 有美, 目片英治, 谷 眞至
リンチ症候群のスクリーニング目的として MSI 検査を施行した大腸癌症例の検討
遺伝性腫瘍 20(3): 151-155, 2020

寺田好孝, 太田裕之, 仁科勇佑, 北村直美, 赤堀浩也, 目片英治
腹腔鏡下低位前方切除術後に発症した well leg com partment syndrome の 1 例
滋賀医大誌 34(1): 14-17, 2021

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 貝田佐知子, 飯田洋也, 前平博充, 竹林克士, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至

敗血症の治療戦略の一つとしてのエンドトキシン吸着療法 (PMX) の再考
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催 (東京)

小島正継, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 長澤芳信, 飯田洋也, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 前平博充, 伊藤 文, 児玉泰一, 徳田 彩, 山口 剛, 清水智治, 目片英治, 谷 眞至
穿孔性結腸憩室炎手術症例の検討
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催 (東京)

貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 石川 健, 龍田 健, 村上耕一郎, 西村彰一, 太田裕之, 土橋洋史, 川崎誠康, 村田 聡, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
胃癌手術における術後静脈血栓塞栓症に関する多施設共同前向き観察研究
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催 (東京)

福尾飛翔, 安 柄九, 全 有美, 北村直美, 赤堀浩也, 太田裕之, 目片英治
繰り返す腸閉塞既往のある左鼠径ヘルニアに対し、腹腔鏡下同時手術 (鼠径ヘルニア修復術 (TEP) と腸管癒着剥離術) を施行した 1 例
第 203 回近畿外科学会, 2020 年 9 月, 大阪

富田 香, 河合由紀, 油木純一, 北村美奈, 坂井幸子, 森 毅, 山口 剛, 猪飼信康, 能島 舞, 森谷鈴子, 梅田朋子, 目片英治, 谷 眞至
両側乳房全切除術に至った両側異時性肉芽腫性乳腺炎の一例
第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020 年 10 月, Web 開催 (愛知)

河合由紀, 富田 香, 北村美奈, 油木純一, 坂井幸子, 森 毅, 梅田朋子, 森谷鈴子, 目片英治, 谷 眞至
同時性一側に乳腺浸潤性小葉癌、扁平上皮癌、浸潤性乳管癌が混在した 1 例
第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020 年 10 月, Web 開催 (愛知)

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 石川 健, 児玉泰一, 下地みゆき, シホンビン アンドレアス マイケル, 小島正継, 三宅 亨, 飯田洋也, 植木智之, 北村美奈, 徳田 彩, 目片英治, 谷 眞至
胃癌手術後再発メカニズムに基づいた腹膜再発治療戦略
第 79 回日本癌学会学術総会, 2020 年 10 月, 広島 (Web)

Andreas M.Sihombing, 村田 聡, 下地みゆき, 竹林克士, 児玉泰一, 小島正継, 植木智之, 北村直美, 北村美奈, 徳田 彩, 三宅 亨, 目片英治, 谷 眞至
胃癌腹膜再発の原因としての CD44 陽性がん幹細胞様細胞
第 79 回日本癌学会学術総会, 2020 年 10 月, 広島 (Web)

小島正継, 村田 聡, 下地みゆき, シホンビン アンドレアス マイケル, 北村直美, 植木智之, 北村美奈, 竹林克士, 児玉泰一, 徳田 彩, 三宅 亨, 目片英治, 谷 眞至
がん性腹水中の腫瘍関連リンパ球 (TAL) を用いた腫瘍抗原特異的 CTL の樹立
第 79 回日本癌学会学術総会, 2020 年 10 月, 広島 (Web)

下地みゆき, 村田 聡, Andreas M. Sihombing, 竹林克士, 児玉泰一, 小島正継, 植木智之, 北村直美, 北村美奈, 徳田 彩, 三宅 亨, 目片英治, 谷 眞至
Hyperthermia によるがん幹細胞様細胞への影響
第 79 回日本癌学会学術総会, 2020 年 10 月, 広島 (Web)

北村直美, 田丸 大, 大内政嗣, 仁科勇佑, 寺田好孝, 赤堀浩也, 太田裕之, 目片英治
事業継続計画 (BCP: Business continuity plan) の作成と院内防災訓練
第 48 回日本救急医学会総会・学術集会, 2020 年 11 月, 岐阜 (Web)

太田裕之, 橋本京三, 水黒知行, 全 有美, 安 柄九, 赤堀浩也, 北村直美, 目片英治
直腸癌術後難治性直腸腔瘻に対して腹腔鏡操作を併用して会陰体の形成術を施行した 3 例
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催 (一部現地開催) 和歌山

滋賀医科大学救急集中治療医学講座

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Shimizu J, Tabata T, Tsujita Y, Yamane T, Yamamoto Y, Tsukamoto T, Ogawa N, Kim H, Urushitani M, Eguchi Y.
Propofol infusion syndrome complicated with mitochondrial myopathy, encephalopathy, lactic acidosis, and stroke-like episodes: a case report.
Acute Med Surg, e473, eCollection: Jan-Dec 2020

Mizumura N, Kishimoto T, Tanaka T, Shimizu J, Tabata T, Eguchi Y.
Vasovagal reaction and ischemic colitis following blood donation.
Intern Med, 59(12): 1515-1517, 2020

Akabori H, Tani M, Kitamura N, Maehira H, Imashuku Y, Tsujita Y, Shimizu T, Kitagawa H, Eguchi Y.
Perioperative tight glycemic control using artificial pancreas decreases infectious complications via suppression of inflammatory cytokines in patients who underwent pancreaticoduodenectomy: A prospective, non-randomized clinical trial.
Am J Surg, 220(2): 365-371, 2020

Mizumura N, Kishimoto T, Tanaka T, Shimizu J, Tabata T, Eguchi Y.
Reply to “detailed pathophysiology of ischemic colitis following plasma donation.”
Intern Med, 59(19): 2451, 2020

Tanaka T, Tabata T, Fujino K, Tsujita Y, Eguchi Y.
Impact of timing of polymyxin B-immobilized fiber column direct hemoperfusion on outcome in patients with septic shock: a single-center observational study.
Acute Med Surg, 7(1): e446, eCollection Jan-Dec 2020.

Katsura D, Tsuji S, Kimura F, Tanaka T, Eguchi Y, Murakami T.
Gestational psittacosis: A case report and literature review.
J Obstet Gynaecol Res, 46(5): 673-677, 2020

Kato T, Fujino K, Tsujita Y, Miyatake H, Tabata T, Eguchi Y.
Impact of abdominal aortic calcification on 90-day mortality in sepsis patients: a pilot retrospective cohort study.
Acute Med Surg, 8(1): e630, 2021

Shimizu J, Fujino K, Sawai T, Tsujita Y, Tabata T, Eguchi Y.
Association between plasma complement factor H concentration and clinical outcomes in patients with sepsis.
Acute Med Surg, 8(1): e625, 2021

Miyatake H, Tabata T, Tsujita Y, Fujino K, Tanaka R, Eguchi Y
Detection of pulmonary embolism using a novel dynamic flat-panel detector system in monkeys.
Circ J, 85(4): 361-368, Epub 2021

Miyatake H, Asada K, Tabata T, Eguchi Y, Matsutani N, Nakagawa Y.
Novel pulmonary circulation imaging using dynamic chest radiography for acute pulmonary embolism.
Circ J, 85(4): 400, Epub 2021

〈和文学術論文〉

金崎雅美, 荒木信一, 江口 豊, 岩城秀出洙, 秋岡清一, 門 浩志, 前田咲弥子, 新井 豊, 西尾利樹, 有村哲朗,
磯野元秀, 西村正孝, 一色啓二, 曾我弘樹, 谷口正展.
滋賀県の慢性透析療法の現況 (2018年12月31日現在)
滋賀医学 43: 1-7, 2021

江口 豊, 田中智基, 田畑貴久.
PMX-DHP の適応, 開始基準を再考する
ICU と CCU44(9): 549-553, 2020

江口 豊, 田中智基, 田畑貴久
「医工連携がもたらす重度侵襲病態治療の最前線と近未来の治療」PMX による敗血症集中治療の最前線
外科と代謝・栄養 54(4): 185-187, 2020

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

田畑貴久, 田中智基, 江口 豊
シンポジウム: PMX-DHP の施行開始時間と施行継続時間からの検討
第41回日本アフェレシス学会学術大会, 2020年10月, 千葉

加藤文崇, 岩田賢太郎, 平泉志保, 野澤正寛, 越後 整, 藤野和典, 塩見直人, 江口 豊
鈍的腸管・腸管膜損傷における保存治療の選択は, 初診時の所見により可能か
第48回日本救急医学会総会・学術集会, 2020年11月, 岐阜

滋賀医科大学臨床看護学講座

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Endo Y.
40th Annual Meeting of Japanese Society for Apheresis: Apheresis: The progress spreading worldwide.
Therapeutic apheresis and dialysis, 24(5) 470 - 473, 2020

Akabori H, Yamamoto H, Shimizu T, Endo Y, Tani T, Tani M.
Involvement of TRPV1-containing peripheral sensory efferents in hemodynamic responses in a rat
hemorrhagic shock model.
Surgery, 169(4): 879-884, 2021

Miyake T, Iida H, Shimizu T, Ueki T, Kojima M, Ohta H, Yamaguchi T, Kaida S, Mekata E, Endo Y, Tani M.
The Elevation in Preoperative Procalcitonin Is Associated with a Poor Prognosis for Patients Undergoing Resection
for Colorectal Cancer.
Dig Surg, 38(1): 80-86, 2021

Endo Y.

Therapeutic apheresis and dialysis : official peer-reviewed journal of the International Society for Apheresis, the Japanese Society for Apheresis.

Congress Report: 12th World Congress of the International Society for Apheresis and the 40th Annual Meeting of Japanese Society for Apheresis.

Therapeutic apheresis and dialysis; 24(2) 104 – 107, 2020

【学会発表】

〈国際学会〉

Endo Y.

Recent advance in cell adsorption in Japan.

The Joint Meeting of the 13th ISFA World Congress & the E-ISFA Congress, Rostock, Germany, in Virtual, 2021

Endo Y: Chair. S-08 Miscellaneous.

The Joint Meeting of the 13th ISFA World Congress & the E-ISFA Congress, Rostock, Germany, in Virtual, 2021

〈全国学会・地方会・その他〉

遠藤善裕

シンポジウム：新規血球細胞除去用浄化器 Immunopure イムノピュア –臨床面から–

第41回日本アフェレシス学会，2020年10月，千葉

遠藤善裕

ランチョンセミナー：重症敗血症に対するPMXの有用性

第41回日本アフェレシス学会，2020年10月，千葉

滋賀医科大学革新的医療機器・システム研究開発講座

【著書】

谷 徹

第3章 医療応用／第4節 マイクロ波手術機器

生物・生体・医療のためのマイクロ波利用 熱／非熱プロセスを用いた基礎から応用の技術，97-105，2020年9月

【記事】

谷 徹

知の泉 滋賀の研究最前線「日本発、世界初の医療手段」医療の可能性を拡張する次世代機器の開発

Business and Culture Magazine, かけはし 298：11-12, 2021年4月

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Mekata E, Yamada A, Shimagaki M, Kajiyama T, Tani T.

Lightweight Carbon-Reinforced Resin Surgical Instruments.

Surgery and Operating Room Innovation, https://doi.org/10.1007/978-981-15-8979-9_1, 2020

Dang Tran K, Naka S, Yamada A, Mukaisho K, Tani T.

Vessel-sealing capability of novel microwave sealer: Experimental study in animal models.

Surgical Innovation 27(6): 633-643, 2020

〈和文学術論文〉

谷 徹

[第3章]日本から世界へ！ 出血も発煙もなく、MRIとも共存できる手術器具 “マイクロ波手術支援機器” Acrosurg.”の開発

RF ワールド 53 : 39, 2021

山田篤史

日立賞受賞者特集 弾性ループを用いた連続体デバイスの操舵機構

日本コンピュータ外科学会誌 23 (2) : 65-72, 2021

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

谷 徹, 山田篤史, 仲 成幸, 谷 総一郎, 中瀬雄三

(シンポジウム) 本邦外科医が実践可能で社会貢献となる製品化を目指す医学研究開発

第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, 東京

山下 敬, 山田篤史, 王 忠奎, 平井慎一, 森川茂廣

頬部・口腔モデル内に設置した下顎左右の歯牙に力学センサを有する口腔ケアシミュレータの作製

第 8 回看護理工学会学術集会, 2020 年 10 月, Web 開催

山田篤史, 米道 渉, 嶋 辰也, 谷 徹

先端部の安定した多方向屈曲を実現する人工血管用素材を用いた可動型カニューレの開発

第 29 回日本コンピュータ外科学会大会, 2020 年 11 月, Web 開催

山田篤史 (2019 年度 CAS Young Investigator Award (日立賞) シルバー賞受賞講演)

フレキシブルメカニズムの医療応用に関する研究開発

第 29 回日本コンピュータ外科学会大会, 2020 年 11 月, Web 開催

谷 徹, 仲 成幸, Dang Tran Khiem, 山田篤史, 谷 総一郎

動物腸間膜リンパ節摘出術のエネルギーデバイス比較 手術支援エネルギー機器のリンパ漏検討

第 39 回 Microwave Surgery 研究会, 2021 年 2 月, 秋田

飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 徳田 彩, 村本圭史, 山田篤史, 仲 成幸, 谷 徹, 谷 眞至

腹腔鏡下肝切除における新規エネルギーデバイス (Acrosurg.Revo S) の使用経験 腹腔鏡下肝切除での Acrosurg.Revo S の使用経験

第 39 回 Microwave Surgery 研究会, 2021 年 2 月, 秋田

關連病院業績

赤穂市民病院 外科

【論文発表】

＜和文学術論文＞

高原秀典

当院における閉塞性大腸癌に対する外科切除後の短期および長期成績の検討
痛と化学療法 47(13): 1980-1982, 2020

藤澤亮裕

腹腔鏡下に切除しえた胃グロムス腫瘍の1例
外科 82(8): 867-870, 2020

【学会発表】

＜全国学会・地方会・その他＞

赤神正敏

当科の膣癌術後再発についての検討
第75回日本消化器外科学会, 2020年12月, 和歌山

公益財団法人がん研究会 有明病院 食道外科

【論文発表】

＜英文学術論文＞

Otake R, Okamura A, Kanamori J, Takahashi K, Ushida Y, Imamura Y, Mine S, Watanabe M.

The Optimal Feeding Enterostomy Creation During Esophagectomy to Reduce the Long-Term Risk of Small Bowel Obstruction.

World J Surg, 44:3845-3851, 2020

Otake R, Okamura A, Yamashita K, Imamura Y, Kanamori J, Kozuki R, Takahashi K, Toihata T, Yamamoto N, Asari T, Mine S, Watanabe M.

Efficacy of postoperative radiotherapy in esophageal squamous cell carcinoma patients with positive circumferential resection margin.

Esophagus, 18(2): 288-295, Epub 2020

Takahashi K, Okamura A, Amada E, Otake R, Kozuki R, Toihata T, Imamura T, Watanabe M.

Esophagectomy for Esophageal Cancer in a Patient with Left Pulmonary Artery Sling.

Ann Surg Oncol, 27(5): 1530, 2020

Okamura A, Watanabe M, Kitazono S, Manoshiro H, Kasama E, Takahashi K, Toihata T, Otake R, Kozuki R, Imamura Y, Yamahara Y, Ishizuka N.

The Design of and Rationale for the Effect of Perioperative Inhaled Tiotropium for Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease in Esophageal Cancer Surgery (EPITOPE): an Open-Label, Randomized, Parallel-Group Study.

Eur Surg Res, 61(4-5): 123-129, 2021

【学会発表】

＜全国学会・地方会・その他＞

(サージカルフォーラム)

大竹玲子, 岡村明彦, 山下公太郎, 今村 裕, 金森淳, 上月亮太郎, 高橋慶太, 問端 輔, 山本智理子, 浅利崇生, 峯 真司, 渡邊雅之

食道癌剥離断端陽性症例に対する術後放射線療法の意義

第120回日本外科学会定期学術集会, 2020年8月, 横浜 (完全Web)

(ポスター) 食道優秀演題賞受賞

大竹玲子, 岡村明彦, 今村 裕, 金森 淳, 上月亮太郎, 高橋慶太, 問端 輔 渡邊雅之
癌術後腸閉塞を軽減する手術手技の工夫
第74回日本食道学会学術集会, 2020年12月, 徳島

(一般演題)

大竹玲子, 岡村明彦, 山下公太郎, 今村 裕, 金森 淳, 上月亮太郎, 高橋慶太, 問 端輔, 山本智理子, 浅利崇生,
峯 真司, 渡邊雅之
食道扁平上皮癌剥離断端陽性症例に対する術後放射線療法の意義
第75回日本消化器総会外科学会総会, 2020年12月, 和歌山

公益財団法人がん研究会 有明病院 大腸外科

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Yamaguchi T, Akiyoshi T, Fukunaga Y, Nagayama S, Nagasaki T, Mukai T, Nakanishi R.
Robotic Extralevator Abdominoperineal Resection With en Bloc Multivisceral Resection and Lateral Lymph Node Dissection for Rectal Cancer.
Techniques in Coloproctology, 24(10); 1093-1094, 2020

Nakanishi R, Fukunaga Y, Mukai T, Nagasaki T, Yamaguchi T, Akiyoshi T, Konishi T, Nagayama S, Ueno M.
Educational system for acquiring appropriate laparoscopic colorectal surgical skills: analysis in a Japanese high-volume cancer center.
Surgical Endoscopy, 35(6); 2660-2666, 2020

Tominaga T, Toshiya Nagasaki, Takashi Akiyoshi, Yosuke Fukuanga, Satoru Honma, Tomoyuki Nagaoka, Shinpei Matsui, Hironori Minami, Shun Miyanari, Tomohiro Yamaguchi, Masashi Ueno.
Prognostic nutritional index and postoperative outcomes in patients with colon cancer after laparoscopic surgery.
Surgery Today, 50(12); 1633-1643, 2020

Nakanishi R, Akiyoshi T, Toda S, Murakami Y, Taguchi S, Oba K, Hanaoka Y, Nagasaki T, Yamaguchi T, Konishi T, Matoba S, Ueno M, Fukunaga Y, Kuroyanagi H.
Radiomics Approach Outperforms Diameter Criteria for Predicting Pathological Lateral Lymph Node Metastasis After Neoadjuvant (Chemo)Radiotherapy in Advanced Low Rectal Cancer.
Ann Surg Oncol, 27(11); 4273-4283, 2020

Sasaki S, Nagasaki T, Oba K, Akiyoshi T, Mukai T, Yamaguchi T, Fukunaga Y, Fujimoto Y.
Risk factors for outlet obstruction after laparoscopic surgery and diverting ileostomy for rectal cancer.
Surgery Today, 51(3); 366-373, 2020

Tajima JY, Nagayama S, Hiyoshi Y, Mukai T, Nagasaki T, Yamaguchi T, Akiyoshi T, Konishi T, Fukunaga Y.
Colonic delta-shaped anastomosis using linear staplers in laparoscopic colectomy.
Techniques in Coloproctology, 25(4); 473-474, 2020

Nakanishi R, Konishi T, Nakaya E, Zaitzu Y, Mukai T, Yamaguchi T, Nagasaki T, Akiyoshi T, Nagayama S, Fukunaga Y.
Predisposing factors and clinical impact of high-output syndrome after sphincter-preserving surgery with covering ileostomy for rectal cancer: A retrospective single-center cohort study.
International Journal of Clinical Oncology, 26(1); 118-125, 2020

Nakanishi R, Akiyoshi T, Toda S, Murakami Y, Taguchi S, Oba K, Hanaoka Y, Nagasaki T, Yamaguchi T, Konishi T, Matoba S, Ueno M, Fukunaga Y, Kuroyanagi H.
Radiomics Approach Outperforms Diameter Criteria for Predicting Pathological Lateral Lymph Node Metastasis After Neoadjuvant (Chemo)Radiotherapy in Advanced Low Rectal Cancer.
Ann Surg Oncol, 27(11): 4273-4283, 2020

Tominaga T, Yamaguchi T, Nagasaki T, Akiyoshi T, Nagayama S, Fukunaga Y, Ueno M, Konishi T.
Improved oncologic outcomes with increase of laparoscopic surgery in modified complete mesocolic excision with D3 lymph node dissection for T3/4a colon cancer: results of 1191 consecutive patients during a 10-year period: a retrospective cohort study.
International Journal of Clinical Oncology, 26(5): 893-902, 2021

Ikeda A, Fukunaga Y, Akiyoshi T, Nagayama S, Nagasaki T, Yamaguchi T, Mukai T, Hiyoshi Y, Konishi T.
Wound infection in colorectal cancer resections through a laparoscopic approach: a single-center prospective observational study of over 3000 cases.
Discover Oncology, 12(1): 2, 2021

Mukai T, Nagasaki T, Akiyoshi T, Yamaguchi T, Hiyoshi Y, Nagayama S, Fukunaga Y.
Staple-transection of the dorsal venous complex and urethra in cooperative laparoscopic and transperineal endoscopic total pelvic exenteration for pelvic malignancies.
Asian Journal Endoscopic Surgery, Online ahead of print, 2021

〈和文学術論文〉

向井俊貴, 長壽寿矢, 秋吉高志, 山口智弘, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介
大学病院では学べない外科臨床ストーマ脱出・脱落(壊死)―診断と治療
外科 82(5): 441-447, 2020

松井信平, 福長洋介, 長山 聡, 小西 毅, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 向井俊貴
大腸癌に対する内視鏡手術の進歩 3. RPS (Reduced port surgery) - 細径鉗子を用いた腹腔鏡下大腸切除術 -
日本外科学会雑誌 121(3): 294-300, 2020

清住雄希, 秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介
特集 進行直腸癌のベストプラクティス: II 各論 NACRT の適応と成績
外科 82(7): 724-729, 2020

秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿也, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介
【T4b 大腸癌に対する腹腔鏡下手術 安全・確実に病変を取り除くために!】精囊・前立腺浸潤
消化器外科 43(8): 1213-1221, 2020

山口智弘, 福長洋介, 長山 聡, 小西 毅, 秋吉高志, 長壽寿矢
大腸外科手術におけるトラブルシューティング
I . 術中出血 9) ロボット支援下直腸癌手術における術中出血の予防と対処法
手術 74(8): 1139-1144, 2020

清住雄希, 山口智弘, 太田絵美, 財津瑛子, 深田浩二, 福長洋介
1 章 縫合・吻合の基本 ロボット手術で使用する縫合・吻合デバイスの種類と特徴
臨床外科 増刊号 75(11): 22-23, 2020

深田浩志, 秋吉高志, 向井俊貴, 長壽寿矢, 山口智弘, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介
腹腔鏡下直腸切除術における助手の極意
臨床外科 増刊号 75(12): 1320-1324, 2020

長山 聡, 日吉幸晴, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 福長洋介
見直そう! 大腸癌に対する腹腔鏡・ロボット手術の基本手技: 横行結腸癌に対する腹腔鏡下横行結腸切除術
消化器外科 43(13): 1747-1753, 2020

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

(シンポジウム【International】)

鉦之原健太郎, 福長洋介, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資

当院における大腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術 (Laparoscopy Endoscopy Cooperative surgery-colorectal ; LECS-CR) の手術成績

第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

(ワークショップ【International】)

秋吉高志, 森 誠一, 清谷一馬, 向井俊貴, 長壽寿也, 山口智弘, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資

Immunogenomic profiles associated with response to neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with advanced low rectal cancer

第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

(サージカルフォーラム)

中西良太, 秋吉高志, 清住雄希, 澤田隆一郎, 田島ジェシー雄, 深田浩志, 鉦之原健太郎, 江本 慎, 平山和義, 永岡智之, 松井信平, 村橋 賢, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資, 福長洋介

Treatment strategy for patients with locally recurrent rectal cancer

第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

長山 聡, 岡本拓也, 八尾良司, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 上野雅資, 高橋 祐, 福長洋介
大腸癌原発巣と転移巣のシングルセルゲノミクスから見た治療戦略

第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

清住雄希, 長壽寿矢, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資, 福長洋介
直腸癌術後における肛門機能障害の評価とリスク因子の検討

第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

長山 聡, 奥村慎太郎, Siew-KeeLow, 片山量平, 原 英二, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 上野雅資, 福長洋介

臨床検体を活用した大腸癌関連橋渡し研究

第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

松井信平, 福長洋介, 上野雅資, 長山 聡, 小西 毅, 秋吉高志, 長壽寿矢, 向井俊貴

腹腔鏡下括約筋間直腸切除術における細径鉗子の利用と pull through 再建による低侵襲治療

第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

向井俊貴, 秋吉高志, 長壽寿矢, 福長洋介, 山口智弘, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資

他臓器合併切除を伴う局所進行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績

第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

村橋 賢, 秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資, 福長洋介
術前治療を施行した進行直腸癌症例を用いた circulating tumor DNA と術後再発の関連解析

第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

澤田隆一郎, 秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資, 福長洋介
StageII/III 結腸癌に対する予後予測因子としての炎症性バイオマーカーの比較検討

第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

(デジタルポスター)

深田浩志, 福長洋介, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資

大腸癌同時性腹膜播種における R0 切除症例の手術成績と予後因子の検討

第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

長壽寿矢, 秋吉高志, 福長洋介, 向井俊貴, 山口智弘, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資
 当院における下部進行直腸癌に対する腹腔鏡手術手技の工夫
 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

(シンポジウム)

江本 慎, 秋吉高志, 深田浩志, 澤田隆一郎, 銚之原健太郎, 清住雄希, 村橋 賢, 田島ジェシー雄, 平山和義,
 中西良太, 永岡智之, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資, 福長洋介
 当院における下部直腸 gastrointestinal stromal tumor の治療成績

(第 120 回企画)

田島ジェシー雄, 長壽寿矢, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資, 福長洋介
 結腸癌患者に対する腹腔鏡手術後短期成績と Prognostic nutritional index (PNI) の関連について
 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

(ワークショップ)

深田浩志, 秋吉高志, 日吉幸晴, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介
 結腸直腸悪性腫瘍に対する腹腔鏡下 v.s. 開腹骨盤内臓全摘術: 周術期転帰の比較
 第 58 回日本癌治療学会学術集会, 2020 年 10 月, Web 開催

(研修医セッション)

山口智弘
 座長: 直腸 1
 第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 10 月, Web 開催

(一般示説)

佐野修平, 福長洋介, 田島ジェシー雄, 清住雄希, 日吉幸晴, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志,
 小西 毅, 長山 聡, 阿江啓介, 船内雄生
 術中ナビゲーションシステムを用いて高位仙骨部分切除で R0 切除しえた
 第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 10 月, Web 開催

(要望演題)

藤原 玄, 長壽寿矢, 福長洋介, 小西 毅, 秋吉高志, 山口智弘, 向井俊貴, 日吉幸晴
 Ileostomy に関する諸問題: 当院における一時的回腸瘻造設後の outlet obstruction 発症例の検討
 第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 10 月, Web 開催

(パネルディスカッション)

福長洋介, 長山 聡, 小西 毅, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 向井俊貴, 日吉幸晴
 Minimally invasive surgery へ - 安全な手術手技の継承と創造 - 当院における大腸癌に対する腹腔鏡下手術手技の変遷とその継承
 第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 10 月, Web 開催

(シンポジウム)

長山 聡, 池田篤志, 奥村慎太郎, 井上善景, 日吉幸晴, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅,
 福長洋介
 臨床外科領域におけるトランスレーショナル研究のあり方: 臨床検体を活用した大腸癌関連橋渡し研究
 第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 10 月, Web 開催

(シンポジウム)

福長洋介, 長山 聡, 小西 毅, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 向井俊貴, 日吉幸晴
 当科における直腸癌手術に対する最適なアプローチ法
 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020 年 11 月, Web 開催

(パネルディスカッション)

秋吉高志, 深田浩志, 澤田隆一郎, 清住雄希, 田島ジェシー雄, 向井俊貴, 長壽寿矢, 山口智弘, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介

当院における腹腔鏡下骨盤内臓全摘術の手術手技と治療成績

第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020 年 11 月, Web 開催

(ワークショップ)

清住雄希, 福長洋介, 向井俊貴, 日吉幸晴, 長壽寿矢, 山口智弘, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 千野晶子, 斎藤彰一

直腸 NET に対する内視鏡治療後の追加切除基準に関する検討

第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020 年 11 月, Web 開催

(ワークショップビデオ)

向井俊貴, 秋吉高志, 日吉幸晴, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介

当科における TaTME 併用腹腔鏡下 ISR の手技と治療成績

第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020 年 11 月, Web 開催

(要望演題)

澤田隆一郎, 向井俊貴, 日吉幸晴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介

直腸癌術後の直腸腔瘻に対して薄筋弁充填による閉鎖術にて根治を得た 4 症例の検討

第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020 年 11 月, Web 開催

天野隆皓, 向井俊貴, 田口千蔵, 田島ジェシー雄, 日吉幸晴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介

術前化学放射線治療後に手術拒否により再増大した下部進行直腸癌に対して放射線再照射後に骨盤内臓全摘術を施行した 1 例

第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020 年 11 月, Web 開催

太田絵美, 福長洋介, 日吉幸晴, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡

直腸癌術後の孤立性腔再発に対して腔部分切除を行い長期生存が得られた 1 例

第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020 年 11 月, Web 開催

(一般演題)

山口智弘: 座長

大腸: ロボット手術 4

第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催

長山 聡, 清谷一馬, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 福長洋介

大腸癌患者のリンパ節 T 細胞の解析と免疫療法への応用

第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催

向井俊貴, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介

当科における下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績

第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催

鉦之原健太郎, 秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介

前立腺癌の既往を有する直腸癌症例に対する腹腔鏡下根治切除の手術成績

第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催

永岡智之, 福長洋介, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡

下部直腸癌に対する腹腔鏡下括約筋間直腸切除術の短期および長期成績

第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催

澤田隆一郎, 長壽寿矢, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介
 当院での結腸癌治療成績における左右差の比較検討
 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催

江本 慎, 福長洋介, 富永哲郎, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡
 大腸癌同時性傍大動脈リンパ節転移切除症例の検討
 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催

(ビデオシンポジウム)

Toshiya Nagasaki, Takashi Akiyoshi, Toshiki Mukai, Tomohiro Yamaguchi, Tsuyoshi Konishi,
 Satoshi Nagayama, Yosuke Fukunaga
 The short- and long-term outcomes of patients who underwent lateral pelvic lymph node dissection.
 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催

(要望演題)

清住雄希, 長壽寿矢, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介
 直腸癌術後における肛門機能障害の評価とリスク因子の検討
 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催

秋吉高志, 村橋 賢, 向井俊貴, 長壽寿也, 山口智弘, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資, 福長洋介
 当院における進行直腸癌に対する watch and wait の治療成績
 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催

深田浩志, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介
 膀胱浸潤を伴う結腸癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績
 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催

(主題関連演題)

田島ジェシー雄, 向井俊貴, 長壽寿矢, 山口智弘, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介
 当科における 80 歳以上高齢者大腸癌患者における術後短期長期成績の検討
 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, Web 開催

(テレカレファレンス)

山口智弘
 日本におけるロボット手術の現状と今後の将来展望
 第 13 回日本ロボット外科学会学術集会, 2021 年 1 月, Web

(シンポジウム)

山口智弘, 秋吉高志, 清住雄希, 田島ジェシー雄, 向井俊貴, 日吉幸晴, 長壽寿矢, 長山 聡, 福長洋介
 ロボット支援下腹腔鏡下直腸手術の利点と問題点の解決策について
 第 33 回日本内視鏡外科学会総会, 2021 年 3 月, Web 開催

山口智弘, 野村明成: 司会
 直腸癌に対するロボット支援下腹腔鏡下手術の現状と展望 およびエビデンス
 第 33 回日本内視鏡外科学会総会, 2021 年 3 月, Web 開催

(デジタルポスター)

山口智弘, 金澤旭宣: 司会
 結腸 2
 第 33 回日本内視鏡外科学会総会, 2021 年 3 月, Web 開催

(ランチオンセミナー)

山口智弘
 大腸体腔内吻合の実際
 第 29 回日本癌病態治療研究会, 2021 年 1 月, 誌上開催

(モーニングセミナー)

山口智弘

直腸癌手術の最前線

第94回大腸癌研究会, 2021年1月, Web開催

(学術共催セミナー)

山口智弘

DST 吻合における私の Zero Complications+ ～これまでの経験を踏まえて～

第57回日本腹部救急医学会総会, 2021年3月, Web開催

【講演】

山口智弘

「腹腔鏡下大腸切除術に対する体腔内吻合」

COVIDIEN ゼロコン+シアター「結腸癌に対する体腔内吻合」(事前録画映像上映), 2020年5月, Web開催

山口智弘

「結腸体腔内吻合の安全な導入に向けて」

ゼロコン+ Web シアター, 2020年9月, Web開催

山口智弘

横行結腸

Minimally Invasive Therapies Seminar for Colorectal -The 5th-「大腸癌に対する MIS」, Web開催

2020年10月, Web開催

山口智弘

ロボット手術の習熟と育成 サージョン育成・トレーニング

第2回ロボット大腸切除術勉強会, 2020年10月, Web開催

山口智弘

直腸癌に対する術前化学放射線治療後の選択的側方郭清

Discovery of Colorectal Surgical Oncology Seminar – beyond surgical approach-

第1回「側方リンパ節郭清」, 2020年10月, Web開催

山口智弘

体腔内吻合

THE 3rd INTRACORPOREAL ANASTOMOSIS HANDS-ON SEMINAR, 2020年11月, Web開催

山口智弘

ダビンチ手術について 直腸がん治療の今

～ da Vinci 手術、集学的治療 Watch and Wait ～, 2020年12月, Web開催

山口智弘

技術認定取得のためのポイント

下部消化管腹腔鏡下手術セミナー, 2021年2月, Web開催

山口智弘

直腸癌に対するロボット手術と集学的治療

第65回神奈川大腸疾患研究会, 2021年2月, Web開催

山口智弘

体腔内吻合

THE 4th INTRACORPOREAL ANASTOMOSIS HANDS-ON SEMINAR, 2021年3月, Web開催

山口智弘

超音波凝固切開装置の使い方

e-Thoth コヴィディエンジャパン株式会社, 2021年3月, Web開催

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 外科

【論文発表】

〈和文学術論文〉

長野心太, 久保田良浩, 高岸智子, 篠塚 淳, 青木昭和
妊娠中に再発した Ladd 手術後の中腸軸捻の 1 例
日本臨床外科学会雑誌 81(7), 2020

下松谷匠, 竹内 豪, 三村和哉, 仲原英人, 我如古理規, 水野 礼, 橋本恭一, 日並淳介, 久保田良浩
Paclitaxel-Ramucirumab 療法による化学療法中に特発性脊髄硬膜外血腫を来した胃癌の 1 例
癌と化学療法 48(2), 2021

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

(デジタルポスター)

下松谷匠, 竹内 豪, 松木豪志, 青山諒平, 松山剛久, 仲原英人, 高岸智子, 橋本恭一, 日並淳介, 金児 潔,
久保田良浩
閉塞性大腸癌に対する bridging to surgery としての大腸ステント留置の経験
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, 横浜

(特別演題)

我如古理規, 三村和哉, 水野 礼, 橋本恭一, 久保田良浩, 下松谷卓偉, 三瀬圭一, 仲井 理
これからの外科教育 外科教育における Entrustable Professional Activities (EPA) と当院での EPA 導入の試み
第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 10 月, 大阪

(腫瘍関連演題)

水野 礼, 竹内 豪, 三村和哉, 我如古理規, 久保田良浩, 下松谷匠, 仲井 理
急性胆嚢炎に対する PTGBD 後の胆嚢摘出術施行時期の検討
第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 10 月, 大阪

(要望演題)

下松谷匠, 三村和哉, 我如古理規, 水野 礼, 久保田良浩, 仲井 理
当院における閉塞性大腸癌に対するステント留置の成績
第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 10 月, 大阪

仲原英人, 下松谷匠, 竹内 豪, 三村和哉, 我如古理規, 水野 礼, 久保田良浩, 仲井 理
総合病院における下肢静脈瘤に対する日帰り手術の現状
第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 10 月, 大阪

(一般口演)

竹内 豪, 久保田良浩, 仲井 理, 三瀬圭一, 下松谷匠, 水野 礼, 我如古理規, 仲原英人, 三村和哉
von Recklinghausen 病に合併した多発小腸 GIST の 1 例
第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 10 月, 大阪

下松谷匠, 竹内 豪, 三村和哉, 仲原英人, 我如古理規, 水野 礼, 橋本恭一, 日並淳介, 久保田良浩, 仲井 理
閉塞性大腸癌に対する bridging to surgery としての大腸ステント留置の経験
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020 年 11 月, 横浜

三村和哉, 久保田良浩, 長野心太
胃軸捻転症に対し腹腔鏡下胃固定術を施行した 1 例
第 56 回日本小児外科学会近畿地方会, 2020 年 8 月, 京都

(ポスター)

青山諒平, 下松谷匠, 竹内 豪, 松木豪志, 松山剛久, 仲原英人, 高岸智子, 橋本恭一, 日並淳介, 久保田良浩
切除不能胃癌からの出血に対し TAE が有効であった一例

第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, 和歌山

竹内 豪, 下松谷匠, 青山諒平, 松山剛久, 仲原英人, 高岸智子, 橋本恭一, 日並淳介, 金児 潔, 久保田良浩
肺癌胃転移の一切切除例

第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, 和歌山

日並淳介, 竹内 豪, 松木豪志, 青山諒平, 松山剛久, 仲原英人, 高岸智子, 久保田良浩, 金児 潔, 下松谷匠
2 次性大動脈十二指腸瘻の 2 症例

第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, 和歌山

松山剛久, 竹内 豪, 松木豪志, 青山諒平, 仲原英人, 高岸智子, 橋本恭一, 日並淳介, 下松谷匠, 久保田良浩
当院における急性虫垂炎の治療成績と複雑性虫垂炎に対する腹腔鏡下手術の検討

第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, 和歌山

下松谷匠, 竹内 豪, 青山諒平, 松山剛久, 仲原英人, 高岸智子, 橋本恭一, 日並淳介, 金児 潔, 久保田良浩
閉塞性大腸癌に対する bridge to surgery としての大腸ステント留置の経験

第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, 和歌山

高岸智子, 竹内 豪, 松木豪志, 仲原英人, 橋本恭一, 日並淳介, 下松谷匠, 金児 潔, 久保田良浩, 増田道彦
直腸癌骨盤内再発に対するサドルブロックの有用性について

第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, 和歌山

医療法人誠光会 淡海医療センター (旧: 草津総合病院) 呼吸器外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

(ポスター)

林 一喜, 余田 誠, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩恭彦, 花岡 淳
人工血管気管支瘻に対して胸部ステントグラフト内挿術で良好な経過を得た一例

第 43 回日呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020 年 6 月, 旭川 (紙上)

(ミニオーラル)

林 一喜, 余田 誠, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩恭彦, 花岡 淳
原発性肺癌手術における術後循環器・呼吸器合併症発生リスク因子の検討

第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月, web 開催, 東京

医療法人誠光会 淡海医療センター (旧: 草津総合病院) 消化器外科

【論文発表】

〈和文学術論文〉

水本明良, 高尾信行, 一瀬真澄, 基 俊介, 野口耕右, 平野正満, 米村 豊
大腸癌腹膜播種に対する cytoreductive surgery と温熱化学療法

日本大腸肛門病学会雑誌 37(4), 2020

水本明良

小腸運動

日本消化器病学会雑誌 118(2), 2021

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

(ワークショップ)

水本明良

卵巣癌腹膜播種に対する腹膜切除術と温熱化学療法の治療成績
第45回日本外科系連合学会学術集会, 2020年12月, web開催

(一般演題)

戸川 剛, 小座本雄軌, 大江康光, 山本有香子, 東 長佳, 萩原明於, 柏木厚典
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術 (LSG) 施行後5年以降長期経過例の成績
第38回日本肥満症治療学会学術集会, 2021年3月, 富山

小座本雄軌, 大江康光, 山本有香子, 東 長佳, 柏木厚典, 萩原明於, 戸川 剛
BMI80超えの超高度肥満に対する治療経験
第38回日本肥満症治療学会学術集会, 2021年3月, 富山

大江康光, 小座本雄軌, 山本有香子, 東 長佳, 萩原明於, 戸川 剛
巨大な腹壁癒痕ヘルニアを有する高度肥満症に対するLSGと2期的ヘルニア根治術
第38回日本肥満症治療学会学術集会, 2021年3月, 富山

水本明良

虫垂原発腹膜偽粘液腫の術前腫瘍マーカーによる腹膜切除の予後予測
第120回日本外科学会定期学術集会, 2020年8月, web開催

水本明良

腹膜癌に対する腹膜切除術と温熱化学療法の治療成績,
第75回日本消化器外科学会総会, 2020年12月, web開催

高尾信行

クラスターが発生した病院におけるDMAT派遣活動
第26回日本災害医学学会総会, 2021年3月, web開催・東京

一瀬真澄

腹壁癒痕ヘルニアに対するposterior component separation法の2例
第18回日本ヘルニア学会学術集会, 2020年11月, 和歌山

一瀬真澄

ニボルマブが奏した悪性腹膜中皮腫の1例
第75回日本消化器外科学会総会, 2020年12月, web開催

近江八幡市立総合医療センター 心臓血管外科

【論文発表】

〈和文学術論文〉

畔柳智司, 東上震一, 薦岡成年, 平松範彦, 松林景二
Stanford A型急性大動脈解離に対する治療戦略
胸部外科 73(8): 563-571, 2020

松林景二, 宮下史寛

術中肺動脈カテーテル穿孔による気管内大量出血に対して保存的治療が奏した大動脈弁手術の1例
胸部外科 73(9): 700-703, 2020

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

乃田浩光, 松林景二

下肢虚血を起こす浮遊血栓を認める総腸骨動脈瘤に対する EVAR 術後に脊髄梗塞を呈した 1 例
第 48 回日本血管外科学会学術総会, 2020 年 11 月, 東京 (WEB 配信)

医療法人伯鳳会 大阪中央病院 肛門外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

(Oral Session 要望演題)

村山浩之, 家田淳司, 小野朋二郎, 齊藤徹

Rectocele に対する肛門括約筋形成術—会陰体縫合による—

第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020 年 11 月, Web 開催 (横浜)

きづきクリニック

【論文発表】

〈和文学術論文〉

木築野百合

滋賀県における開業医の働き方について

滋賀医学 43: 16-29, 2021

国立病院機構 京都医療センター 呼吸器外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

(口演)

益本貴人, 堀本かな, 武田恵子, 橋本雅之, 澤井 聡

胸腔鏡の併用が有用であった肺尖部腫瘍切除の一例

第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月, WEB 開催

益本貴人, 武田恵子, 橋本雅之, 澤井 聡

肺動脈・肺静脈と交通した肺葉外肺分画症の一切除例

第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月, WEB 開催

橋本雅之, 武田恵子, 澤井 聡, 元石 充, 大塩麻友美

当院におけるダ・ヴィンチシステム運用の現状

第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月, WEB 開催

(ポスター)

橋本雅之, 余田 誠, 武田恵子, 澤井 聡, 大塩麻友美

薬剤性うっ血性心不全に対しオシメルチニブ減量により治療継続可能であった 2 例

第 61 回日本肺癌学会学術集会, 2020 年 11 月, 岡山

橋本雅之, 益本貴人, 余田 誠, 武田恵子, 大塩麻友美, 澤井 聡
未診断症例に対するロボット支援下手術の実際
第 61 回日本肺癌学会学術集会, 2020 年 11 月, 岡山

日本赤十字社 京都第一赤十字病院 乳腺外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

糸井尚子, 北野早映, 本田晶子, 李 哲柱
乳がん患者に生じた静脈血栓塞栓症に対する治療経験
第 28 回乳癌学会総会, 2020 年 10 月, 名古屋

本田晶子, 北野早映, 糸井尚子, 李 哲柱
Pulmonary tumor thrombotic microangiopathy (PTTM) が疑われた転移性乳癌の 2 例
第 28 回乳癌学会総会, 2020 年 10 月, 名古屋

北野早映, 本田晶子, 糸井尚子, 李 哲柱
当院における HER2 陽性乳癌に対する術前化学療法としての taxan+trastuzumab+pertuzumab 併用療法の検討
第 28 回乳癌学会総会, 2020 年 10 月, 名古屋

【講演】

糸井尚子 (特別講演)
CDK4 及び 6 阻害薬 ベーゾニオの有効性
BC Nurse Seminar, 2020 年 11 月, 京都

糸井尚子 (パネリスト)
ゲノム医療 検査の実際 - 検査の流れと遺伝カウンセリング -
CRPC の個別化治療を考える - リンパ腺癌適応追加記念講演会 -, 2021 年 2 月, 京都

糸井尚子: 総司会, 座長
第 3 回 BCCDK Female web ミーティング, 2021 年 3 月, web 開催

医療法人社団仁生会 甲南病院 外科

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Tsuyoshi Yamaguchi, Hiroshi Yamamoto, Yuki Tomozawa, Satoshi Ugi, Sachiko Kaida, Toru Miyake,
Katsutarō Morino, Yoshiyuki Watanabe
Geometry of Sleeve Gastrectomy Measured by 3D CT Versus Weight Loss: Preliminary Analysis
World Journal of Surgery, 45(1): 235-242, 2020

Masayuki Ohta, Yosuke Seki, Tetsuji Ohyama, Rixing Bai, Sang Hyun Kim, Takashi Oshiro, Tao Jiang, Akira Sasaki,
Takeshi Naitoh, Tsuyoshi Yamaguchi, Susumu Inamine, Yasuhiro Miyazaki, Soo Min Ahn, Yoonseok Heo, Hui Liang,
Seung Ho Choi, Wah Yang, Qiyuan Yao, Kentaro Inoue, Hiroshi Yamamoto, Hyuk-Joon Lee, Young Suk Park,
Tae Kyung Ha, Seung-Wan Ryu, Cunchuan Wang, Sungsoo Park, Kazunori Kasama
Prediction of Long-Term Diabetes Remission After Metabolic Surgery in Obese East Asian Patients: a Comparison
Between ABCD and IMS Scores
Obesity Surgery, 31(4): 1485-1495, 2021

〈和文学術論文〉

山本寛

多施設共同研究：高度肥満症に対する肥満外科治療の費用対効果に関する研究とその現状報告
肥満症治療学展望 8 (3) : 37, 2021 年

山本寛

肥満代謝外科手術と Precision Medicine/ 個別化医療
実験医学 (増刊), 39(5) : 208-213, 2021 年

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

山本 寛, 神谷純広

Current status and future perspective regarding the cost of bariatric surgery in Japan.
第 33 回日本内視鏡外科学会総会, 2021 年, 横浜

地方独立行政法人 公立甲賀病院 呼吸器外科

【学会発表】

〈国際学会〉

Yoko Kataoka, Takuya Fujita, Jun Hanaoka

CANCER-ASSOCIATED FIBROBLASTS IN METASTATIC MEDIASTINAL LYMPH NODES SERVE AS A
PREDICTOR FOR TUMOR RECURRENCE IN PN2 NON-SMALL CELL LUNG CANCER.

1st European Conference on General Thoracic Surgery Virtual Meeting, 2021 Oct, Virtual Meeting

〈全国学会・地方会・その他〉

(示説)

片岡瑛子, 藤田琢也

術中迅速病理検査で悪性と診断された良性孤立性肺結節の 2 症例
第 61 回日本肺癌学会学術集会, 2020 年 11 月, 岡山

藤田琢也, 片岡瑛子

嚢胞性病変を呈した肺扁平上皮癌胸壁転移の一切除例
第 61 回日本肺癌学会学術集会, 2020 年 11 月, 岡山

片岡瑛子, 藤田琢也

肺切除後術側に発症した急性好酸球性肺炎の 1 例
第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020 年 7 月, 旭川

片岡瑛子, 五十嵐知之, 藤田琢也, 花岡 淳

非小細胞肺癌におけるがん幹細胞マーカー発現の臨床的意義
第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月, WEB 開催

片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 藤田琢也, 花岡 淳

非小細胞肺癌において核における RUNX1 の発現は術後再発予測因子である
第 79 回日本癌学会学術総会, 2020 年 10 月, 広島

独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院 外科

【論文発表】

〈和文学術論文〉

児玉創太, 内藤弘之, 八木俊和, 辰巳征浩, 長澤芳信, 木田陸士, 来見良誠
術前に巨大肝嚢胞に対してドレナージ術を施行した食道裂孔ヘルニアの1例
滋賀医科大学雑誌 33:23, 2020

大恵匡俊

Meckel 憩室が嵌頓した大腿ヘルニアの1例
日本腹部救急医学会雑誌, 41(1): 75-78, 2021

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

(一般演題)

児玉創太, 八木俊和, 内藤弘之, 木田陸士, 辰巳征浩, 来見良誠
術前化学療法のSOX療法が奏功した進行胃癌の1例
第75回消化器外科学会総会, 2020年12月, 和歌山

(デジタルポスター)

児玉創太, 辰巳征浩, 八木俊和, 内藤弘之
当科における超高齢者に対する全身麻酔下消化器外科手術症例の現状と問題点
第120回外科学会定期学術集会, 2020年8月, 横浜

児玉創太, 八木俊和, 松下貴和, 木田陸士, 大恵匡俊, 来見良誠
肝腫瘍に対する重粒子線治療後発症の横隔膜ヘルニアに対し腹腔鏡下根治術施行した一例
第33回日本内視鏡外科学会総会, 2021年3月, 横浜

児玉創太, 八木俊和, 木田陸士, 大恵匡俊, 来見良誠
臍及び腹壁癒痕ヘルニアに対する腹腔鏡下手術におけるメッシュ固定法の工夫
第33回日本内視鏡外科学会総会, 2021年3月, 横浜市

(口演)

木田陸士, 辰巳征浩, 児玉創太, 大恵匡俊, 梅田朋子, 八木俊和, 来見良誠
食道裂孔ヘルニアに対して腹腔鏡下に根治術を施行した5例
第117回滋賀県外科医会, 2020年10月, web開催(大津)

辰巳征浩, 八木俊和, 梅田朋子, 大恵匡俊, 児玉創太, 木田陸士, 来見良誠
当院での超高齢者の腹部外科手術症例における術前リスク評価の検討
第203回近畿外科学会, 2020年9月, web開催(大阪)

独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院 乳腺外科

【論文発表】

〈和文学術論文〉

澤田佳奈, 梅田朋子, 河合由紀, 富田香, 北村美奈, 辰巳征浩, 油木映里, 坂井幸子, 加藤久尚, 森毅,
清水智治, 安藤厚生, 花岡淳, 森谷鈴子, 谷真至
乳癌術後15年目に発生した放射線誘発骨肉腫の一例(原著論文/症例報告)
滋賀医大雑誌 33(1): 1-4, 2020

梅田朋子, 田中壮一, 共田義秀
病院から病院へ、医院から医院へ 423. 男性の乳腺疾患
大津市医師会雑誌 33(1) 1-4, 2020

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉
(ポスター)

辰巳征浩, 梅田朋子, 内藤弘之, 八木俊和, 木田睦士, 児玉創太, 村上智子, 谷 眞至, 来見良誠
術前補助化学療法 (DTX → FEC) 中に網膜静脈閉塞および黄斑浮腫を発症した 1 例
第 28 回日本乳癌学会総会, 2020 年 10 月, web (愛知)

梅田朋子, 内藤弘之, 辰巳征浩, 八木俊和, 木田睦士, 児玉創太, 谷 眞至, 来見良誠
当院における高齢者乳癌患者の診療に関する検討
第 28 回日本乳癌学会総会, 2020 年 10 月, web 開催 (愛知)

本田郁子, 河合由紀, 北村美奈, 富田 香, 油木純一, 坂井幸子, 森 毅, 梅田 朋子, 谷 眞至
オラパリブによりすみやかに嗄声の改善を得た BRCA 変異陽性再発乳癌の 1 例
第 28 回日本乳癌学会総会, 2020 年 10 月, web 開催 (愛知)

河合由紀, 富田 香, 北村美奈, 油木純一, 坂井幸子, 森 毅, 梅田朋子, 森谷鈴子, 目片英治, 谷 眞至
同時性 1 側に乳腺浸潤性小葉癌、扁平上皮癌、浸潤性乳管癌が混在した 1 例
第 28 回日本乳癌学会総会, 2020 年 10 月, web 開催 (愛知)

富田 香, 河合由紀, 油木純一, 北村美奈, 坂井幸子, 森 毅, 山口 剛, 猪飼信康, 能島 舞, 森谷鈴子,
梅田朋子, 目片英治, 谷 眞至
両側乳房全切除術に至った両側異時性肉芽腫性乳腺炎の一例
第 28 回日本乳癌学会総会, 2020 年 10 月, web 開催 (愛知)

北村美奈, 富田 香, 河合由紀, 森 毅, 梅田朋子, 清水智治, 谷 眞至
当院における BRCA 遺伝子検査と遺伝カウンセリングの現状について
第 28 回日本乳癌学会総会, 2020 年 10 月, web 開催 (愛知)

静岡県立 静岡がんセンター 肝胆膵外科

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Nitta N, Ohgi K, Sugiura T, Okamura Y, Ito T, Yamamoto Y, Ashida R, Sasaki K, Uesaka K.
Prognostic Impact of Pancreatic Invasion in Duodenal Carcinoma: A Single-Center Experience.
Ann Surg Oncol. 27(11): 4553-4560, 2020

Nitta N, Ohgi K, Sugiura T, Okamura Y, Ito T, Yamamoto Y, Ashida R, Otsuka S, Sasaki K, Uesaka K.
Prognostic Impact of Paraaortic Lymph Node Metastasis in Extrahepatic Cholangiocarcinoma.
World J Surg. 45(2): 581-589, 2021

Nitta N, Yamamoto Y, Sugiura T, Okamura Y, Ito T, Ashida R, Ohgi K, Otsuka S, Sasaki K, Uesaka K.
Middle segment-preserving pancreatectomy for multifocal pancreatic ductal adenocarcinoma located in the head and tail of the pancreas: a case report.
J Surg Case Rep. 2020(10): 1-4, 2020

静岡県立 静岡がんセンター 食道外科

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Yamamoto S, Kato K, Daiko H, Kojima T, Hara H, Abe T, Tsubosa Y, Nagashima K, Aoki K, Mizoguchi Y, Kitano S, Yachida S, Shiba S, Kitagawa Y.

Feasibility study of nivolumab as neoadjuvant chemotherapy for locally esophageal carcinoma: FRONTIER (JCOG1804E).

Future Oncol. 16(19): 1351-1357, 2020

Booka E, Haneda R, Ishii K, Tsushima T, Yasui H, Tsubosa Y.

The Negative Impact of Preoperative Chemotherapy on Survival After Esophagectomy for Vulnerable Elderly Patients with Esophageal Cancer.

Ann Surg Oncol. 28(3): 1786-1795, 2021

Fujiya K, Terashima M, Ohshima K, Aizawa D, Sugino T, Serizawa M, Nakamura K, Nagashima T, Hatakeyama K, Urakami K, Akiyama Y, Tsubosa Y, Kitagawa Y, Yamaguchi K.

MAGEA10 expression is a predictive marker of early hepatic recurrence after curative gastrectomy for gastric and gastroesophageal junction cancer.

Gastric Cancer 24(2): 341-351, 2021

Ishii K, Tsubosa Y, Niihara M, Akai T, Soneda W.

Palliative radiotherapy to maintain outpatient status in elderly patients with esophageal carcinoma.

Ann Palliat Med.10(2): 1779-1783, 2021

Niihara M, Tsubosa Y, Yamashita A, Mori K, Tsumaki H, Onozawa Y, Fukuda H.

Supplemental enteral tube feeding nutrition after hospital discharge of esophageal cancer patients who have undergone esophagectomy.

Esophagus.2021, Epub ahead of Print

Ishii K, Tsubosa Y, Nakao J, Haneda R, Ishii Y, Booka E, Mayanagi S, Araki J, Yasunaga Y, Nakagawa M.

Utility of the evaluation of blood flow of remnant esophagus with indocyanine green in esophagectomy with jejunum reconstruction: Case series.

Ann Med Surg (Lond).5:62:21-25, 2020

Haneda R, Booka E, Ishii K, Kikuchi H, Hiramatsu Y, Kamiya K, Ogawa H, Yasui H, Takeuchi H, Tsubosa Y.

Evaluation of Definitive Chemoradiotherapy Versus Radical Esophagectomy in Clinical T1bN0M0 Esophageal Squamous Cell Carcinoma.

World J Surg. 45(6): 1835-1844, 2021

Haneda R, Booka E, Ishii K, Kikuchi H, Hiramatsu Y, Kamiya K, Aramaki T, Takeuchi H, Tsubosa Y.

Postoperative chylothorax with a duplicated left-sided thoracic duct: a case report and review of the literature.

Gen Thorac Cardiovasc Surg. 68(11): 1350-1353, 2020

Booka E, Haneda R, Ishii K, Kawakami T, Tsushima T, Yasui H, Onoe T, Ogawa H, Tsubosa Y.

Appropriate Candidates for Salvage Esophagectomy of Initially Unresectable Locally Advanced T4 Esophageal Squamous Cell Carcinoma.

Ann Surg Oncol. 27(9): 3163-3170, 2020

〈和文学術論文〉

坪佐恭宏, 谷澤 豊, 上坂克彦, 玉井 直

希望と安心をもたらす医療安全管理 無過失補償制度の可能性も含めて

静岡県立静岡がんセンターにおける外科領域での医療安全管理の経験と今後の課題

日本外科学会雑誌 122(1): 117-119, 2021

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

(Oral Session)

佐藤 弘, 宮脇 豊, 藤原直人, 梶田浩文, 合川公康, 桜本信一, 岡本光順, 山口茂樹, 小山 勇, 坪佐恭宏
リンパ球数を基にした胸部食道癌に対する術前化学療法の効果予測

第74回日本食道学会学術集会, 2020年12月, Web開催

羽田綾馬, 坊岡英祐, 石井賢二郎, 坪佐恭宏

頸部食道胃管吻合における collard 変法の短期成績

第74回日本食道学会学術集会, 2020年12月, Web開催

坪佐恭宏, 石井賢二郎, 坊岡英祐, 羽田綾馬, 中村健一, 上村将夫, 新田信人

側臥位胸腔鏡下食道切除術の定型化 中下縦隔操作を中心に

第74回日本食道学会学術集会, 2020年12月, Web開催

坊岡英祐, 羽田綾馬, 石井賢二郎, 坪佐恭宏

stage IV 食道癌に対する治療戦略 (領域横断的セッション)cT4b 食道癌に対する dCRT およびサルベージ手術の成績

第74回日本食道学会学術集会, 2020年12月, Web開催

石井賢二郎, 坪佐恭宏, 坊岡英祐, 羽田綾馬, 伏屋洋志, 神田亨, 山下亜依子

周術期食道癌チーム医療の最前線 食道癌根治術周術期管理での嚥下・食事におけるシームレスな新たな取り組み

第74回日本食道学会学術集会, 2020年12月, Web開催

岡山太郎, 石井 健, 羽田綾馬, 坊岡英祐, 石井賢二郎, 伏屋洋志, 坪佐恭宏

周術期食道癌チーム医療の最前線 食道がん術後の運動耐容能に与える因子についての検討

第74回日本食道学会学術集会, 2020年12月, Web開催

石井賢二郎, 坪佐恭宏, 坊岡英祐, 羽田綾馬

弱点である中下縦隔操作の簡便化の工夫を伴う左側臥位胸腔鏡下食道切除術の定型化

第75回日本消化器外科学会総会, 2020年12月, Web開催

羽田綾馬, 坊岡英祐, 石井賢二郎, 坪佐恭宏

胸部食道癌 cT1bN0M0 に対する治療選択を検討する

第75回日本消化器外科学会総会, 2020年12月, Web開催

坊岡英祐, 羽田綾馬, 石井賢二郎, 坪佐恭宏

cT4b 食道癌に対するサルベージ手術の治療方針と成績

第75回日本消化器外科学会総会, 2020年12月, Web開催

藤谷啓一, 寺島雅典, 大島啓一, 杉野 隆, 坪佐恭宏, 長嶋剛史, 浦上研一, 秋山靖人, 坂東悦郎, 山口 建

遺伝子発現情報を用いた胃癌術後肝再発に対する予測マーカーの探索

第79回日本癌学会学術総会, 2020年10月, 広島 (Web配信併用)

伏木邦博, 對馬隆浩, 白数洋充, 川上武志, 濱内 諭, 戸高明子, 横田知哉, 山崎健太郎, 福富 晃, 小野澤祐輔, 坂東悦郎,

坪佐恭宏, 寺島雅典, 安井博史

食道癌の治療戦略 Siewert TypeI, II 食道胃接合部腺がんにおける術前化学療法の安全性と有効性の検討

第58回日本癌治療学会学術集会, 2020年10月, Web開催

羽田綾馬, 坪佐恭宏, 石井賢二郎, 坊岡英祐

食道表在癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後非治癒切除症例に対する二次治療

第82回日本臨床外科学会, 2020年10月, Web開催

羽田綾馬, 坊岡英祐, 石井賢二郎, 森田剛文, 菊池寛利, 平松良浩, 竹内裕也, 坪佐恭宏

頸部食道胃管吻合における collard 変法の短期成績

第82回日本臨床外科学会, 2020年10月, Web開催

羽田綾馬, 坊岡英祐, 池亀 昂, 石井賢二郎, 坪佐恭宏
 当院における胸部食道癌 cT1bN0M0 に対する食道切除術と化学放射線療法の治療成績
 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

池亀 昂, 坊岡英祐, 羽田綾馬, 石井賢二郎, 坪佐恭宏
 郭清効果指数からみた頸部食道癌に対するリンパ節郭清効果の検討
 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

石井賢二郎, 坪佐恭宏, 坊岡英祐, 羽田綾馬, 池亀 昂
 食道胃接合部癌における縦隔・頸部リンパ節郭清での結果とその適応の実際
 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

坊岡英祐, 池亀 昂, 羽田綾馬, 石井賢二郎, 坪佐恭宏
 cT4b 食道癌に対するサルベージ手術の治療方針と成績
 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

坪佐恭宏, 谷澤 豊, 上坂克彦, 玉井 直
 当院における外科領域での医療安全管理の経験と今後の課題
 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web 開催

社会医療法人天神会 新古賀病院 外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

馬場活嘉, 久保顕博, 吉成美喜, 新上浩司, 山方伸茂, 宇治祥隆, 高尾貴史
 切除可能腭癌に対する術前化学療法への効果 (短期成績)
 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, 和歌山 (WEB)

(ワークショップ)

馬場活嘉, 東島宣宏, 吉成美喜, 新上浩司, 山方伸茂, 宇治祥隆, 池添清彦, 高尾貴史
 術中 ICG 蛍光法を用いた腭頭十二指腸切除術での artery-first approach における腭頭部流入血の評価
 第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 1 月, 大阪 (WEB)

(研修医)

渡邊秀隆, 馬場活嘉, 東島宣宏, 吉成美喜, 新上浩司, 山方伸茂, 宇治祥隆, 池添清彦, 高尾貴史
 Meckel 憩室内翻によって腸重積を来した一例
 第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 1 月, 大阪 (WEB)

积迦堂有貴, 馬場活嘉

腹腔鏡下肝右葉切除術を施行した肝血管筋脂肪腫の一例
 九州外科学会, 2021 年 2 月, 福岡 (WEB)

社会医療法人高清会 高井病院 乳腺外科

【論文発表】

〈和文学術論文〉

徳川奉樹, 生川賀代, 上野未智, 山崎静香, 小松 諭
ドセタキセルによる薬剤性浮腫への当科と連携施設での取り組み
日本リンパ浮腫治療学会雑誌 4(1): 42-47, 2021

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

徳川奉樹, 金子純子, 池谷奈緒子, 山崎静香, 石本 悠
乳がん診療に関連した浮腫みケアについての当院での取り組み
日本乳癌学会学術総会, 2020年10月, 名古屋

徳川奉樹, 米田勝晃, 北村正美, 生川賀代
3rd line の抗 HER2 薬と vinorelbine 併用療法が奏功している腎障害高齢者進行乳癌の1例
日本癌治療学会, 2020年10月, 京都

医療法人東和会 第一東和会病院 内視鏡外科センター

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

(ワークショップ)

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 水谷 真 他
Our outcomes of laparoscopic common bile duct exploration (LCBDE) using C-tube for 14years.
第33回日本内視鏡外科学会, 2021年3月, 横浜

医療法人医仁会 武田総合病院 呼吸器外科

【論文発表】

〈和文学術論文〉

鈴木雄治, 北村将司
肺容量減量手術の切除範囲に存在し切除できた COPD IV期合併肺癌の1例
日本臨床外科学会雑誌 81 (11) : 1353-1357, 2020

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

北村将司, 赤澤 彰, 鈴木雄治
喀血を契機に肺葉切除施行し診断された濾胞性細気管支炎の1例
第43回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020年6月, 旭川

北村将司, 赤澤 彰, 鈴木雄治
肺癌術後有癭性膿胸に対して大網充填術施行後, 横隔膜ヘルニアを認めた2例
第43回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020年6月, 旭川

北村将司, 赤澤 彰, 鈴木雄治
高度三尖弁閉鎖不全症を有する肺化膿症に右肺上葉切除術施行した1例
第37回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020年9月, WEB

北村将司, 赤澤 彰, 鈴木雄治
 当院で経験した特発性縦隔気腫 14 例の検討
 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月, WEB

北村将司, 苗村佑樹, 鈴木雄治
 胸壁浸潤を伴う両側同時性多発肺癌に対して二期的手術を施行した 1 例
 第 61 回日本肺癌学会学術集会, 2020 年 11 月, 岡山

苗村佑樹, 北村将司, 鈴木雄治
 自然気胸に対する胸腔鏡下手術におけるトリストープル TM リンフォースの有用性についての検討
 第 73 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2020 年 11 月, 名古屋

社会医療法人信愛会 暇生会脳神経外科病院 外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

村上耕一郎, 龍田 健, 田中久富, 跡地春仁, 村尾佳則
 他疾患で NSAID 投薬中に回腸憩室炎を発症し、翌日穿孔を来した症例
 第 57 回日本腹部救急医学会総会, 2021 年 3 月, web 開催, 東京

村上耕一郎, 龍田 健, 田中久富
 シネ MRI を用いて腸管運動を評価した偽性腸閉塞の一例
 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, hybrid 和歌山

日本赤十字社 長浜赤十字病院 外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

(ポスター)

塩見尚礼, 丹後泰久
 Examination of the treatment of acute cholecystitis at our hospital using the Tokyo guideline 2018
 treatment guidelines
 第 32 回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2020 年 6 月, web 開催, 東京

丹後泰久, 塩見尚礼
 A case of epidermoid cyst in an intrapancreatic accessory spleen showing cyst-in-cyst-like structure mimicking
 mucinous cystic neoplasm
 第 32 回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2020 年 6 月, web 開催, 東京

中村一郎, 塩見尚礼, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 園田寛道, 張 弘富, 丹後泰久, 中村誠昌
 ロボット支援下腹腔鏡下幽門側胃切除術の短期成績
 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, web 開催, 東京

園田寛道, 谷口正展, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 清水智治,
 谷 眞至
 一般市中病院における直腸癌に対するロボット支援腹腔鏡手術の有用性
 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, web 開催, 東京

(サージカルフォーラム)

塩見尚礼, 川島和彦, 神田雄史, 楠井 隆, 手繰忠善
圏域医師会主催の医師体験セミナーにおける外科医の役割
第120回日本外科学会定期学術集会, 2020年8月, web開催, 東京

(ワークショップ)

全 有美, 中村一郎, 三中淳史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 塩見尚礼
当院で施行した結腸癌に対する結腸右半切除術において、開腹群と腹腔鏡群の後方視的比較検討
第33回近畿内視鏡外科学会, 2020年9月, web

中村一郎, 三中淳史, 全 有美, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 丹後泰久, 中村誠昌, 塩見尚礼
ロボット支援下腹腔鏡下幽門側胃切除術における術式の工夫
第82回日本臨床外科学会総会, 2020年10月, 大阪 /Web

(シンポジウム)

谷口正展, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 三中淳史, 全 有美, 塩見尚礼
当院におけるロボット支援下直腸切除手術の経験
第82回日本臨床外科学会総会, 2020年10月, 大阪 /Web

(一般)

全 有美, 中村一郎, 三中淳史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 塩見尚礼
当院で施行した結腸癌に対する結腸右半切除術において、開腹群と腹腔鏡群の後方視的比較検討
第82回日本臨床外科学会総会, 2020年10月, 大阪 /Web

三中淳史, 谷口正展, 全 有美, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
胃内異物を腹腔鏡下に摘出した1症例
第82回日本臨床外科学会総会, 2020年10月, 大阪 /Web

三中淳史, 丹後泰久, 全 有美, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
腹腔鏡下S状結腸切除術後2ヶ月目に発症した遅発性縫合不全の1例
第117回滋賀県外科医会, 2020年10月, 大津 /Web

谷口正展, 中村誠昌, 原田吉将
シナカルセトからエボカルセト投与変更症例の検討
第65回日本透析医学会学術集会・総会, 2020年11月, Web

(デジタルポスター)

中村一郎, 中村誠昌
直腸癌肝転移術後肺転移を認めた食道癌に対して一期的外科治療を行った1例
第74回日本食道学会学術集会, 2020年12月, 徳島 /Web

中村一郎, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 園田寛道, 張 弘富, 丹後泰久, 中村誠昌, 塩見尚礼
進行再発胃癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の投与時期の検討
第75回日本消化器外科学会総会, 2020年12月, 和歌山 /Web

園田寛道, 谷口正展, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼,
清水智治, 谷 眞至
地域一般市中病院におけるロボット支援腹腔鏡下直腸低位前方切除術の初期成績
第75回日本消化器外科学会総会, 2020年12月, 和歌山 /Web

谷口正展, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 園田寛道, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
術前画像診断にて側方リンパ節転移陰性の下部直腸進行癌に対する側方郭清の必要性についての検討
第75回日本消化器外科学会総会, 2020年12月, 和歌山 /Web

東口貴之, 塩見尚礼, 村本圭史, 長門 優, 谷口正展, 園田寛道, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌
下部消化管穿孔に対する緊急手術時の計画的陰圧閉鎖療法の有用性
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, 和歌山 /Web

(パネルディスカッション)

中村誠昌

日本赤十字社が取り組んできた原子力災害時救護活動のこれまでとこれから
第 26 回日本災害医学会総会・学術集会, 2021 年 3 月, 東京 /Web

(一般)

中村誠昌, 押谷久美子, 富岡康弘, 金澤 豊

滋賀県基幹原子力災害拠点病院としての 10 年間の取組み

第 26 回日本災害医学会総会・学術集会, 2021 年 3 月, 東京 /Web

(ビデオシンポジウム)

丹後泰久, 塩見尚礼, 三中淳史, 全 有美, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌
当院における急性胆嚢炎に対する術前胆嚢ドレナージ症例の検討

第 57 日本腹部救急医学会総会, 2021 年 3 月, Web

(一般: 優秀演題)

全 有美, 三中淳史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
下腰ヘルニア嵌頓に対し、腹腔鏡下ヘルニア根治手術を施行した 1 例

第 204 回近畿外科学会, 2021 年 3 月, 奈良 /Web

【講演会】

塩見尚礼 (特別講演)

with コロナ時代を生き抜くために

第 50 期方針発表会記念講演会

(株) 甲賀高分子, 2020 年 9 月, 湖南

日本医科大学付属病院 消化器外科

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Yoshida Y, Yamada T, Kamiyama H, Kosugi C, Ishibashi K, Yoshida H, Ishida H, Yamaguchi S, Kuramochi H, Fukazawa A, Sonoda H, Yoshimatsu K, Matsuda A, Hasegawa S, Sakamoto K, Otsuka T, Koda K, TAS CC3 Study Group.

Combination of TAS-102 and bevacizumab as third-line treatment for metastatic colorectal cancer: TAS-CC3 study
Int J Clin Oncol, 26(1): 111-117, 2021

Matsuda A, Yamada T, Matsumoto S, Shinji S, Ohta R, Sonoda H, Shinozuka E, Sekiguchi K, Suzuki H, Yoshida H.
Prognostic Role of the Platelet-to-Lymphocyte Ratio for Patients With Metastatic Colorectal Cancer Treated With Afibercept.

In Vivo, 34(5): 2667-2673, 2020

Inoue A, Ota S, Nitta N, Murata K, Shimizu T, Sonoda H, Tani M, Ban H, Inatomi O, Ando A, Kushima R, Watnabe Y.
Difference of computed tomographic characteristic findings between gastric and intestinal gastrointestinal stromal tumors.

Jpn J Radiol, 38(8): 771-781, 2020

Matsuda A, Yamada T, Jamjitrong S, Shinji S, Ohta R, Sonoda H, Kamonvarapitak T, Sekiguchi K, Miyashita M, Suzuki H, Yoshida H.
Comparison Between Biweekly and Weekly Cetuximab in Patients With Metastatic Colorectal Cancer: A Meta-analysis.
Anticancer Res, 40(6): 3469-3476, 2020

〈和文学術論文〉

山田岳史, 松田明久, 進士誠一, 園田寛道, 太田 竜, 横山康之, 高橋吾郎, 原 敬介, 吉田 寛
【消化管穿孔・虚血に対する低侵襲アプローチ】穿孔性虫垂炎に対する保存的・低侵襲治療の適応と成績
外科 83(3): 236-239, 2020

松田明久, 山田岳史, 松本智司, 進士誠一, 太田 竜, 園田寛道, 高橋吾郎, 岩井拓磨, 武田幸樹, 上田康二, 栗山 翔, 吉田 寛
【大腸癌術前治療 up-to-date】大腸癌術前大腸ステントの up-to-date (解説 / 特集)
日本大腸肛門病学会雑誌, 2020

小川祐太郎, 栗山 翔, 山田岳史, 松田明久, 進士誠一, 園田寛道, 太田 竜, 横山康行, 高橋吾郎, 岩井琢磨, 原 敬介, 武田幸樹, 上田康二, 宮坂俊光, 吉田 寛
CAPOX/Bevacizumab 療法にて縮小後に Conversion Surgery が施行可能であった大腸癌腹膜播種の 1 例
癌と化学療法 47(13): 2006-2008, 2020

松田明久, 山田岳史, 進士誠一, 太田 竜, 園田寛道, 高橋吾郎, 岩井琢磨, 原 敬介, 香中伸太郎, 吉田 寛
【進行直腸癌のベストプラクティス】NAC の適応と成績
外科 82(7): 730-735, 2020

太田裕之, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 河合由紀, 園田寛道, 赤堀浩也, 北村直美, 安 炳九, 全 有美, 目片英治, 谷 眞至
リンチ症候群のスクリーニング目的として MSI 検査を施行した大腸癌症例の検討
遺伝性腫瘍, 20(3): 151-155, 2020

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

(デジタルポスター)

園田寛道, 谷口正展, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 清水智治, 谷 眞至
一般市中病院における直腸癌に対するロボット支援腹腔鏡手術の有用性
第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web

(一般演題)

園田寛道, 谷口正展, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
地域一般市中病院におけるロボット支援腹腔鏡下直腸低位前方切除術の初期成績
第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020 年 12 月, 和歌山 (Web)

園田寛道, 山田岳史, 吉田陽一郎, 神山博彦, 石橋敬一郎, 小杉千弘, 山口 悟, 吉松和彦, 深澤貴子, 松田明久, 吉田 寛, 長谷川傑, 坂本一博, 石田秀行, 幸田圭史
切除不能・再発大腸癌 3 次治療に対する TAS-102+Bevacizumab 併用療法: 第 II 相試験 (TAS-CC3 Study) KRAS 変異が治療効果に及ぼす影響
第 18 回日本消化器外科学会大会, 2020 年 11 月, 神戸 (誌上発表)

(ワークショップ)

園田寛道, 山田岳史, 松田明久, 進士誠一, 太田 竜, 高橋吾郎, 岩井拓磨, 武田幸樹, 原 敬介, 横山康行, 上田康二, 栗山 翔, 宮坂俊光, 吉田 寛
術後 CEA 高値, pT4 が Stage II-III 大腸癌の再発リスク因子である
第 58 回日本癌治療学会学術集会, 2020 年 10 月, 京都

松田明久, 山田岳史, 高橋吾郎, 豊田哲縞, 横山康行, 松本智司, 関口久美子, 進士誠一, 太田 竜, 園田寛道, 岩井拓磨, 武田幸樹, 上田康二, 栗山 翔, 吉田 寛
閉塞性直腸癌に対する大腸ステント留置後手術の治療成績とその工夫
第 58 回日本癌治療学会学術集会, 2020 年 10 月, 京都

栗山 翔, 山田岳史, 松田明久, 進士誠一, 園田寛道, 太田 竜, 高橋吾郎, 横山康行, 岩井拓磨, 武田幸樹, 原 敬介, 上田康二, 宮坂俊光, 吉田 寛
Frailty 患者における大腰筋面積と血中循環 DNA
第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 10 月, 大阪 (Web)

上田康二, 山田岳史, 松田明久, 進士誠一, 太田 竜, 園田寛道, 横山康行, 高橋吾郎, 岩井拓磨, 武田幸樹, 原 敬介, 栗山 翔, 宮坂俊光, 吉田 寛
Stage II・III 大腸癌における術中腹水および洗浄液 digital cytology の意義
第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 10 月, 大阪 (Web)

岩井拓磨, 山田岳史, 太田 竜, 園田寛道, 松田明久, 進士誠一, 高橋吾郎, 武田幸樹, 上田康二, 栗山 翔, 宮坂俊光, 吉田 寛
血中循環 DNA を用いた腸管虚血疾患の新規診断アプローチへの試み
第 57 回日本腹部救急医学会総会, 2021 年 2 月, 東京 (Web)

(会長企画シンポジウム)

山田岳史, 松田明久, 太田 竜, 園田寛道, 進士誠一, 高橋吾郎, 岩井拓磨, 武田幸樹, 上田康二, 栗山 翔, 宮坂俊光, 原 敬介, 横山康行, 吉田 寛
消化器癌 Liquid biopsy の進歩
第 58 回日本癌治療学会学術集会, 2020 年 10 月, 京都

(シンポジウム)

園田寛道, 山田岳史, 小泉岐博, 松田明久, 太田 竜, 進士誠一, 高橋吾郎, 岩井拓磨, 武田幸樹, 上田康二, 栗山 翔, 宮坂俊光, 吉田 寛
当科における放射線治療を用いない進行下部直腸癌に対する治療戦略 - 術前化学療法という選択肢
第 81 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 9 月, 大阪 (Web)

武田幸樹, 松田明久, 山田岳史, 太田 竜, 園田寛道, 進士誠一, 高橋吾郎, 岩井拓磨, 上田康二, 栗山 翔, 宮坂俊光, 吉田 寛
腫瘍学的予後から見た安全な BTS 治療戦略
第 57 回日本腹部救急医学会総会, 2021 年 2 月, 東京 (Web)

松田明久, 山田岳史, 進士誠一, 太田 竜, 園田寛道, 高橋吾郎, 岩井拓磨, 武田幸樹, 上田康二, 栗山 翔, 宮坂俊光, 吉田 寛
絞扼性腸閉塞における治療成績向上のための早期診断
第 57 回日本腹部救急医学会総会, 2021 年 2 月, 東京 (Web)

(要望演題)

園田寛道, 山田岳史, 松田明久, 進士誠一, 太田 竜, 高橋吾郎, 岩井拓磨, 武田幸樹, 原敬介, 上田康二, 栗山 翔, 宮坂俊光, 金沢義一, 吉田 寛
当科における Ta-TME の適応と手術手技
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020 年 9 月, 横浜 (Web)

(パネルディスカッション)

松田明久, 山田岳史, 高橋吾郎, 豊田哲縞, 横山康行, 松本智司, 進士誠一, 太田 竜, 園田寛道, 岩井拓磨, 武田幸樹, 関口久美子, 上田康二, 栗山 翔, 吉田 寛
安全な閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置後手術 (BTS) に向けた取り組み
第 83 回日本臨床外科学会総会, 2020 年 11 月, 大阪 (Web)

松田明久, 山田岳史, 松本智司, 進士誠一, 太田 竜, 園田寛道, 高橋吾郎, 岩井拓磨, 武田幸樹, 関口久美子, 上田康二, 栗山 翔, 宮坂俊光, 金沢義一, 吉田 寛
閉塞性大腸痛に対する BTS 治療戦略の解決すべき問題とこれから
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020 年 9 月, 横浜 (Web)

太田 竜, 山田岳史, 松田明久, 進士誠一, 園田寛道, 高橋吾郎, 岩井拓磨, 武田幸樹, 上田康二, 栗山 翔, 宮坂俊光, 金沢義一, 吉田 寛
組織学的効果判定より考察した局所進行直腸癌に対する術前化学療法の治療成績
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020 年 9 月, 横浜 (Web)

(シンポジウム)

山田岳史, 松田明久, 進士誠一, 太田 竜, 園田寛道, 横山康行, 高橋吾郎, 岩井拓磨, 武田幸樹, 原 敬介, 篠塚恵理子, 上田康二, 栗山 翔, 宮坂俊光, 金沢義一, 吉田 寛
がんゲノムパネルと Liquid biopsy を用いた大腸癌 Precision Medicine
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020 年 9 月, 横浜 (Web)

園田寛道, 松田明久, 山田岳史, 進士誠一, 太田 竜, 高橋吾郎, 岩井拓磨, 武田幸樹, 原敬介, 上田康二, 栗山 翔, 宮坂俊光, 吉田 寛
ロボット術者から考える TaTME のコツとピットフォール
第 45 回日本外科系連合学会学術集会, 2020 年 12 月, 久留米 (Web)

(口演)

園田寛道, 谷口正展, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
地域一般市中病院におけるロボット支援腹腔鏡下直腸低位前方切除術の初期成績
第 33 回日本内視鏡外科学会, 2021 年 3 月, 横浜

のじまバスキュラーアクセスクリニック

【論文発表】

〈和文学術論文〉

本宮康樹, 野島武久

血管狭窄病変での Lesion-Slip 現象

日本透析医学会雑誌 53(1): 7-14, 2020

野島武久, 本宮康樹

過剰血流内シャントへの血流抑制術式 graft inclusion technique の術後長期成績

日本透析医学会雑誌 54(1): 1-8, 2021

【研究会講演】

野島武久

コロナ禍におけるシャント感染治療の複数例

第 11 回究道会, 2020 年 7 月, webinar

野島武久

アクセス治療の実際

株式会社カネカ社内講演, 2020 年 9 月, webinar

野島武久 (ゲストスピーカー)

動画でみるシャントオペ・再建術

第 11 回透析アクセスセミナー, 2020 年 10 月, webinar

野島武久

VAIVT の new trend -OHICHO neo、YOROI による VAIVT-
VAIVT 研究会, 2020 年 12 月, webinar

野島武久, 本宮康樹

過剰血流抑制術・シャント瘤

VAIVT ACADEMY 特別企画 バスキュラーアクセス手術基本とこだわり, 2020 年 12 月, webinar

野島武久

シャント感染への当院での治療現況

Vascular Access Conference, 2020 年 11 月, 大阪

【学会ワークショップ】

野島武久, 本宮康樹

プライマリ AVF 作製時の工夫と管理

第 65 回日本透析医学会総会, 2020 年 11 月, 大阪

野島武久, 本宮康樹

術者単独で行う VA 手術での手技の工夫と長期成績

第 24 回日本透析アクセス医学会学術集会・総会, 2020 年 11 月, 大阪

野島武久, 本宮康樹

過剰血流内シャントへの Graft Inclusion Technique13 年の長期成績

第 24 回日本透析アクセス医学会学術集会・総会, 2020 年 11 月, 大阪

独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター 呼吸器外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 苗村佑樹, 和田 広, 坂下拓人

後縦隔と臓側胸膜に連続性を有した胸腔内気管支原性嚢胞の 1 例

第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020 年 6 月, 紙上発表 (旭川)

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 苗村佑樹

空洞切開菌球除去後に気管支充填術を行い閉鎖した肺アスペルギローマの一例

第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020 年 6 月, 紙上発表 (旭川)

井上修平

座長：肺癌手術 5

第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月, Web 開催 (東京)

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 苗村佑樹

増大する横隔膜嚢胞が原因となった肝性胸水・横隔膜交通症の 1 手術例

第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月, Web 開催 (東京)

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 苗村佑樹

再発性慢性胸壁血腫をきたした神経線維腫症 1 型の一例

第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月, Web 開催 (東京)

上田桂子, 大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智

中葉・舌区軸捻転の 2 例

第 60 回近江呼吸器疾患研究会, 2021 年 3 月, オンライン講演会

社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院 外科

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Kawasaki M, Kameyama M, Kobayashi H et al.

Investigation of the Japanese Classification of Peritoneal Metastasis from Colorectal Cancer Referring to the Correlation with PCI.

J Anus Rectum Colon. 29;4(4): 157-164. 2020

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

川崎誠康, 土橋洋史, 豊田 翔 ほか

(Work shop) ロボット支援下直腸癌手術における術中合併症とその対策

第33回近畿内視鏡外科研究会, 2020年9月, Web開催(大阪)

松永隆志, 安田洋, 土橋果実, 奥村哲, 豊田 翔, 山本堪介, 庾 賢, 土橋洋史, 小川雅夫, 川崎誠康, 亀山雅男

十二指腸憩室穿孔5例の検討

第56回日本腹部救急医学会総会, 2020年10月, 紙面発表(名古屋)

川崎誠康, 土橋洋史, 豊田 翔 ほか

(Video work shop) 下部直腸癌に対する最新の治療 ロボット支援下直腸癌手術における視野確保の工夫

第82回日本臨床外科学会総会, 2020年10月, Web開催(大阪)

土橋洋史, 土橋果実, 松永隆志 ほか

(一般口演) 根治切術後12年目に胸膜播種、傍大動脈リンパ節転移をきたした胃癌の1例

第82回日本臨床外科学会総会, 2020年10月, Web開催(大阪)

川崎誠康, 亀山雅男, 小林宏寿 ほか

(Oral Session) 大腸癌の腹腔洗浄細胞診陽転化に相関する因子の検討

第75回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020年11月, Web開催(横浜)

川崎誠康, 土橋果実, 松永隆志 ほか

(Poster Session) Stage III 大腸癌術後補助化学療法方針決定における規約改訂の効果

第75回日本消化器外科学会総会, 2020年12月, Web開催(和歌山)

土橋洋史, 土橋果実, 松永隆志 ほか

(一般演題) 急性胆嚢炎に対する外科治療戦略

第75回日本消化器外科学会総会, 2020年12月, Web開催(和歌山)

松永隆志, 庾 賢, 奥村哲, 豊田 翔, 安田洋, 山本 堪介, 土橋洋史, 小川雅夫, 川崎誠康, 亀山雅男

(デジタルポスター) A study of 140 cases of obstructive colorectal cancer undergoing primary resection

第75回日本消化器外科学会総会, 2020年12月, Web開催(和歌山)

Kawasaki M, Tsuchihashi K, Matsunaga T, et al

(Oral Session) Benefit of hybrid surgery(combined laparoscopic and robotic surgery) for rectal cancer

第33回日本内視鏡外科学会総会, 2021年3月, Web開催(横浜)

Tsuchihashi H, Tsuchihashi K, Matsunaga T, et al

(デジタルポスター) Therapeutic strategy for acute cholecystitis

第33回日本内視鏡外科学会総会, 2021年3月, Web開催(横浜)

社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院 乳腺センター

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Abe H, Teramoto A, Takei Y, Yoneda K, Ttanaka Y.

Sixteen cases of HER2-positive Breast Cancer treated with Neoadjuvant Chemotherapy with Pertuzumab
滋賀医科大学雑誌, 33(1) : 17-22, 2020

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

(示説)

阿部 元, 寺本敦子, 竹井裕美子, 米田光里, 堀内俊孝, 長畑敏弘

乳癌術後回復に対する傍脊椎ブロックと前胸壁ブロックの前向き比較検討

第 28 回日本乳癌学会総会, 2020 年 7 月, web 開催

竹井裕美子, 寺本敦子, 米田光里, 阿部 元

浸出液を伴った胸壁再発乳癌に対し, Oraparib を使用して QOL が改善した 2 例

第 28 回日本乳癌学会総会, 2020 年 7 月, web 開催

寺本敦子, 竹井裕美子, 米田光里, 山崎圭一, 阿部 元

当院で経験した悪性葉状腫瘍の 3 例

第 28 回日本乳癌学会総会, 2020 年 7 月, web 開催

大原亜子, 竹井裕美子, 寺本敦子, 米田玄一郎, 阿部 元

乳腺顆粒細胞腫の一例

第 18 回日本乳癌学界近畿地方会, 2020 年 12 月, web 開催

三菱京都病院 呼吸器外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

堀 哲雄, 元石 充, 山下直己

右 B2 転位気管支および分葉異常を伴う右上葉肺癌に対して胸腔鏡下手術を施行した一例

第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月

堀 哲雄, 元石 充, 山下直己, 谷山朋彦, 菊地綾子, 平本秀二, 吉岡 亮, 松井 敏

進行肺癌に対し Chemo+PD-1 阻害薬投与により irAE を発症したため、PD-L1 阻害剤へ変更し奏効
が得られた一例

第 61 回日本肺癌学会学術集会, 2020 年 11 月

独立行政法人国立病院機構 東京都病院 呼吸器外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

(シンポジウム)

大塩恭彦, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭吾, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩麻友美, 仲川宏明, 山口将史, 中野恭幸, 花岡 淳

間質性肺炎 (IP) 患者における気胸の治療と予防について
第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020 年 6 月, Web

(ワークショップ)

大塩恭彦, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭吾, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩麻友美, 花岡 淳
胸腔鏡下肺切除術における 8K カメラの使用経験

第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月, Web

(ミニオーラル)

益本貴人, 橋本雅之, 堀本かんな, 武田恵子, 大塩麻友美, 澤井 聡
胸腔鏡の併用が有用であった肺尖部腫瘍切除の一例

第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月, Web

橋本雅之, 益本貴人, 堀本かんな, 武田恵子, 大塩麻友美, 澤井 聡
当院におけるダ・ヴィンチシステム運用の現状

第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月, Web

益本貴人, 橋本雅之, 堀本かんな, 武田恵子, 大塩麻友美, 澤井 聡
肺動脈・肺静脈と交通した肺葉外分画症の一切除例

第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月, Web

(口演)

大塩恭彦, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭吾, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩麻友美, 花岡 淳
肺癌の仮想腫瘍重量と FDG 集積との関連についての検討

第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月, Web

大塩恭彦, 赤澤 彰, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭吾, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩麻友美, 花岡 淳
単孔式肺葉切除術終了後の出血症例

第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020 年 9 月, Web

大塩恭彦, 赤澤 彰, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭吾, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩麻友美, 花岡 淳
呼吸筋力測定器 IOP-01 を用いた肺切除術後の経日的呼吸筋力の変化について

第 61 回日本肺癌学会定期学術集会, 2020 年 11 月, 岡山

(ポスター)

橋本雅之, 益本貴人, 武田恵子, 大塩麻友美, 澤井 聡
薬剤性うっ血性心不全に対しオシメルチニブ減量により治療継続可能であった 2 例

第 61 回日本肺癌学会定期学術集会, 2020 年 11 月, 岡山

橋本雅之, 益本貴人, 武田恵子, 大塩麻友美, 澤井 聡
未診断症例に対するロボット支援下手術の実際

第 61 回日本肺癌学会定期学術集会, 2020 年 11 月, 岡山

(シンポジウム)

大塩恭彦, 白鳥琢也, 林 一喜, 大塩麻友美, 花岡 淳
8K ultra-high-definition endoscope for VATS

第 33 回日本内視鏡外科学会総会, 2021 年 3 月, 横浜

医療法人社団緑成会 横浜総合病院 ハートセンター（心臓血管外科）

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Nobuyoshi Azuma, Tetsuro Uchida, Shinsuke Kikuchi, Mitsuki Sadahiro, Tsunehiro Shintani, Kumiko Yanagi, Ryuji Higashita, Atsushi Yamashita, Yoshio Makita, Tadashi Kaname
NT5E Genetic Mutation Is a Rare but Important Cause of Intermittent Claudication and Chronic Limb-Threatening Ischemia.
Circulation Journal, 2020; 84(7): 1183-1188, 2020

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

(Oral Session)

東田隆治, 中山泰秀, 白石泰之, 井上雄介, 山田昭博, 山家智之, 岩井良輔
生体内組織形成術による小口径人工血管の開発とその先
第58回日本人工臓器学会大会, 2020年11月, 高知

東田隆治, 中山泰秀, 白石泰之, 山田昭博, 岩井良輔, 寺澤 武, 山家智之
生体内組織形成術による小口径人工血管の開発
第51回日本心臓血管外科学会総会, Peripheral Artery Surgical Meeting, 2021年2月, 京都 (Web)

医療法人社団 洛和会音羽病院 呼吸器外科

【論文発表】

〈英文学術論文〉

Okamura M, Fujita K, Yamamoto Y, Kanai O, Nakatani K, Horimoto K, Hashimoto M, Sawai S, Shimosato M, Yoshida K, Mio T.
Single-center analysis of antiresorptive agent-related osteonecrosis of the jaw in lung cancer patients
Asia Pac J Clin Oncol, 16(6): 380-384, 2020

〈和文学術論文〉

橋本雅之, 堀本かんな, 武田恵子, 大塩麻友美, 澤井 聡, 大塩恭彦, 花岡 淳
アトピー性皮膚炎合併漏斗胸に対する Nuss 法術後感染による早期パー抜き
胸部外科 73(13): 1080-1083, 2020

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

上田桂子, 一瀬増太郎

当院における自然気胸の術後再発症例に関する検討

第43回日本呼吸器内視鏡学会, 2020年6月, 北海道旭川市 (紙上開催)

上田桂子, 一瀬増太郎

術式選択に検討の余地があった縦隔膿瘍の一例

第37回日本呼吸器外科学会総会, 2020年9月, 東京都 (WEB開催)

石田真樹, 鈴木 潤, 坂口 才, 田宮暢代, 土谷美知子, 長坂行雄, 上田桂子, 一瀬増太郎

サルコイドーシス患者における現在と過去の喫煙が気管支肺胞洗浄液のリンパ球比率と CD4/CD8 に与える影響
第43回日本呼吸器内視鏡学会, 2020年6月, 北海道旭川市 (紙上開催)

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

■ 役 員

■ 定 款

■ 賛助会員一覧

■ 広告掲載ご協力

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会役員・委員

2021年1月～

〔理事 長〕 ・谷 徹

〔副 理 事 長〕 ・平 野 正 満

〔理 事〕 ・小 玉 正 智 ・浅 井 徹
・谷 眞 至 (2021 年度会長) ・鈴木 友 彰
・井 上 修 平 (教育・学術) ・江 口 豊 (教育・学術)
・遠 藤 善 裕 (広報) ・白 石 昭一郎 (広報)
・花 岡 淳 (会計) ・木 築 野百合 (会計)

〔監 事〕 ・寺 田 信 國 ・加 藤 弘 文

〔代 議 員〕 ・梅 田 朋 子 ・岡 藤 太 郎 ・尾 崎 良 智
・木 下 武 ・畔 柳 智 司 ・澤 井 聡
・塩 見 尚 礼 ・清 水 智 治 ・内 藤 弘 之
・仲 成 幸 ・生 内 一 夫 ・松 林 景 二
・水 黒 知 行 ・村 田 聡 ・目 片 英 治
・横 田 徹

〔事 務 局 長〕 ・仲 成 幸

〔委 員 会 委 員〕

(会計・総務) ・大 塩 恭 彦 ・清 水 智 治
(選挙管理委員会) ・川 口 庸 ・目 片 英 治 ・岡 本 圭 伍
(企画(教育・学術)) ・村 田 聡 ・賀 来 良 輔 ・三 宅 亨
(広報) ・山 口 剛 ・高 島 範 之
(事務局) ・飯 田 洋 也 ・神 谷 賢 一

名 誉 会 員 ・小 玉 正 智 ・浅 井 徹

その他ご報告：物故会員

・柴 田 純 祐 先生 (2020 年 12 月 ご逝去)
・田 中 正 明 先生 (2020 年 12 月 ご逝去)

謹んで故人のご冥福を祈念申し上げます

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会定款

第1章 総則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人滋賀医科大学外科同門会と称する。

(主たる事務所の所在地)

第2条 当法人は、主たる事務所を滋賀県大津市に置く。

2. 当法人は、理事会の決議により前項のほか、従たる事務所を必要な場所に置くことができる。

(目的)

第3条 当法人は、外科に関する学術の研鑽、普及及び滋賀医科大学外科学講座の発展と向上及び地域における外科医療の充実を目的とする。

(事業)

第4条 当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術振興及び研究援助
- (2) 滋賀医科大学外科学講座の拡充と設備の強化及びその助成
- (3) 外科を志す人材勧誘活動とその支援
- (4) 関連病院及び地域医療機関との連携強化
- (5) 会員相互の親睦をはかるための行事
- (6) その他当法人の目的達成に必要と認められる事業

(公告方法)

第5条 当法人の公告方法は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

(機関)

第6条 当法人の機関として、社員総会及び理事以外に理事会及び監事を置く。

第2章 会員及び社員

(会員の資格及び社員)

第7条 当法人の会員は、次の5種とし、当法人の目的に賛同するものは、当法人の会員になることができる。

- (1) 正会員 滋賀医科大学外科学講座の過去または現在の在籍者、及び希望者
- (2) 特別会員 滋賀医科大学外科学講座の非常勤講師、あるいはこれに準じるもの
- (3) 賛助会員 法人の事業を賛助する団体及び個人
- (4) 名誉会員 原則として理事長を務めた者の中から、理事会の議を経て推薦されたもの
- (5) 休会会員 正会員のうち、休会を希望するもの

2. 当法人に第3章の規定に基づき正会員の中から選出された代議員を置き、代議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

(正会員の権利)

第8条 正会員は、第3章に定める代議員選挙の選挙権及び被選挙権を等しく有するほか、法人法に規定された次に掲げる権利を代議員（社員）と同様に当法人に対して行使することができる。

- (1) 法人法第14条第2項に定める権利（定款の閲覧等）
- (2) 法人法第32条第2項に定める権利（社員名簿の閲覧等）
- (3) 法人法第50条第6項に定める権利（社員の代理権証明書面等の閲覧等）
- (4) 法人法第52条第5項に定める権利（電磁的方法による議決権行使記録の閲覧等）
- (5) 法人法第57条第4項に定める権利（社員総会の議事録の閲覧等）
- (6) 法人法第129条第3項に定める権利（計算書類等の閲覧等）
- (7) 法人法第229条第2項に定める権利（清算法人の貸借対照表の閲覧等）
- (8) 法人法第246条第3項、第250条第3項及び第256条第3項に定める権利（合併契約等の閲覧等）

(入会)

第9条 当法人の会員となるには、当法人所定の入会申込書により入会の申し込みをし、理事会の承認を得なければならない。

(入会金及び会費)

第10条 正会員は、当法人の目的を達成するため、それに必要な経費を支払う義務を負う。

2. 正会員は、社員総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。なお、会員に関するその他の事項は、別に定める細則によるものとする。

(会員名簿)

第11条 当法人は、会員の氏名又は名称及び住所を記載した会員名簿（この名簿は、正会員につき法人法上の「社員名簿」を兼ねるものとする。）を作成し、当法人の主たる事務所に据え置くものとする。

(会員の資格喪失)

第12条 会員は、次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退会したとき
- (2) 成年被後見人又は被補佐人になったとき
- (3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき
- (4) 正当な理由無く3年以上会費を滞納し、催告を受けてもそれに応じず、納入しないとき
- (5) 除名されたとき

(退会)

第13条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第14条 当法人の会員が、当法人の名誉を棄損し、若しくは当法人の目的に反する行為をしたとき、又は社員としての義務に違反したときは、法人法第49条第2項に定める社員総会の特別決議により除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

(提出金品の不返還)

第15条 既納の入会金、会費及びその他の提出金品は、返還しない。

第3章 代議員

(代議員)

第16条 当法人に代議員を置き、概ね正会員数の7%の割合で選出された代議員をもって、法人法上の社員とする（端数の取扱いについては理事会で定める。）。2. 代議員は、第12条に掲げる事由により退会した場合は、法人法上の社員としての地位を喪失し、退社するものとする。

3. 代議員が理事となった場合には、代議員を辞任するものとする。

(代議員の選出)

第17条 代議員は、正会員による代議員選挙により選出する。代議員の選挙を行うために必要な細則は理事会において定める。

2. 正会員は、他の正会員と等しく代議員選挙に立候補し又は代議員を選挙する権利を有する。理事及び理事会は、代議員を選出することはできない。

(任期)

第18条 代議員の任期は、選出後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会（定時代議員総会）の終結の時までとする。

ただし、任期満了後においても後任者が選出されるまではその職務を行わなければならない。

また、代議員が社員総会決議取消しの訴え、解散の訴え、責任追及の訴え及び役員解任の訴え（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）第266条第1項、第268条、第278条、第284条）を提起している場合（法人法第278条第1項に規定する訴えの提起の請求をしている場合を含む。）には、当該訴訟が終結するまでの間、当該代議員は社員たる地位を失わない。当該代議員は、役員を選任及び解任（法人法第63条及び第70条）並びに定款変更（法人法第146条）についての議決権を有しないこととする。

2. 任期満了前に退任した代議員の補欠として選出された者の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。
3. 増員により選出された代議員の任期は、他の代議員の任期の残存期間と同一とする。

（補欠代議員の予選）

第19条 代議員が欠けた場合又は代議員の員数を欠くこととなるときに備えてあらかじめ補欠の代議員を選出することができる。この場合の代議員の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

2. 補欠の代議員を予選する場合には、次に掲げる事項も併せて決定しなければならない。

- (1) 当該候補者が補欠の代議員である旨
 - (2) 当該候補者を1人又は2人以上の特定の代議員の補欠の代議員として選出するときは、その旨及び当該特定の代議員の氏名
 - (3) 同一の代議員（2人以上の代議員の補欠として選出した場合にあっては、当該2人以上の代議員）につき2人以上の補欠の代議員を選出するときは、当該補欠の代議員相互間の優先順位
3. 第1項の補欠代議員の予選に係る議決が効力を有する期間は、当該議決後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会（定時代議員総会）の終結の時までとする。

第4章 社員総会

（招集等）

第20条 社員総会は、第3章に定める代議員をもって組織する。

2. 前項の社員総会をもって法人法上の社員総会とする。
3. 当法人の社員総会は、定時社員総会と臨時社員総会があるものとし、定時社員総会は毎事業年度終了後2ヶ月以内に、臨時社員総会は必要がある場合に臨時開催する。
4. 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事長が招集する。
5. 総社員の5分の1の議決権を有する社員は、理事長に対し、社員総会の目的である事項及び招集の理由を示して社員総会の招集を請求することができる。
6. 社員総会の議長は、理事長がこの任に当たる。ただし、理事長に事故若しくは支障があるときは副理事長がこれに代わる。
7. 社員総会の招集は、法令に別段の定めがある場合を除き、開催日の1週間前までに、その会議の日時、場所、及び目的である事項を記載した書面又は電磁的方法によって通知しなければならない。

（権限）

第21条 社員総会は、当法人の最高議決機関として、次の事項について議決する。

- (1) 事業報告
- (2) 役員を選任又は解任
- (3) 定款の変更
- (4) 役員報酬等の額及び規定
- (5) 法人法第113条に規定する役員責任の一部免除
- (6) 会員の除名
- (7) 解散及び残余財産の処分
- (8) 理事会において社員総会に付議した事項
- (9) その他重要な事項

（議決権）

第22条 社員総会における議決権は、社員1人につき1個とする。

（定足数及び決議の方法）

第23条 社員総会は、総社員の過半数の出席がなければ開催することができない。

2. 社員総会の決議は、法令又はこの定款に定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。
3. 前項に規定にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。
 - (1) 会員の除名
 - (2) 監事の解任
 - (3) 役員等の責任の一部免除
 - (4) 定款の変更
 - (5) 解散
 - (6) その他法令で定められた事項

（書面表決等）

第24条 やむを得ない理由のために社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって又は電磁的方法により表決し、若しくは他の会員を代理人として委任することができる。

2. 前項の場合における前条の規定については、その社員は出席したものとみなす。
3. 理事又は社員が社員総会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

（社員総会議事録）

第25条 社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、社員総会の日から10年間主たる事務所に据え置く。

2. 議長は、前項に議事録に記名押印する。

第5章 役員等

（役員設置等）

第26条 当法人に次の役員を置く。理事3名以上15名以内 監事2名以内

2. 理事のうち1名を理事長、1名を副理事長、2名以内を会長とする。
3. 前項の理事長を法人法上の代表理事とする。

（事務局及び職員）

第27条 当法人に、事務を処理するため事務局を設け、事務局長及び必要な職員を置く。

2. 事務局長は、理事会の議決を経て理事長が委嘱し、職員は理事長が任免する。
3. 事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て理事長が別に定める。

（選任等）

第28条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。

2. 理事長、副理事長及び会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

（理事の職務権限）

第29条 理事長は、当法人を代表し、その業務を執行する。

2. 副理事長は理事長を補佐し、会長は、当法人の業務を分担執行する。
3. 事務局長は当法人の事務を執行する。
4. 理事長、会長及び事務局長は、毎事業年度毎に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務権限)

第30条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2. 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、当法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(任期)

第31条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2. 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会終結の時までとし、再任を妨げない。

3. 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4. 役員は、辞任又は任期の満了後において、定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

(解任)

第32条 役員は、社員総会の決議によって解任することができる。ただし、監事を解任する場合は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(報酬)

第33条 役員は、無報酬とする。

2. 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

3. 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(取引の制限)

第34条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、理事会において、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

(1) 自己又は第三者のためにする当法人の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにする当法人との取引

(3) 当法人がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における当法人とその理事との利益が相反する取引

(責任の一部免除又は限定)

第35条 理事または監事は一般法人法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として免除することができる。

第6章 理事会

(構成)

第36条 当法人に理事会を置く。

2. 理事会は、すべての理事をもって構成する。

3. 監事は理事会に出席し、意見を述べる事ができる。

(権限)

第37条 理事会は、次の職務を行う。

(1) 当法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長、副理事長及び会長の選定及び解職

(招集)

第38条 理事会は、理事長が招集する。

2. 理事長が欠けた時又は理事長に事故あるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第39条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長が欠けたとき又は理事長に事故あるときは、理事長があらかじめ理事会の決議を経て定められた順位により他の理事がこれに代わるものとする。

(決議)

第40条 理事会の決議は、決議についての利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(理事会の決議の省略)

第41条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面により同意の意思表示をしたとき(監事が当該提案に異議を述べた場合を除く。)は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

(理事会議事録)

第42条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。

2. 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印し、10年間当法人の主たる事務所に据え置くものとする。

(理事会規則)

第43条 理事会に関する事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会において定める理事会規則による。

第7章 決算

(事業年度)

第44条 当法人の事業年度は、毎年12月1日から11月30日までの年1期とする。

(事業計画及び取予算)

第45条 当法人の事業計画及び取予算については、毎事業年度開始日の前日までに理事長が作成し、理事会の決議を経て社員総会の承認(理事会の承認)を受けなければならない。

2. 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、社員総会の決議に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入を得又は支出することができる。

3. 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第46条 当法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経て定時社員総会に提出し、第1号、第2号についてはその内容を報告し第3号から第5号の書類については承認を受けなければならない。

(1) 事業報告書

(2) 事業報告書の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 損益計算書(正味財産増減計算書)

(5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書

2. 第1項の書類のほか、監査報告の書類を主たる事務所に5年間据え置くとともに、定款及び会員名簿を主たる事務所に据え置くものとする。

(剰余金の処分制限)

第47条 当法人は、会員その他の者に対し、剰余金の分配をすることができない。

(残余財産の帰属)

第48条 清算をする場合において、当法人の残余財産は、類似の事業を目的とする公益社団法人又は公益財団法人に帰属させるものとする。

2. 前項に規定する他の公益社団法人又は公益財団法人は、第17条に規定する社員総会の決議により定めるものとする。

一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 賛助会員一覧

2021年10月1日現在

赤穂市民病院
医療法人医仁会 武田総合病院
医療法人恭昭会 彦根中央病院
医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院
医療法人弘正会 西京都病院
医療法人社団浅ノ川 心臓血管センター 金沢循環器病院
医療法人社団昂会 日野記念病院
医療法人社団昂会 湖東記念病院
医療法人社団美松会 生田病院
医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院
医療法人仁生会 甲南病院
医療法人総心会 長岡京病院
医療法人東和会 第一東和会病院
医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院
医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院
医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院
医療法人芙蓉会 南草津病院
医療法人マキノ病院
医療法人友仁会 友仁山崎病院
医療法人よつば会 くろづ外科医院
近江八幡市立総合医療センター
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院
公益財団法人 豊郷病院
公立甲賀病院
国民健康保険 小松市民病院
社会医療法人誠光会 淡海医療センター（旧：草津総合病院）
社会医療法人信愛会 暁生会脳神経外科病院
社会医療法人生長会 ベルランド総合病院
社会医療法人天神会 新古賀病院
社会福祉法人恩賜財団 済生会守山市民病院
市立野洲病院
独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター
独立行政法人国立病院機構 南京都病院
独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院
長浜市立湖北病院
長浜赤十字病院
三菱京都病院

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会の活動に、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。
会員相互の親睦活動に加え、外科に関する学術の研鑽、若手外科医の育成、及び地域の外科医療の発展になお一層尽力する活動を行っていく所存でございます。

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 広告掲載ご協力

アボットジャパン合同会社
株式会社大塚製薬工場
テルモ株式会社
株式会社ツムラ
日本化薬株式会社
中外製薬株式会社
エア・ウォーター・リンク株式会社
旭化成ファーマ株式会社
日本イーライリリー株式会社
武田薬品工業株式会社
ヴィアトリス製薬株式会社（旧マイラン EPD 合同株式会社）
ブリistol・マイヤーズ・スクイブ株式会社
東レ・メディカル株式会社
アルフレッサファーマ株式会社
大鵬薬品工業株式会社
コヴィディエンジャパン株式会社
インテュイティブサージカル合同会社
ファイザー株式会社
センチュリーメディカル株式会社
一般社団法人日本血液製剤機構
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社エチコン事業部
泉工医科工業株式会社
株式会社レジリエンス

(申し込み順)

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会同門会誌発行にあたり、多くの皆様からご協力をいただきました。ここに深く御礼申し上げます。

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

滋賀医科大学外科同門会 2021年度

発行日 2021年10月

連絡先 滋賀医科大学 外科学講座内
外科同門会事務局
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
電話:077-548-2238 / 077-548-2244
